

LS7P

取扱説明書

カタログ

UI操作入門

1.1	04
-----	----

ショートカットキーの紹介

2.1	05
-----	----

ステータスバー

3.1	06
-----	----

機能紹介

4.1 LOGストップ	10
4.2 ピーキング	11
4.3 ゼブラ	14
4.4 フォールスカラー	16
4.5 輝度ウェーブフォーム	17
4.6 RGBウェーブフォーム	20
4.7 オーディオメーター	23
4.8 輝度ヒストグラム	24

カタログ

4.9 長方形クロップ	26
4.10 画像キャプチャ	27
4.11 画像オーバーレイ	28
4.12 HDR(HLG)	29
4.13 チェックフィールド	30
4.14 ガイド	31
4.15 クロスヘア	35
4.16 グリッド	37
4.17 アナモルフィック	39
4.18 ジェスチャースズーム	41

1台から多数へのコントロールシステム

5.1	42
-----	----

設定の紹介

6.1 ピクチャ	45
6.2 入力	48

カタログ

6.3 ディスプレイフリップ	49
6.4 システム設定	50
6.5 サウンド設定	55
6.6 ファームウェア	56

3D LUT 導入

7.1 3D LUT	58
------------	----

垂直拡張導入

8.1 垂直拡張	61
----------	----

カメラ導入

9.1 カメラ制御	62
9.2 カメラ操作	67

カメラ操作 – 制御可能なカメラ

UI 操作導入

1.1



1、3D LUT

作成した LUT ファイルを保存するために使用し、直接画面に適用できます。



3、カメラ

カメラは Wi-Fi または Bluetooth で接続し、制御できます。



5、機能

詳細については、Function Introduction を参照してください。



2、垂直ストレッチ

垂直ストレッチを有効にし、開始ラインのパラメータを希望のストレッチ位置に調整し、垂直ストレッチのパラメータを簡単に変更するだけで調整が完了します。



4、ボタン

頻繁に使用する機能はショートカットキーに設定することができ、ワンタッチで起動できます。



6、設定

詳細については、Settings Introduction を参照してください。

ショートカットキーの紹介

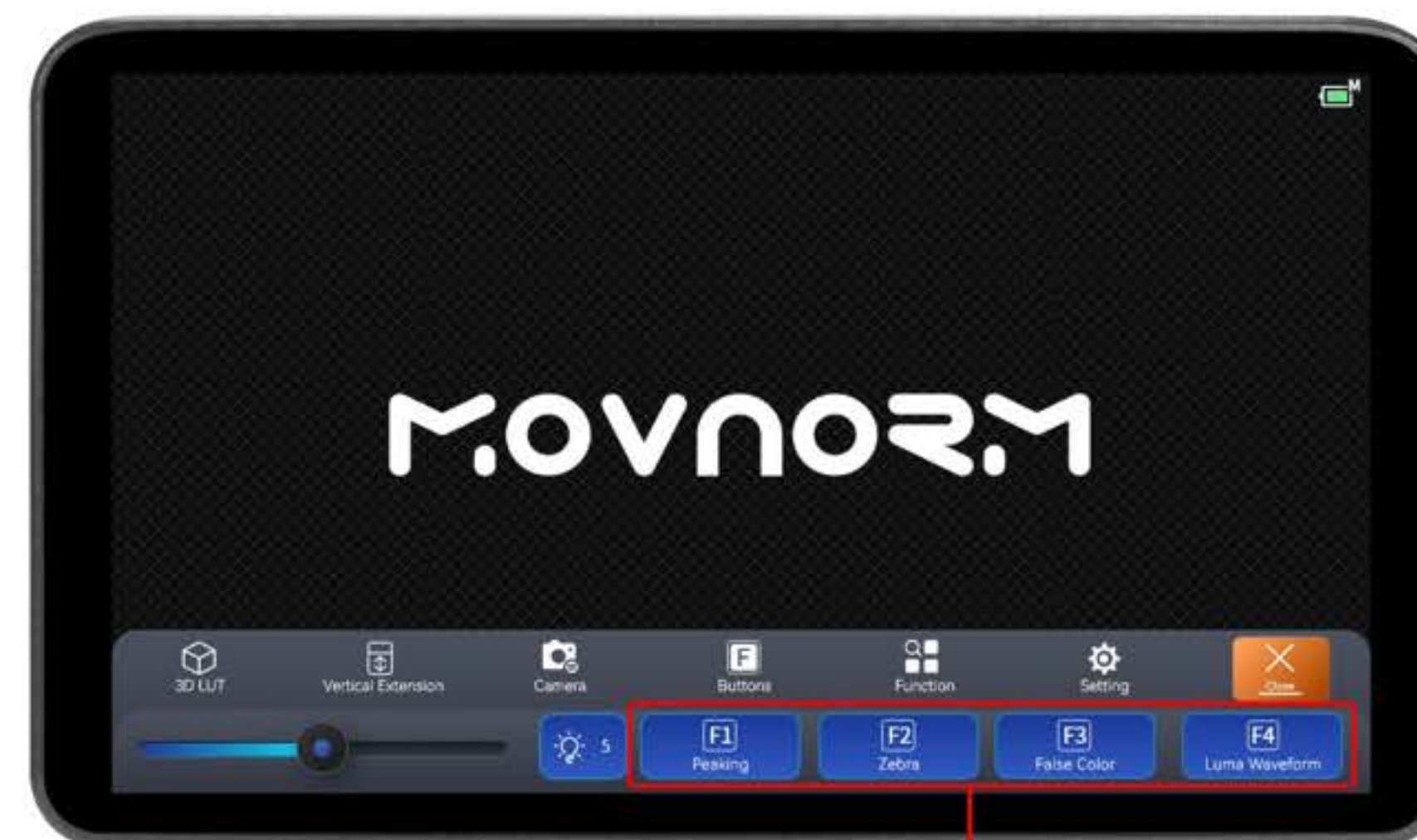
2.1



置き換えたい
ショートカットを
クリックします。

次に希望のショート
カットをクリックして
置き換えを完了します。

スライドしてページを変更



設定済みのショートカットをプリセット

以下の機能をそれぞれクイックアクセス機能として設定できます。



ステータスバー

3.1



パワーアイコンをクリックしてモニターのステータスバーを表示し、迅速に各種パラメータを調整できます。



モニターステータスページで""をクリックしてジェスチャースズームインモードを有効にします。有効にすると:



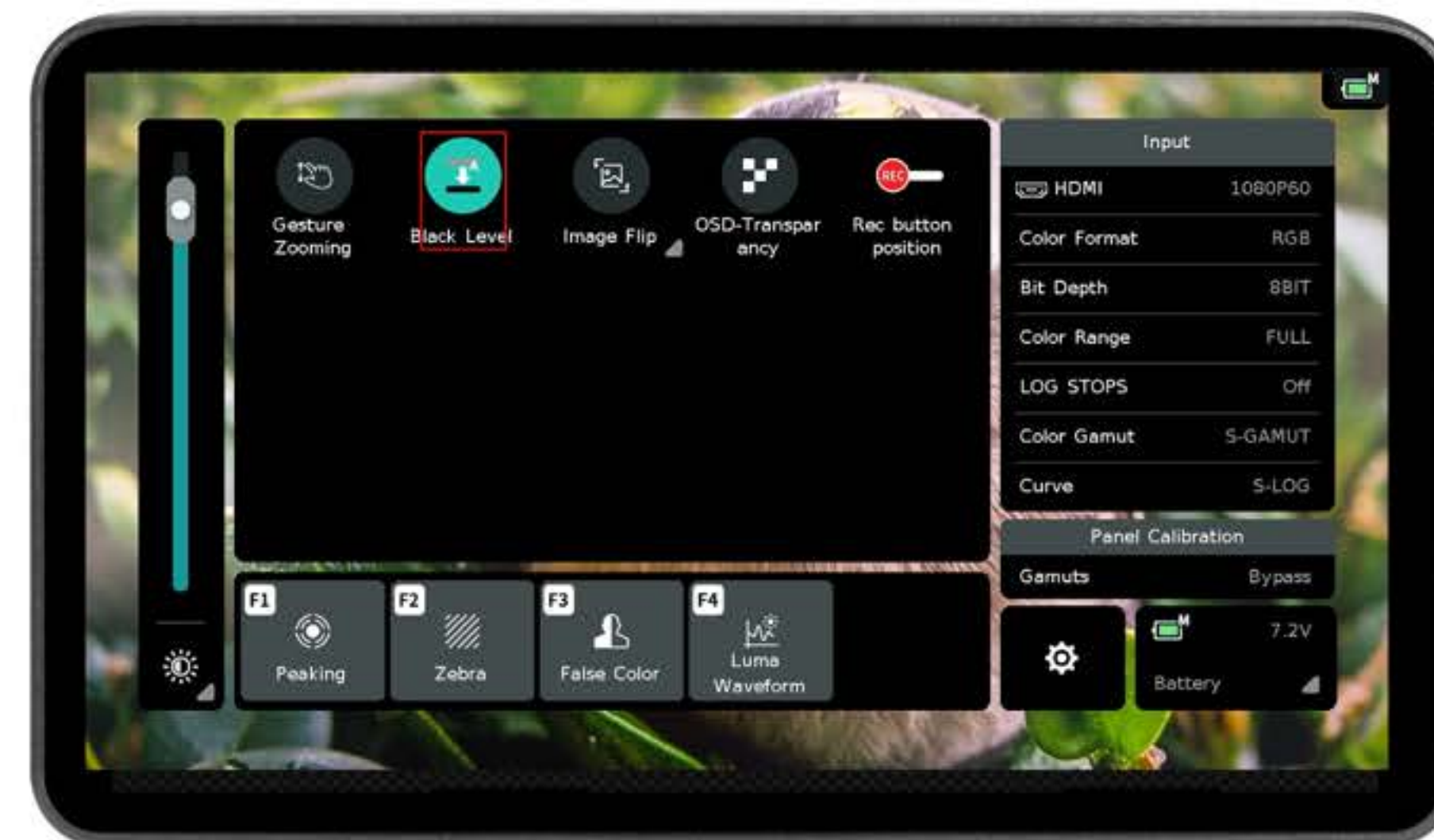
画面上で2本の指を外側に挟んで広げるとズームインします。



2本の指を内側に挟んで狭めるとズームアウトします。



をクリックしてブラックレベルモードをアクティブにします。ブラックレベルモードを有効にすると：



- 1.画像は0IRE未満の明るさ領域の詳細を表示しません。
- 2.ブラックレベルモードアイコンをクリックし、"Black Level Mode"がオートと表示されている場合は、モニターが入力信号に基づいてブラックレベルを自動的に有効または無効にします。



をクリックしてモニターの画像を反転させます。



をクリックしてメニューの透明度レベルを調整します:



をクリックしてレコードボタンの位置を変更します:



レベル1: 75%メニュー透明度



レベル2: 50%メニュー透明度



レベル3: 25%メニュー透明度



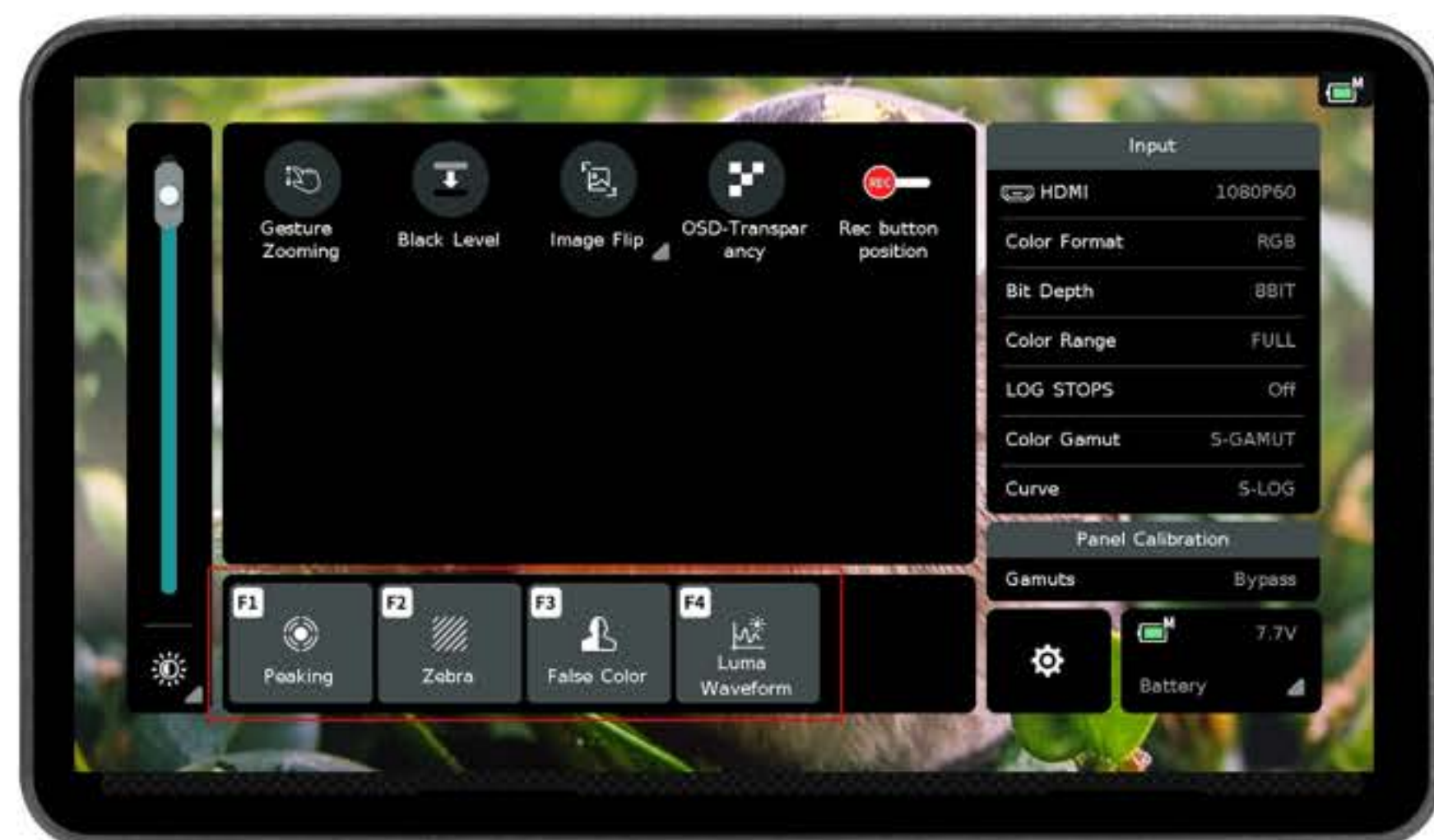
左下: RECボタンは左下に配置



中央: RECボタンは中央に配置



右下: RECボタンは右下に配置



事前にバインドされたショートカットキーをクリックすると、対応する機能をすばやく有効にできます。



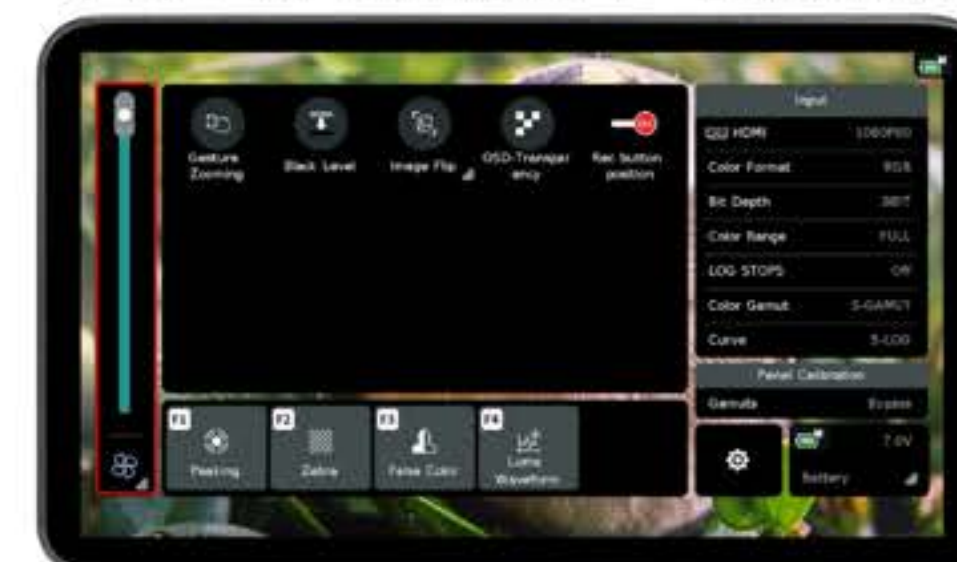
をクリックしてファンとヘッドフォンを切り替えます



をクリックしてモニター設定メニューを有効にします。



ファン: ファン速度スライダーをスライドさせて冷却速度を制御します。



ヘッドフォン: ボリュームコントロールをスライドさせてヘッドフォンのボリュームを調整します。

機能紹介

4.1 LOGストップ



カメラが正常に接続されると、モニターは自動的にLOG信号を検出し、一致する露出チャートを適用します。（現在はソニーカメラのみをサポートしています。今後のファームウェア更新で追加のブランドがサポートされる予定です。）ユーザーはカメラのブランド、カラースペース、ガンマカーブを手動で設定して、適切な露出チャートに一致させることもできます。可視化された露出オーバーレイにより、露出ゾーンをすばやく識別し、撮影効率を向上させることができます。



下の任意の露出レベルをクリックし、上のカラーブロックを選択して、その色を選択した露出レベルに割り当てます。



任意の露出レベルをクリックして、画像上での表示を有効または無効にします。

""をタップして画面にすべての露出レベルを表示します。

""をクリックしてフレーム内の露出レベルの分布比率を展開または折りたたみます。

""をクリックしてカスタムカラー設定にアクセスします。

4.2 フォーカスアシスト機能



フォーカスアシストの紹介

これは、写真家が撮影中に画像のフォーカスをよりよく評価するのを助けるために使用される技術です。原理は画像処理を使用して、特定の色またはエッジラインで高コントラスト領域（通常は鮮明な部分）を強調し、写真家がどの部分がフォーカスされていてどの部分がぼやけているかをすばやく識別できるようにすることです。

フォーカスアシストを有効にする



クリックしてフォーカスアシストを有効にします
フォーカス領域は強調された色で画像上に表示されます。

フォーカスアシスト機能-オリジナル画像



クリックしてオリジナル画像を有効にします
オリジナル画像は画像の表示スタイルを切り替えることができ、オリジナル画像、白黒、グレースケール（低）、グレースケール（中）、グレースケール（高）、黒の6つのスタイルが含まれます。

オリジナル画像-スタイル効果



オリジナル画像



白黒



グレースケール（低）



グレースケール（中）

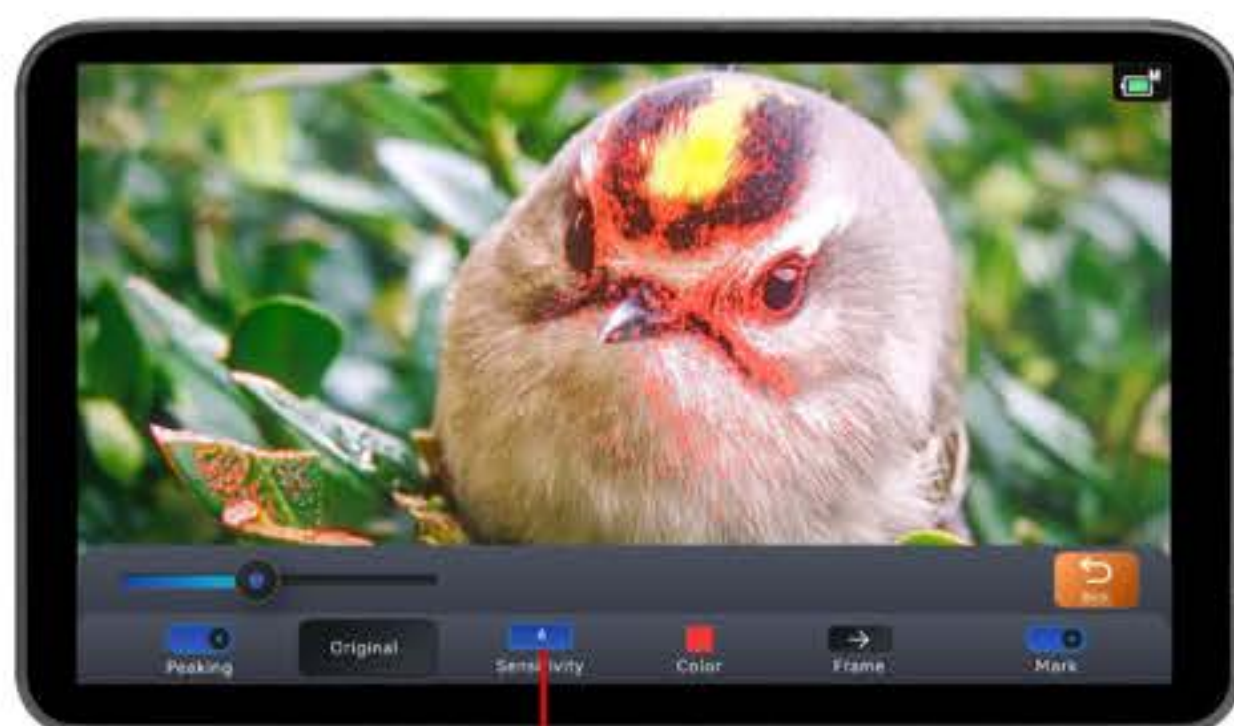


グレースケール（高）



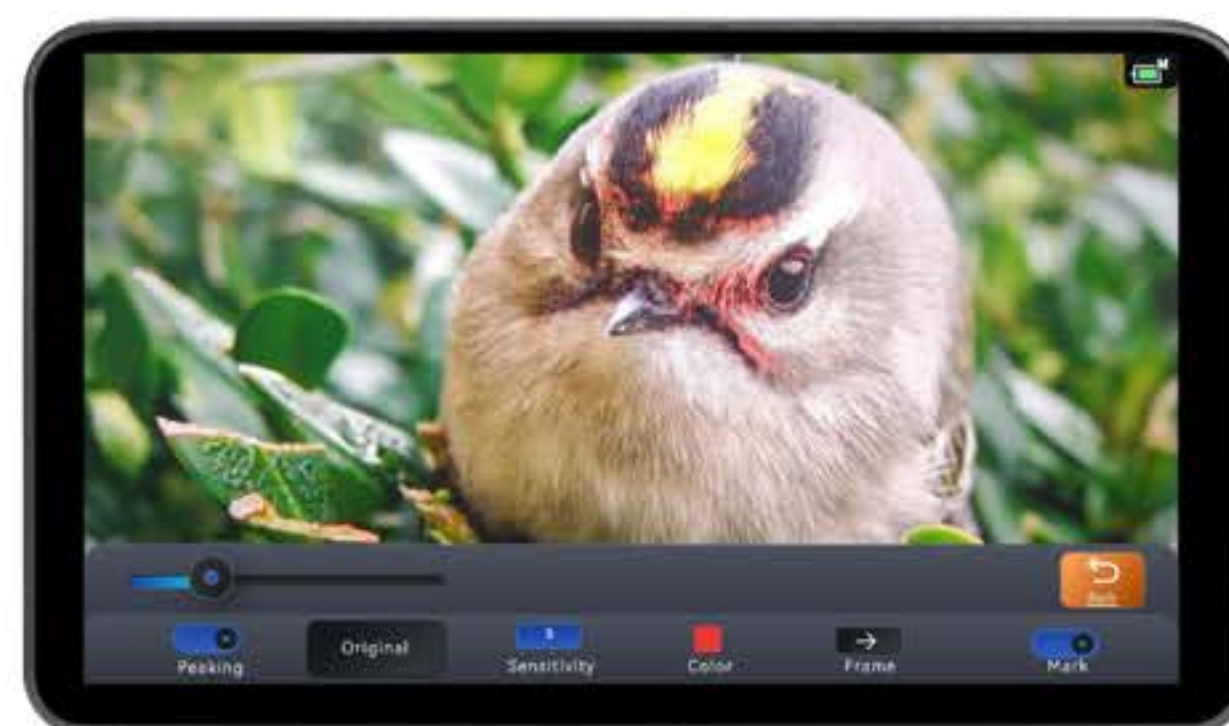
黒

フォーカスアシスト-感度

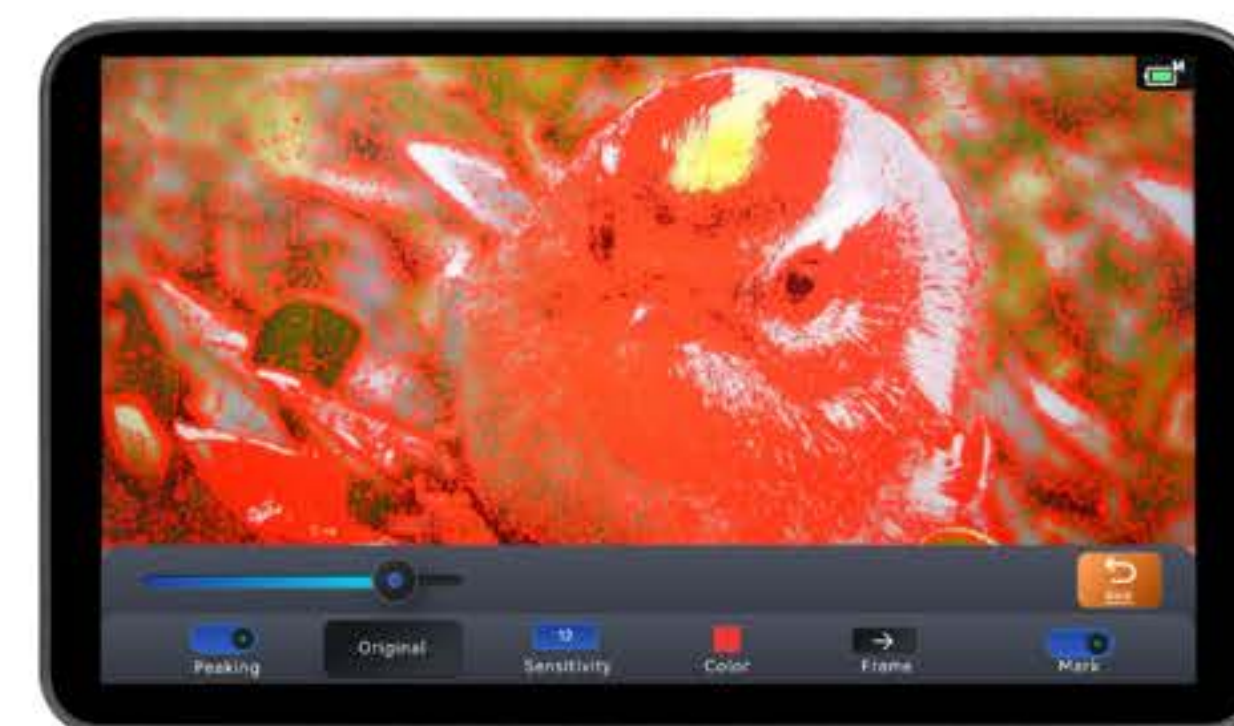


クリックして感度を有効にします

感度スライダーをドラッグして感度レベルを調整します。
範囲は1～15です。感度値が高いほどフォーカス捕捉範囲が
広がり、値が低いほど範囲が狭くなります。



低感度値



高感度値

フォーカスアシスト-カラー



クリックして色を変更します

フォーカスカラーは必要に応じて選択できます（白、赤、緑、青）

フォーカスカラースタイル



白



赤



緑



青

フォーカスアシストピークフレーム



ピークフレームを有効にする前



ピークフレームを有効にした後

- 1.ピークフレームには、水平開始、垂直開始、幅、高さ、リセット、戻るなどが含まれます。
- 2.ピークフレームを有効にすると、フォーカスはその中にのみ表示されます。
- 3.ピークフレームをクリックして次の画面に入り、パラメータを調整してピークフレームのサイズと位置を変更したり、設定をリセットしたりできます。

0%

X Start: ピークボックスを水平に移動し、「Increase」をチェックすると画面をタッチしてピークボックスを移動できます。

0%

Y Start: ピークフレームを垂直に移動し、「Increase Value」を選択すると画面上でフレームをドラッグできます。

100%

幅: 幅の値を増やすとピークフレームが拡大します。

100%

高さ: 高さの値を増やすとピークフレームの高さが増加します。



リセット: フォーカスアシストのすべての値を元の設定に復元します。



戻る: 戻るボタンをクリックして前のページに戻ります

4.3 ゼブラ



ゼブラの紹介

露出オーバー領域または特定の明るさ範囲に縞模様を表示し、写真家がリアルタイムで露出設定を識別および調整して画像の詳細を保持できるようにします

ゼブラー有効化



有効化は、ロー、ミッド、ハイの各ゾーンの表示を制御します。各ゾーンを個別に切り替えたり、3つを同時に有効にしたりできます。

ゼブラー領域オプション



クリックしてゾーンオプションを有効にします

ゼブラ領域オプションには、ローゾーン、ミドルゾーン、ハイゾーンが含まれます



ロー



ミドル



ハイ

ゼブラーIRE



画像内のゼブラ縞の表示範囲は、ミドルゾーンオプションのIRE値を調整可能で、許容範囲は±0-30です。



ローIRE効果参考



ハイIRE効果参考

4.4 フォールスカラー



フォールスカラーの紹介

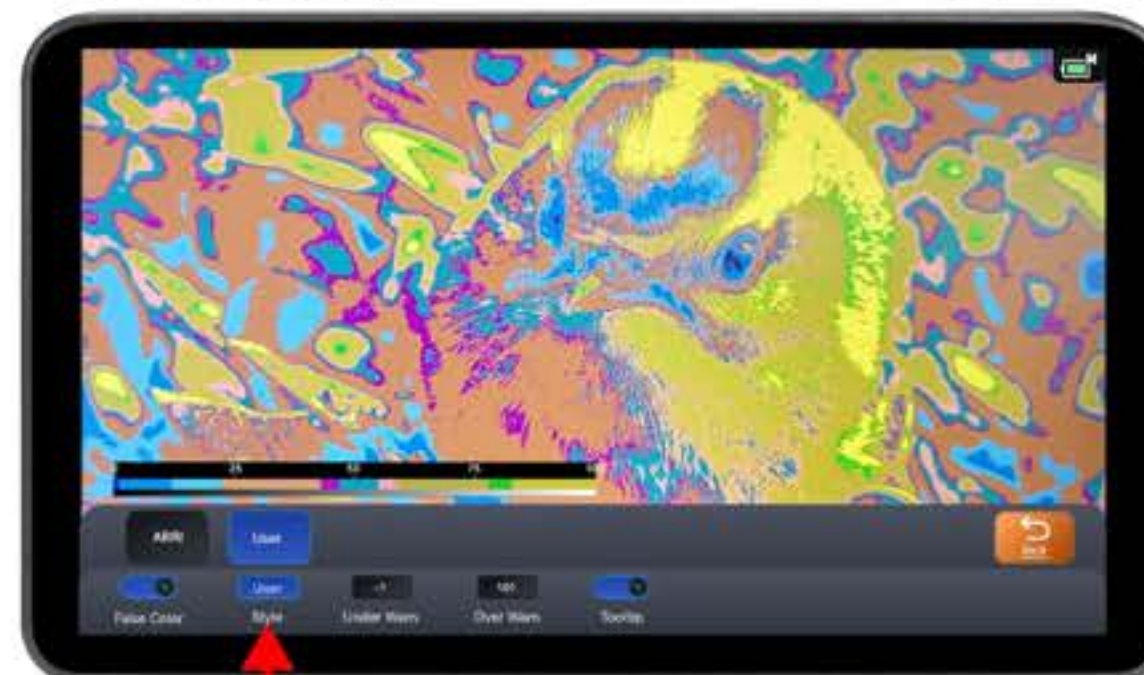
フォールスカラー機能は、画像内のさまざまな明るさレベルをさまざまな色にマッピングします。

フォールスカラー—ARRI

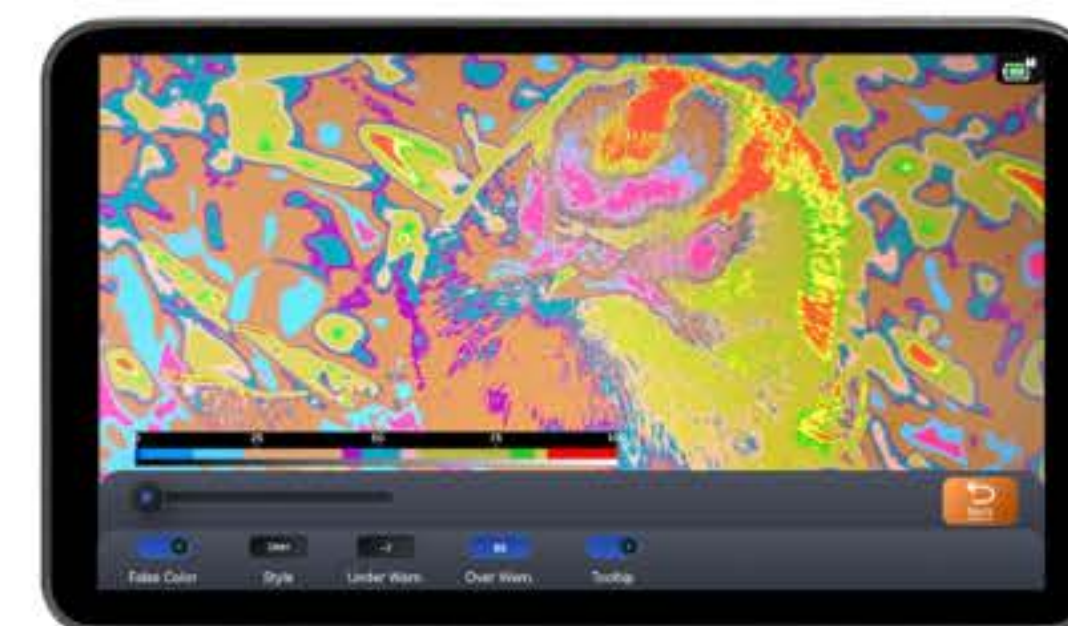


このフォールスカラー機能はARRIカメラ向けに設計されており、他の機能と高度に統合されて一貫したプロフェッショナルなワークフローを提供します。

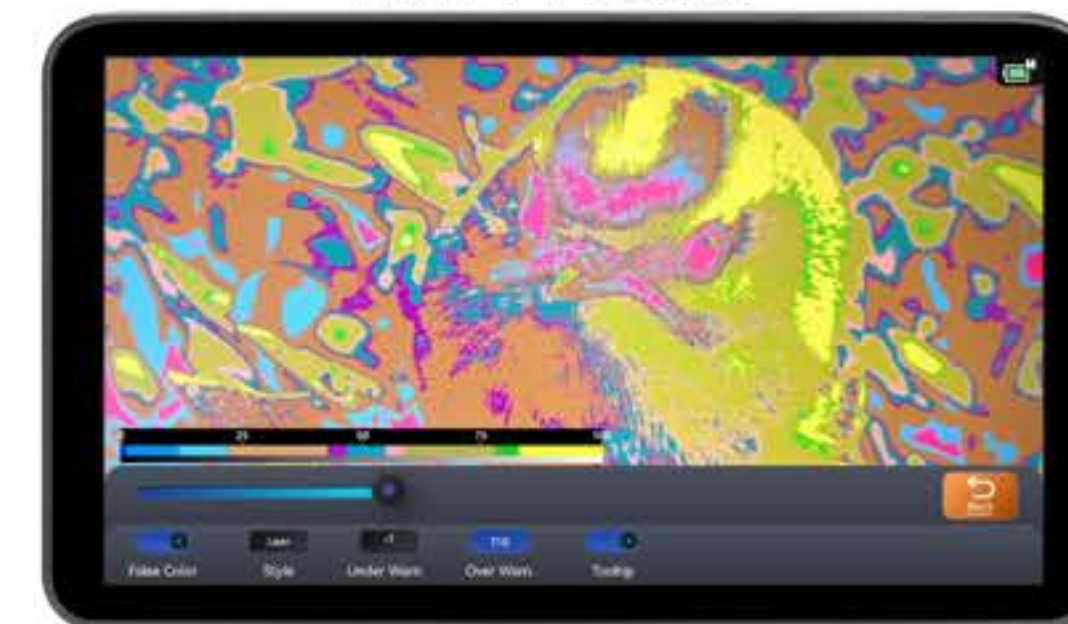
フォールスカラー—ユーザースタイル



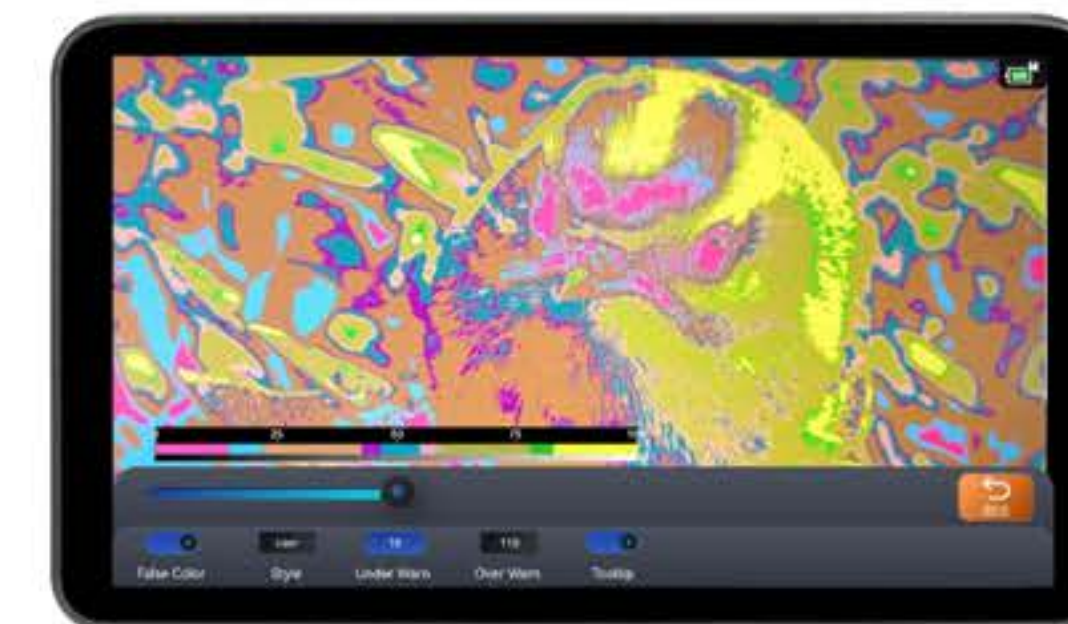
ユーザーは、ハイライト領域（露出オーバー設定）とシャドウ領域（露出アンダー設定）の露出分布ピークを自由に調整できます。



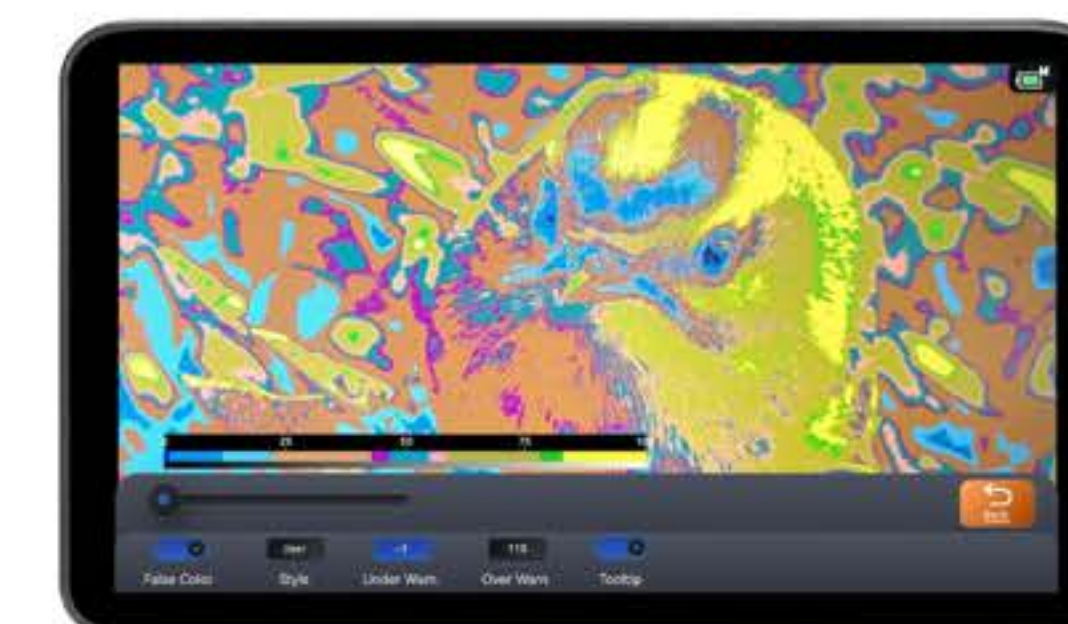
露出オーバー効果比較



露出オーバー効果比較



露出アンダー効果比較



露出アンダー効果比較

フォールスカラー—情報ノート



画像内のフォールスカラー情報は数値参照に変換できます。

4.5 輝度波形



輝度波形の紹介

グラフィカルな波形表示は、画像内の輝度分布を示し、ユーザーが露出レベルとコントラストを分析するのに役立ちます。横軸は画像内の水平位置を表し、縦軸は輝度値を示します。

輝度波形—明るさ



明るさボタンをクリックして次の画面にアクセスします。左右にスワイプして波形の明るさを調整します。



低輝度



高輝度

輝度波形—透明度



輝度波形の透明度には、オフ、25%、50%、75%の4つのオプションがあります。対応する値を選択して波形の透明度を調整します。



透明度オフ



透明度 25%



透明度 50%



透明度 75%

輝度波形一過剰色



輝度波形の露出オーバー領域と露出アンダー領域はカスタマイズ可能で、赤でマークできます。

輝度波形ズーム



ズームボタンをクリックして輝度波形を拡大または縮小します

ローエリアのスライダーを左右にスライドして下部の範囲外ピークを調整します。範囲は-7-109です。



オーバーローエリア効果比較



オーバーローエリア効果比較

ハイエリアのスライダーを左右にスライドして上部の範囲外ピークを調整します。範囲は-7-109です。



オーバーフロー領域のエフェクト比較



オーバーフロー領域のエフェクト比較

拡大後

輝度波形一位置

- 1.輝度波形は、次の領域のいずれかに配置できます：左上、右上、左下、右下。
- 2.位置ボタンをクリックして輝度波形の対応する位置を選択します



左上



右上



左下



右下

4.6 RGB 波形



RGB 波形の紹介

画像の赤、緑、青の各チャンネルを個別の波形として表示します。これらの波形は各カラーチャンネルの明るさ分布を示し、各チャンネルの露出とコントラストを確認および調整できるようにします。

RGB波形一明るさ



明るさボタンをクリックして次の画面に入ります。左右にスワイプして波形の明るさを調整します。範囲は1-6です。



低輝度



高輝度

RGB 波形 - 透明度



RGB波形の透明度には、オフ、25%、50%、75%の4つの数値オプションがあります。透明度ボタンをクリックし、対応する値を選択して明るさ波形の透明度を調整できます。



透明度オフ



透明度 25%



透明度 50%



透明度 75%

RGB波形一過剰色



RGB波形の露出オーバー領域と露出アンダー領域はカスタマイズ可能で、赤でマークできます。

ローエリアのスライダーを左右にスライドして下部の範囲外ピークを調整します。範囲は-7-109です



オーバーローエリア効果比較



オーバーローエリア効果比較

ハイエリアのスライダーを左右にスライドして上部の範囲外ピークを調整します。範囲は-7-109です



オーバーハイエリア効果比較



オーバーハイエリア効果比較

RGB波形ズーム



ズーム前



拡大後

ズームボタンをクリックしてRGB波形を拡大または縮小します。

RGB波形一位置

1.RGB波形は、次の領域のいずれかに配置できます：左上、右上、左下、右下。

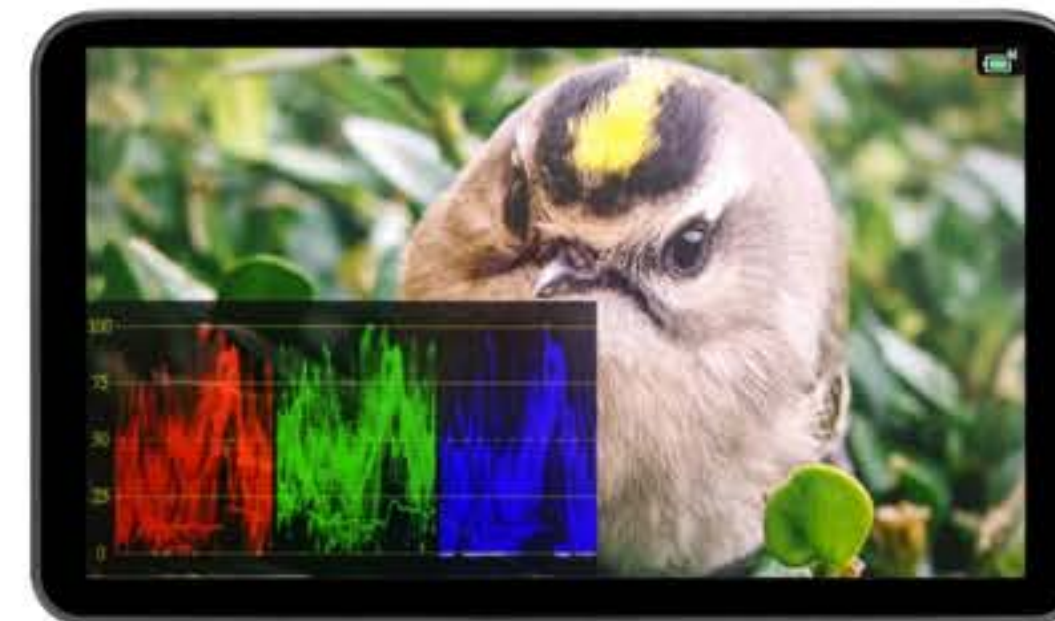
2.位置ボタンをクリックしてRGB波形の対応する位置を選択します。



左上



右上



左下



右下

4.7 オーディオ メーター



ボリュームインジケータの紹介

入力される音声のボリュームをリアルタイムでモニタリングします。

オーディオメーター半透明

半透明ボタンをクリックすると、オーディオが半透明の状態で見られるようになります。



半透明オフ



チャンネル切り替え: チャンネルボタンをクリックして左または右の再生を選択します。



半透明オン

4.8 輝度ヒストグラム



輝度ヒストグラムの紹介

画像の明るさは画面上部にヒストグラムとして表示されます。

輝度ヒストグラム - 透明度



透明ボタンをクリックすると、明るさヒストグラムが透明で表示されます。



透明度



透明度オン

輝度ヒストグラム - ズーム

ズームボタンをクリックして明るさヒストグラムを拡大または縮小します。



ズームボタンをクリックして明るさヒストグラムを拡大または縮小します。



拡大後

輝度ヒストグラム - 位置



輝度ヒストグラムは、次の領域のいずれかに配置できます：左上、右上、左下、右下。

位置ボタンをクリックして輝度ヒストグラムの対応する位置を選択します。



左上



右上



左下



右下

4.9 長方形クロープ



矩形クリッピングの紹介

クロープを有効にした後、サイズパラメータを調整して画像をクロープします。

- 0% X Start: クロップフレームを左右に水平移動し、「Increase Value」を選択すると画面上でフレームをドラッグできます。
- 0% Y Start: クロップフレームを上下に垂直移動し、「Increase Value」を選択すると画面上でフレームをドラッグできます。
- 100% 幅: 幅の値を増やしてクリッピングボックスを拡大します。
- 100% 高さ: 高さの値を増やしてクリッピングボックスの高さを増やします。
- Reset: すべてのクロープ値を元の設定に復元します。
- Back: 戻るボタンをクリックして前のページに戻ります。

矩形クロープ



有効化前



有効化後

矩形クロープーサイズ変更



4.10 画像キャプチャ



使用方法

ステップ1: USBドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



ステップ2: 「画像キャプチャ」をクリックします。



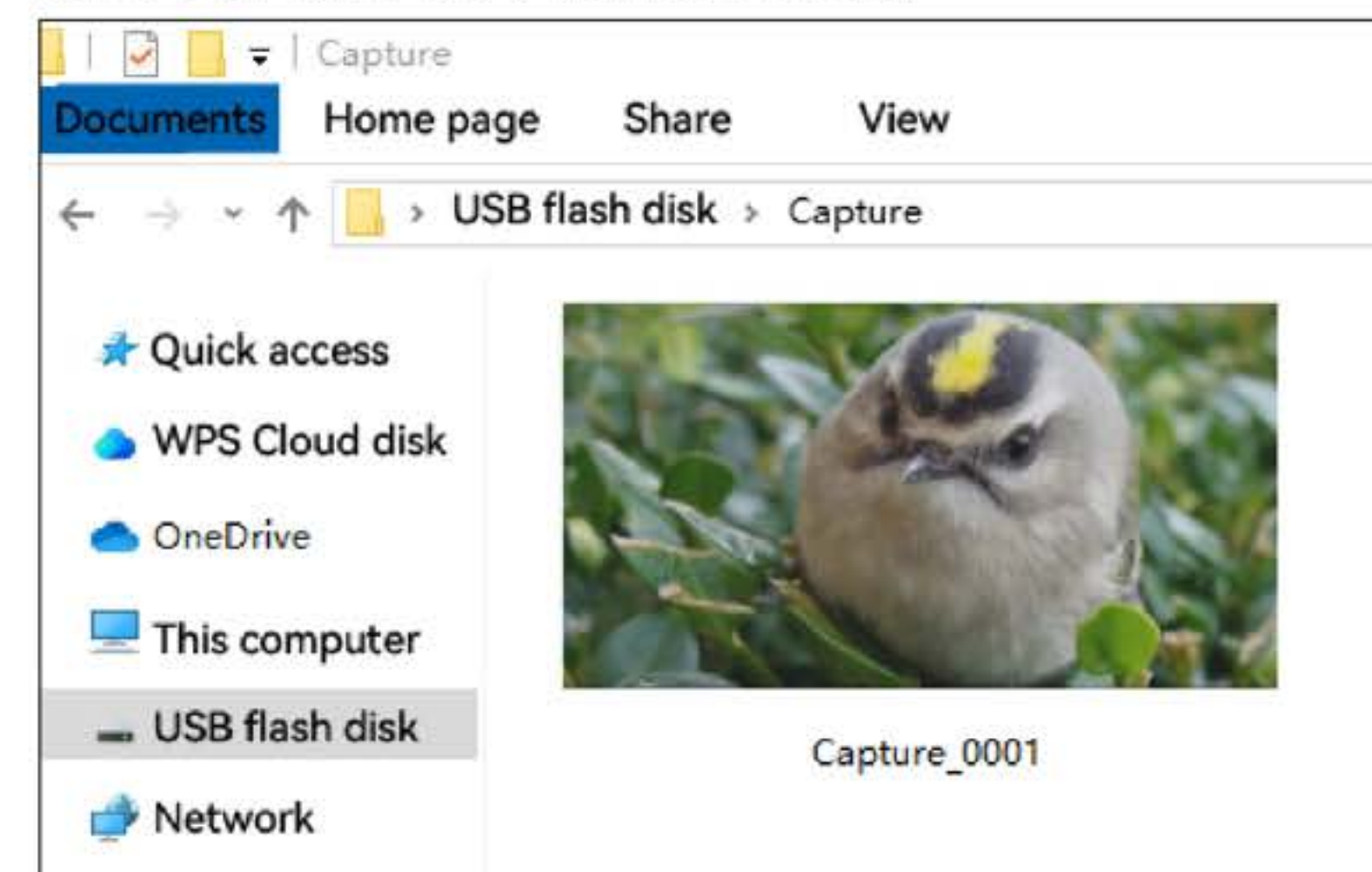
画像キャプチャの紹介

任意のフレームを自由にキャプチャし、USBドライブに保存することができます。

ステップ3: 画像キャプチャが完了するまで待ちます。



ステップ4: 画像キャプチャが完了しました。



4.11 画像オーバーレイ



画像オーバーレイの紹介

キャプチャした画像を使用して、USBドライブを介してリアルタイムビデオと半透明のオーバーレイ比較を行うことができます。

使用方法

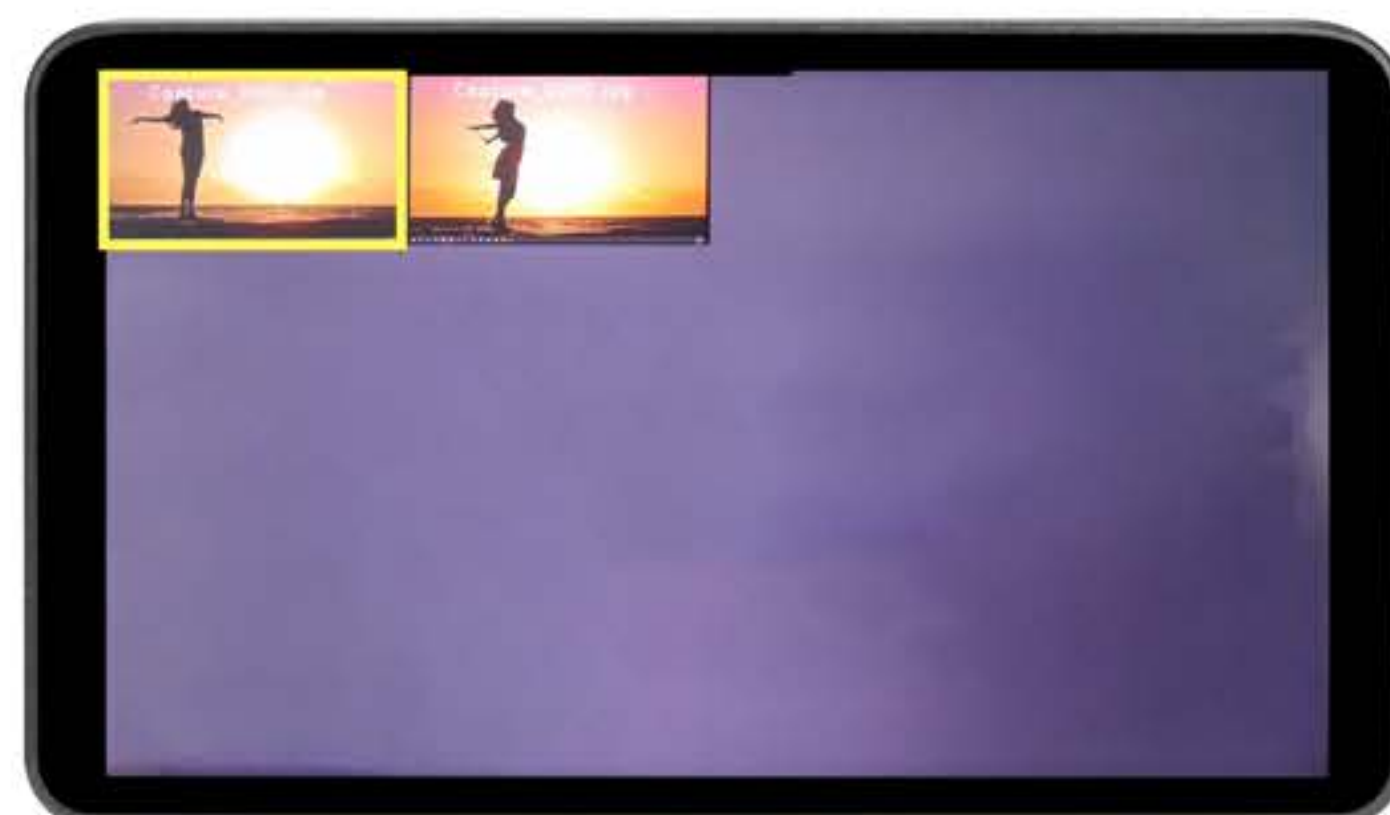
ステップ1: USBドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



ステップ2: 「画像オーバーレイ」をクリックします。



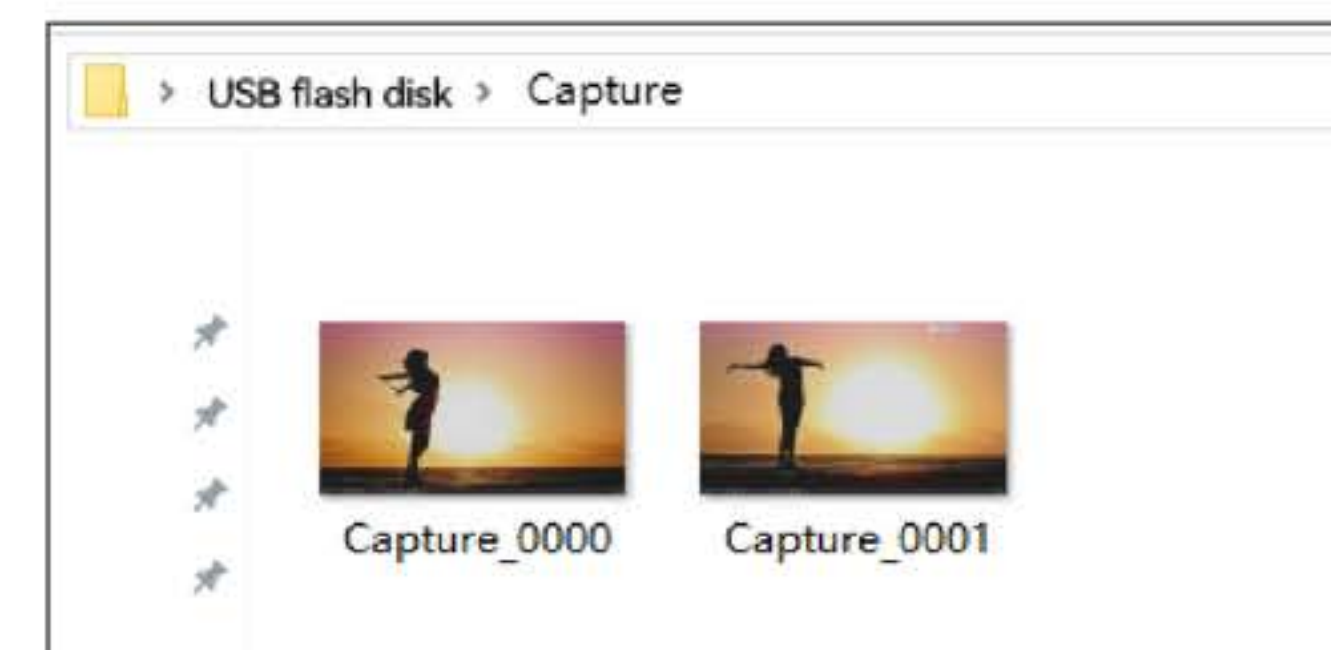
ステップ3: 画像オーバーレイが完了するまで待ちます。



ステップ4: 画像オーバーレイが完了しました。



ヒント: ユーザーは自分の画像をUSBドライブに保存してオーバーレイ表示が可能です。画像要件: 16:9、1920×1080、サイズ1MB以内。それ以外はオーバーレイできません



4.12 HDR(HLG)



HDR(HLG)の紹介

HLG形式を使用する場合、最終的なHDRフッテージに非常に近い明るさと色の効果をリアルタイムでプレビューできます。



開く前



開いた後

4.13 チェック フィールド



チェック フィールドの紹介

画像内の特定の領域や問題点を強調するため、異なる色のオーバーレイを適用できます。



開いた後

チェック フィールド - カラー

チェックフィールドには4つの色（白黒グラデーション、赤、緑、青）が含まれています。対応するカラーフレームを選択して画像の色を調整します。



4.14 ガイド

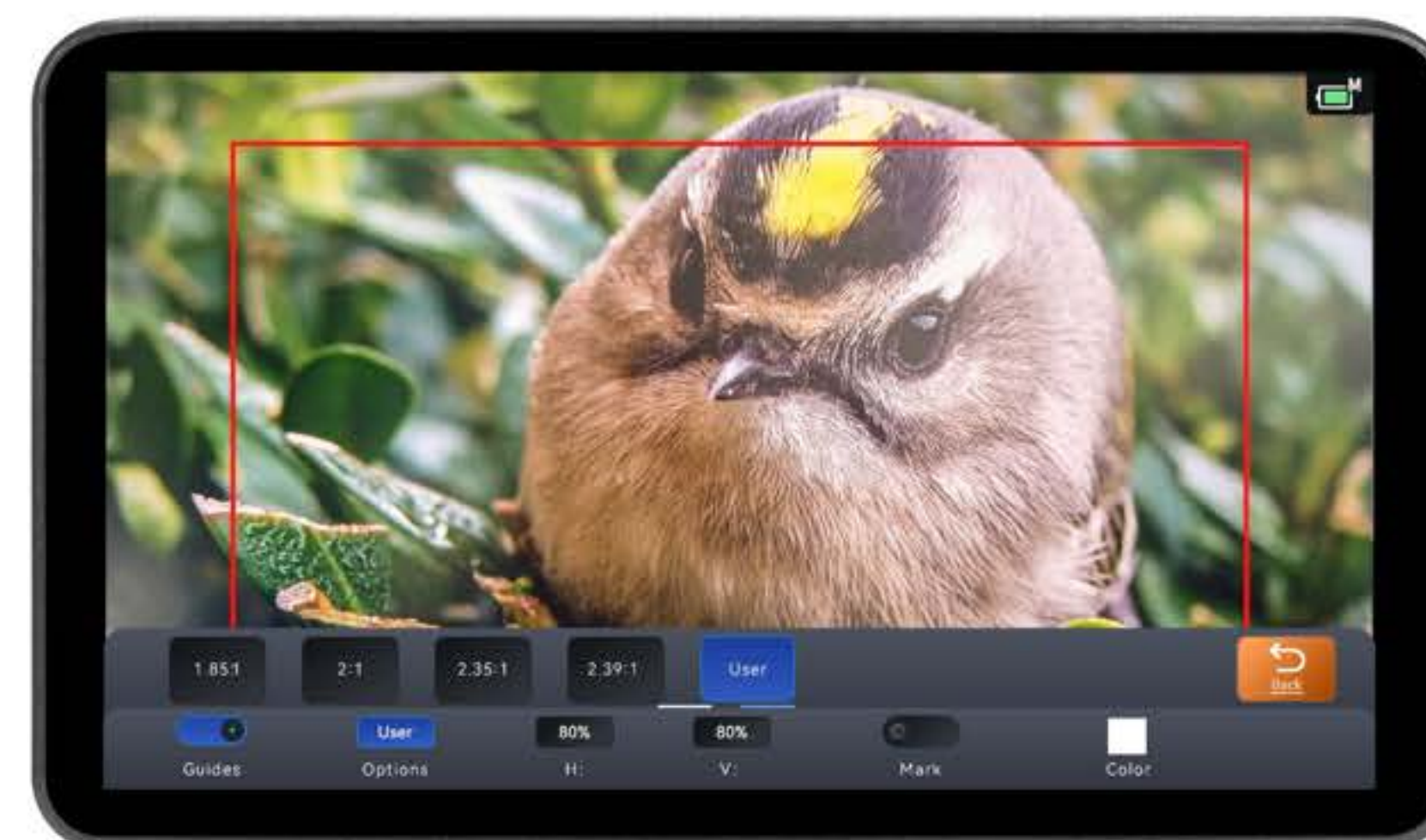


ガイドの紹介

さまざまなアスペクト比を表示することで、ユーザーは撮影中に最終的な出力形式を理解し、フレーム内の重要な要素をよりよく表現できるようにします。

ガイド - オプション

- 1.ガイドフレームには（1.85:1、2:1、2.35:1、2.39:1、カスタム）のオプションが含まれています。
- 2.対応するパラメータを選択してフレームサイズを調整するか、パラメータをカスタマイズして精密な調整を行います。





(80%)



(90%)



(4: 3)



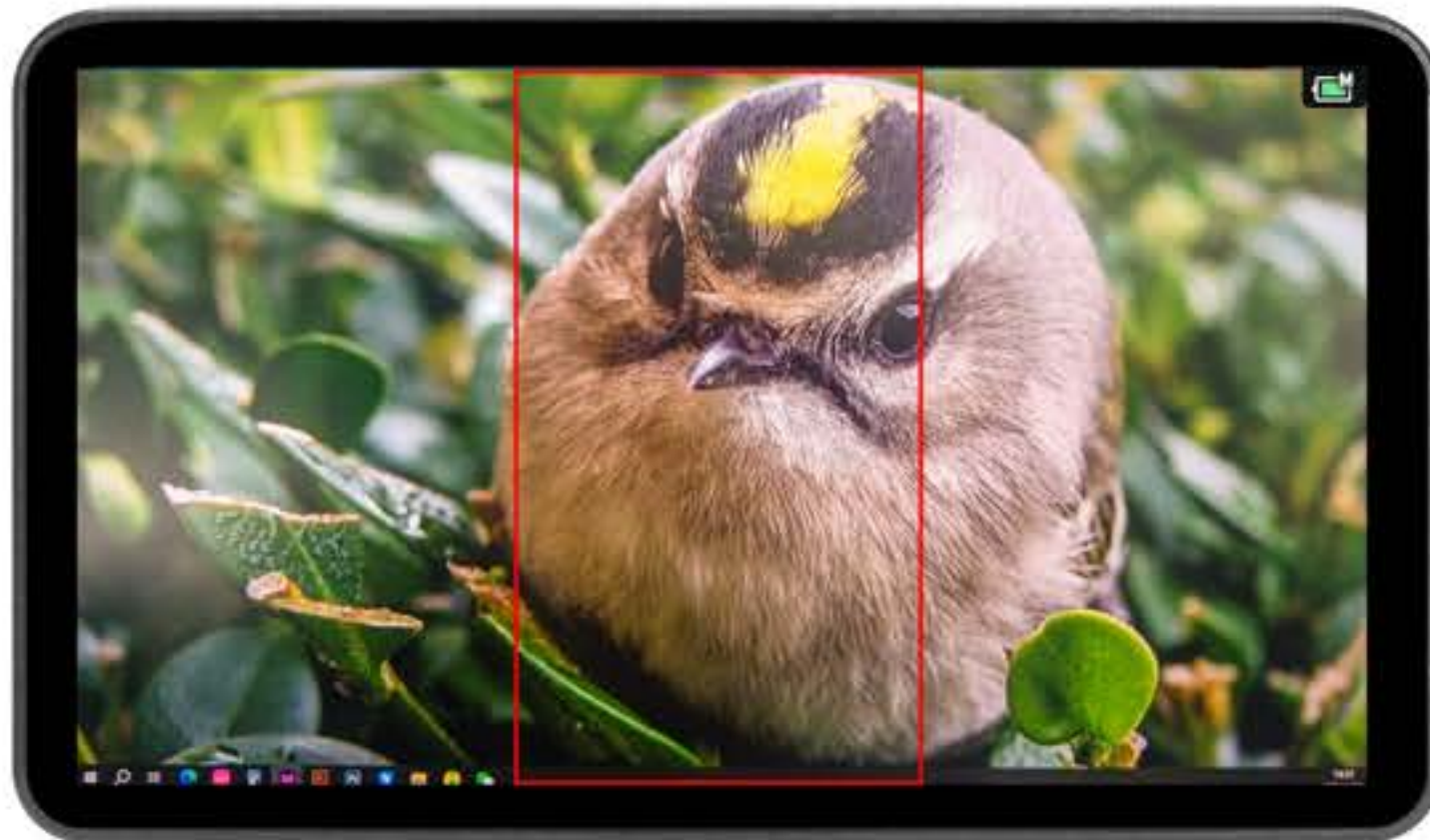
(1: 1)



(16: 9)



(1.85:1)



(9: 16)



(15: 9)



(2.35:1)



(1.5: 1)



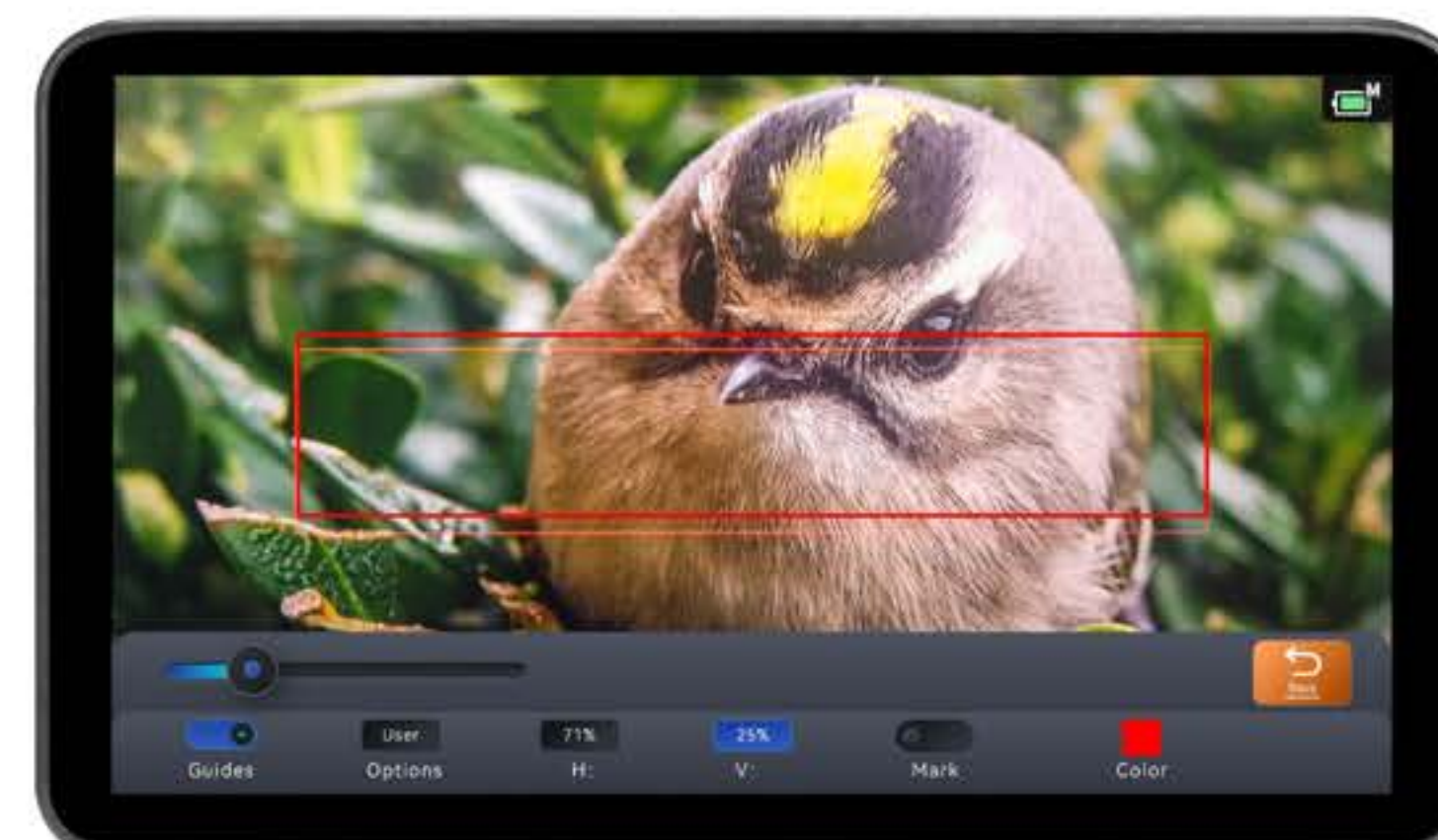
カスタム水平効果



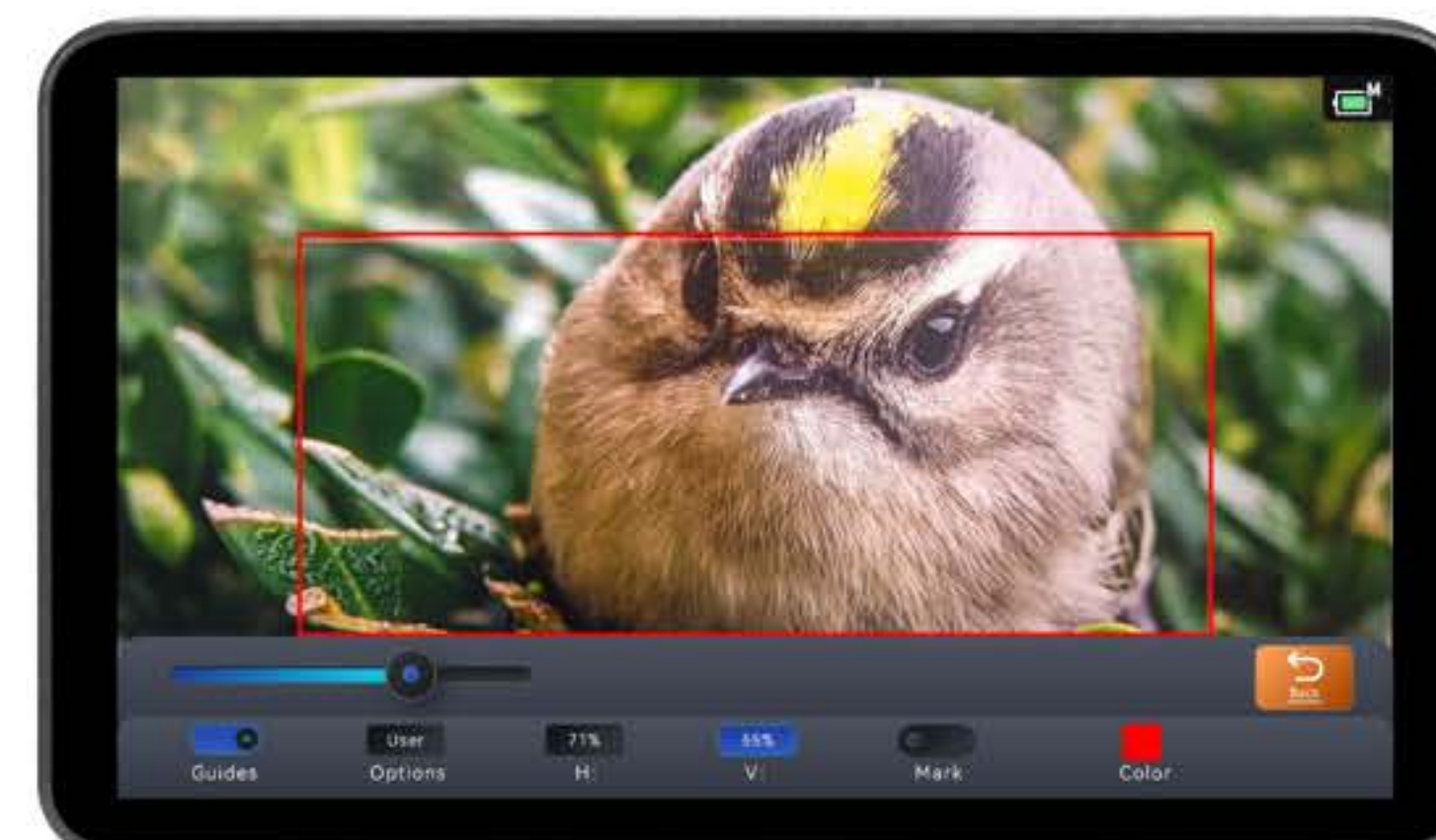
カスタム水平効果



(2:1)



カスタム垂直効果



カスタム垂直効果



(2.39:1)

ガイド - マーキング

ガイドフレームボタンをクリックした後、画面にはガイドフレーム部分のみが表示されます



マーキング前



マーキング後

ガイド - カラー

ガイドフレームの色には白、赤、緑、青が含まれています。対応するカラーフレームを選択して色を調整します。



白



赤



緑



青

4.15 クロスヘア

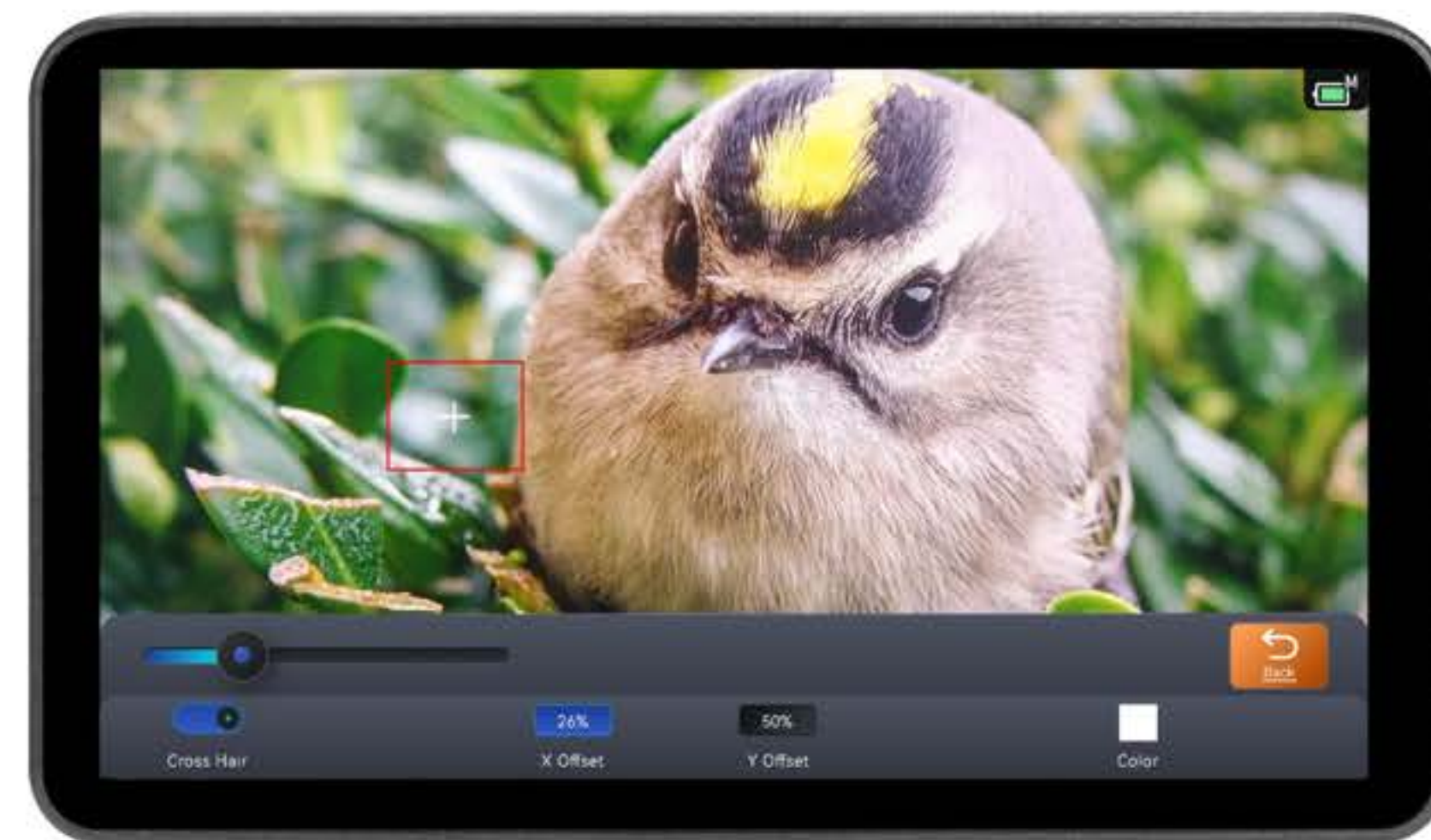


クロスヘアの紹介

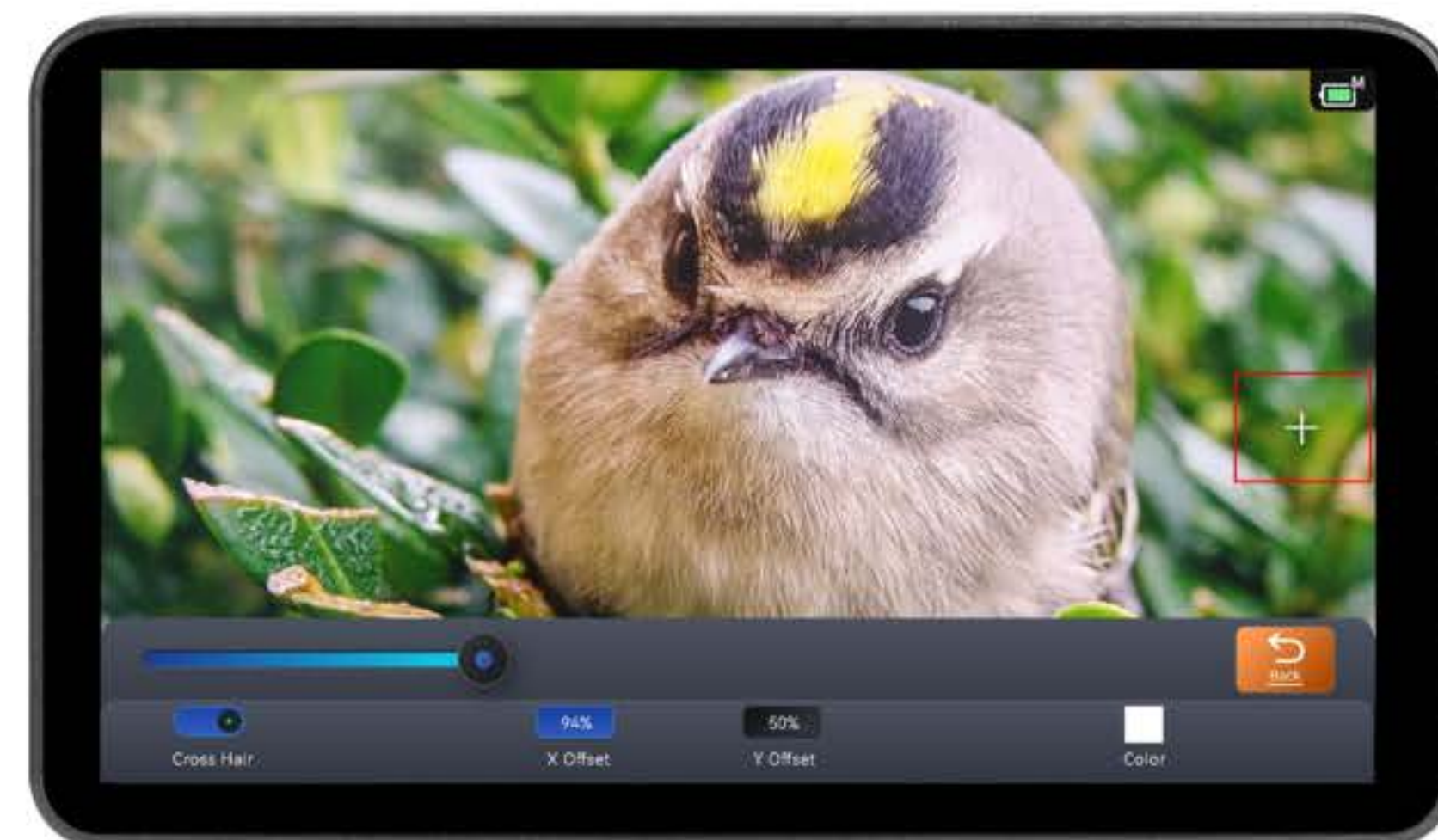
画像にクロスヘア基準線を表示し、被写体を正確に位置合わせするのに役立ちます

クロスヘアー水平シフト

スライダーを移動してクロスヘアを左右にシフトします。



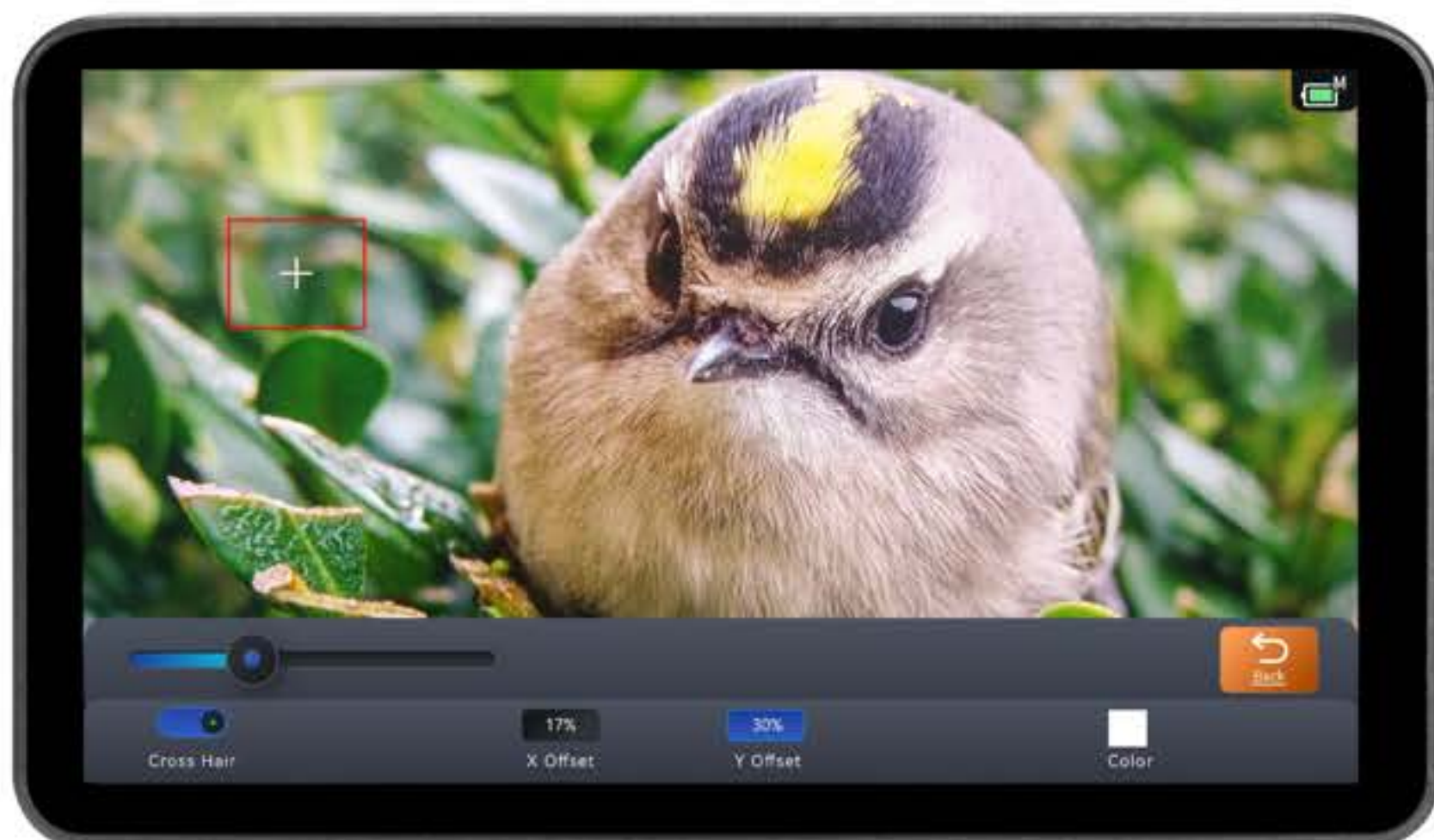
左にスワイプ



右にスワイプ

クロスヘア垂直シフト

スライダーを移動してクロスヘアを上下にシフトします。



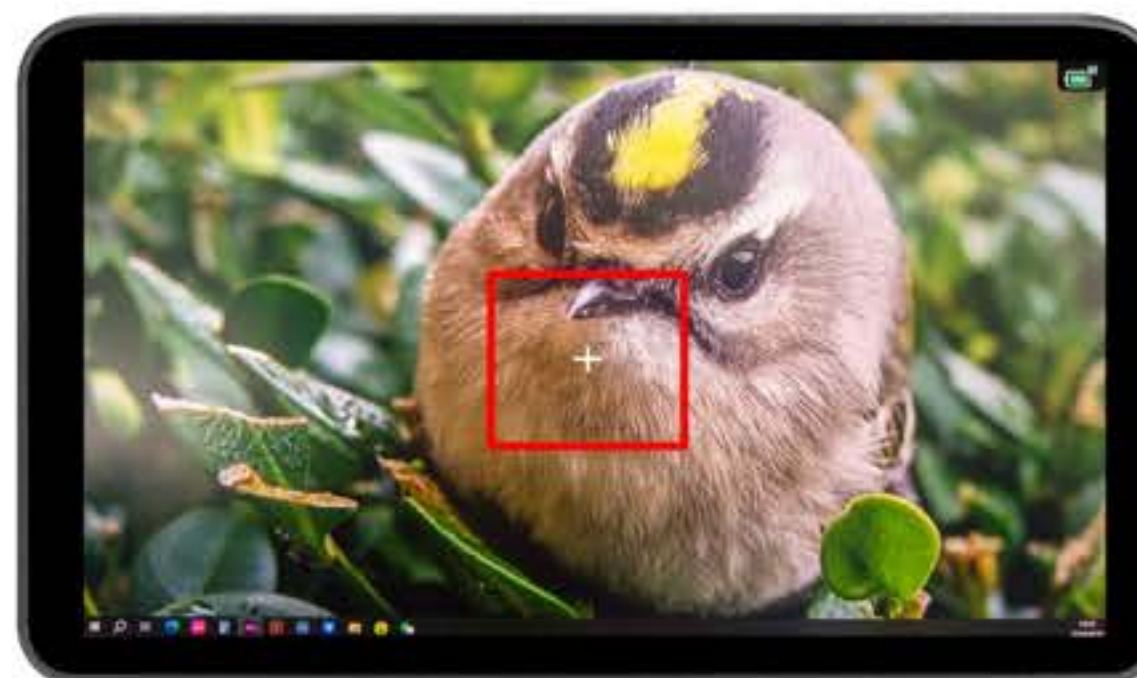
左にスワイプ



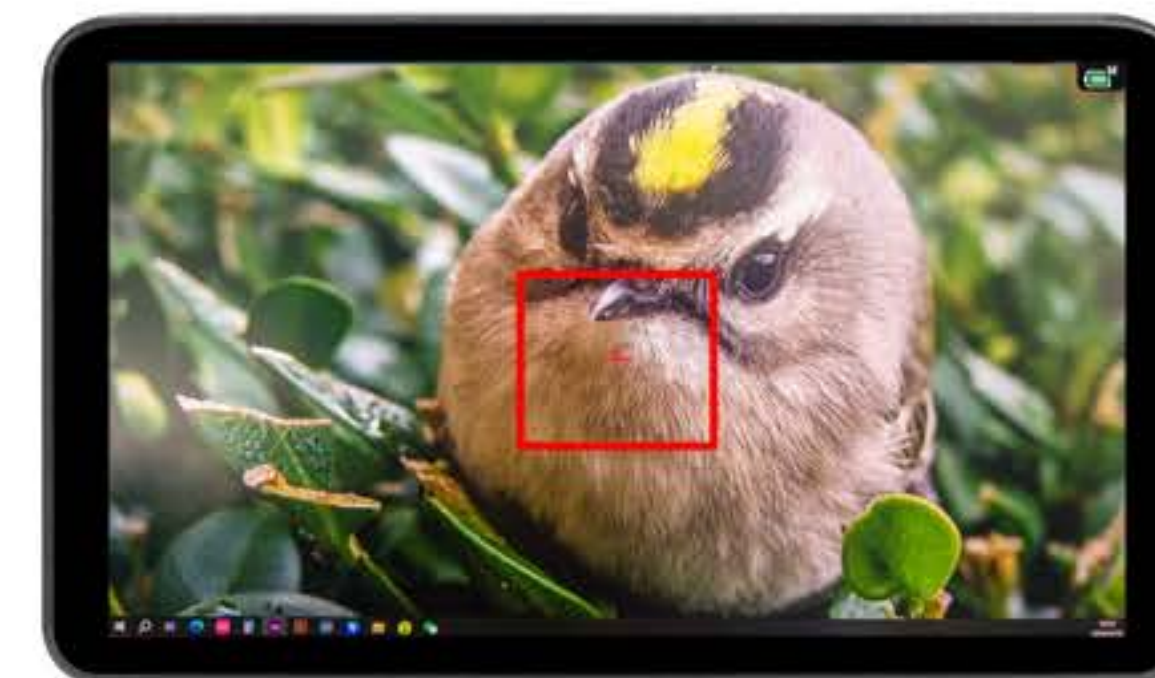
右にスワイプ

クロスヘアカラー

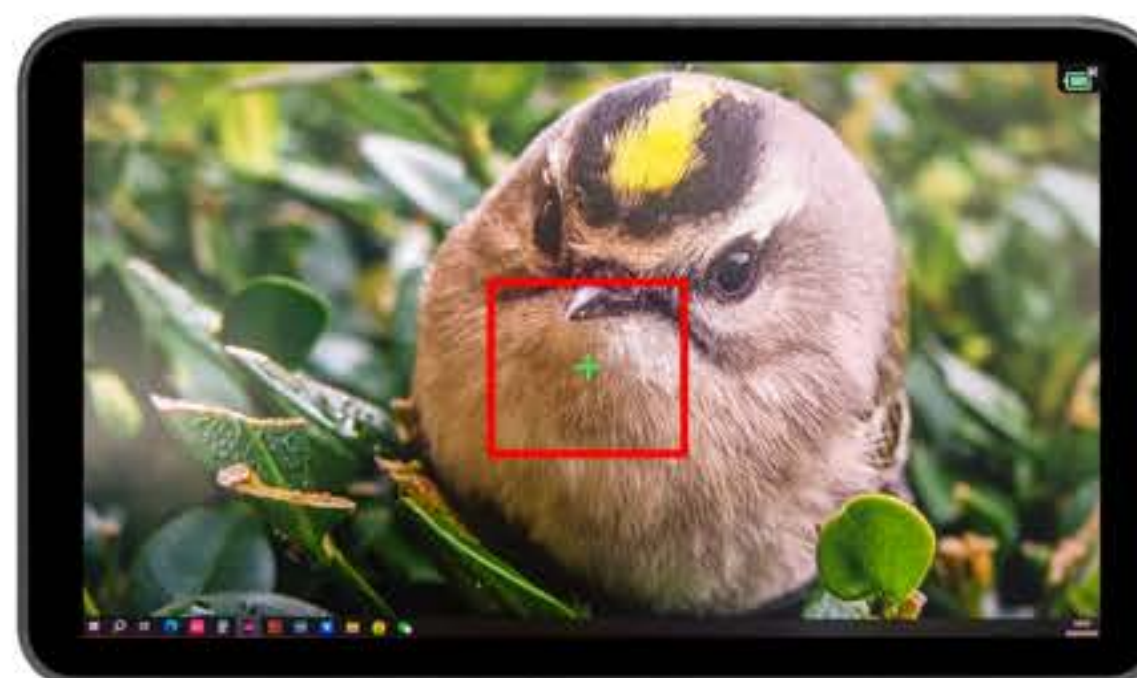
クロスヘアの色には白、赤、緑、青が含まれています。対応するカラーフレームを選択して色を調整します。



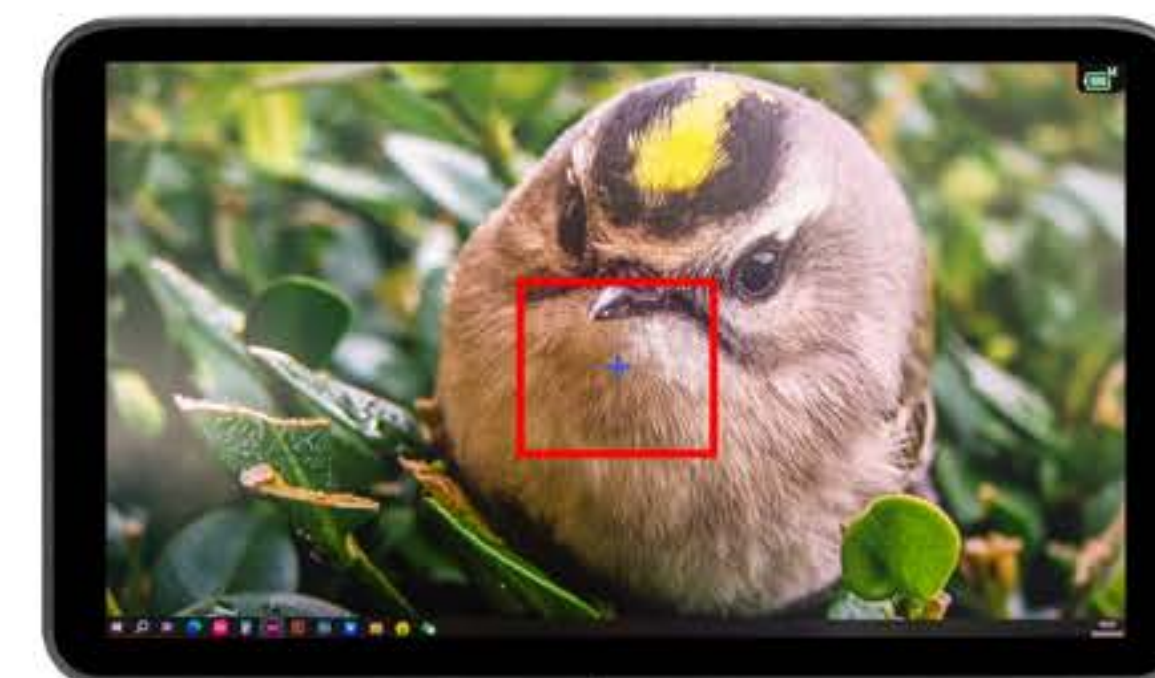
白



赤



緑



青

4.16 グリッド

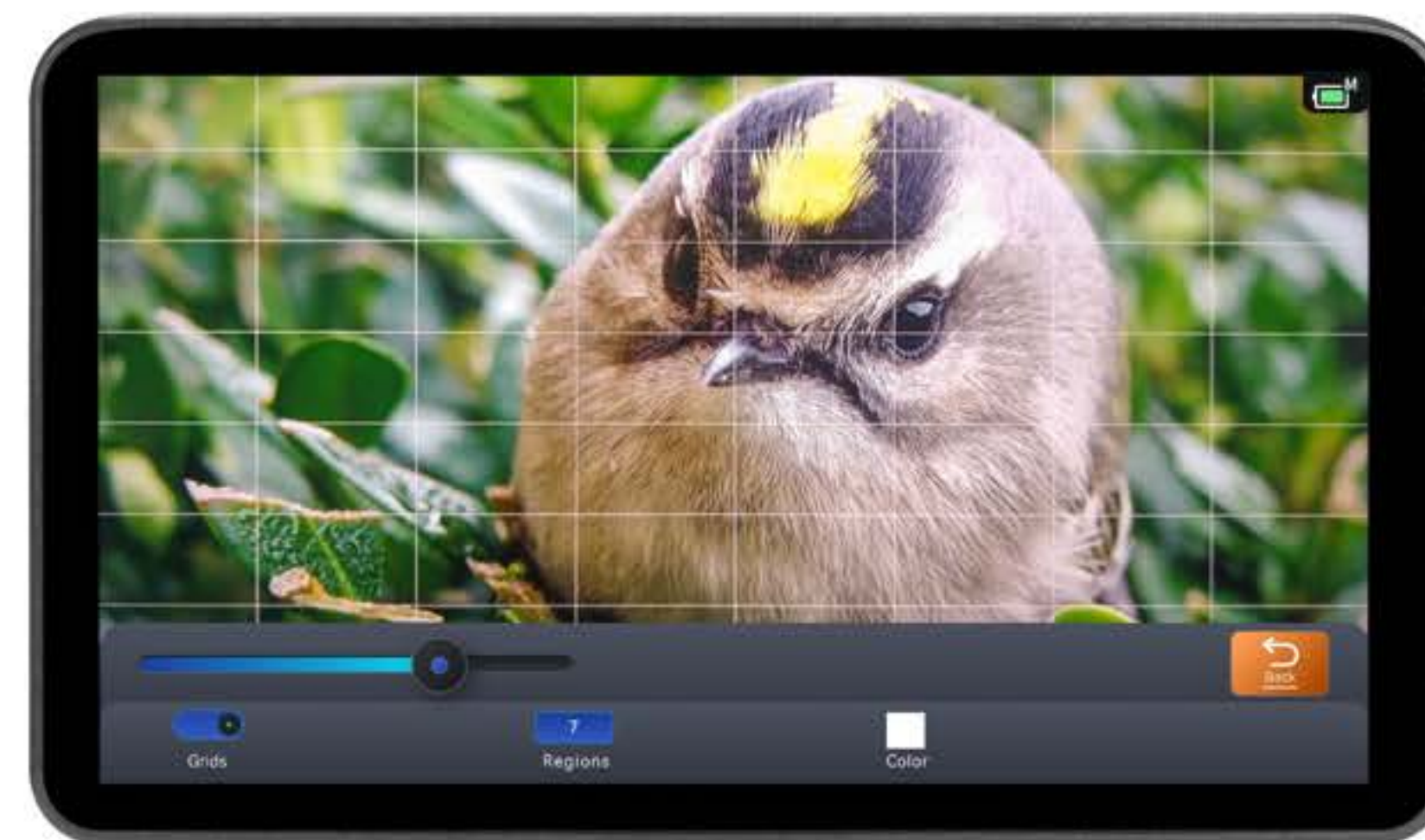


グリッドの紹介

グリッドをSC有効にすると、画像が均等に分割され、ユーザーがより正確かつ便利に構図を作成するのに役立ちます。

グリッドー領域

グリッド範囲をクリックし、スライダーを調整してグリッドの数を増やします。

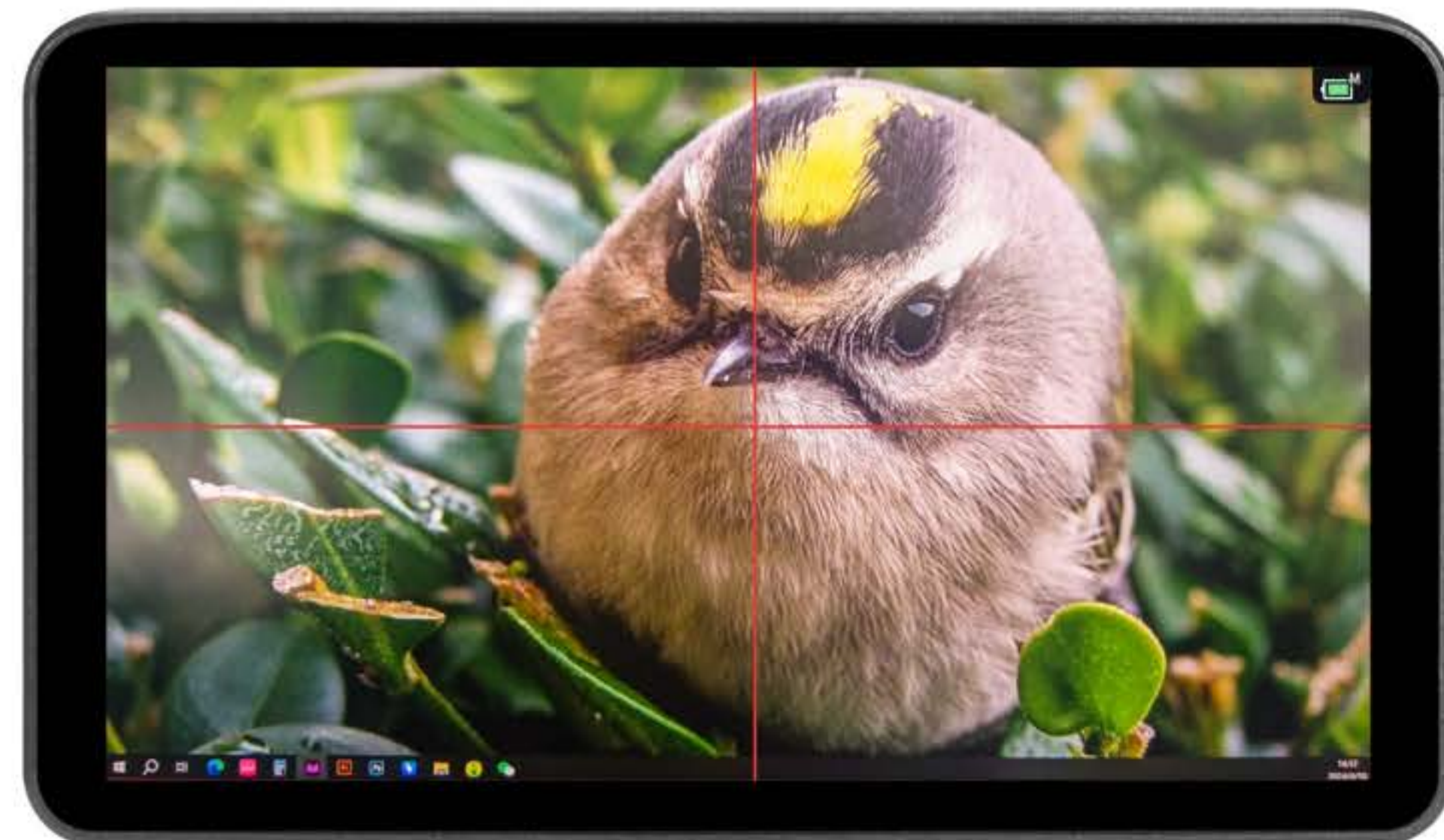


グリッドカラー

グリッドの色には白、赤、緑、青が含まれています。対応するカラーフレームを選択して色を調整します。



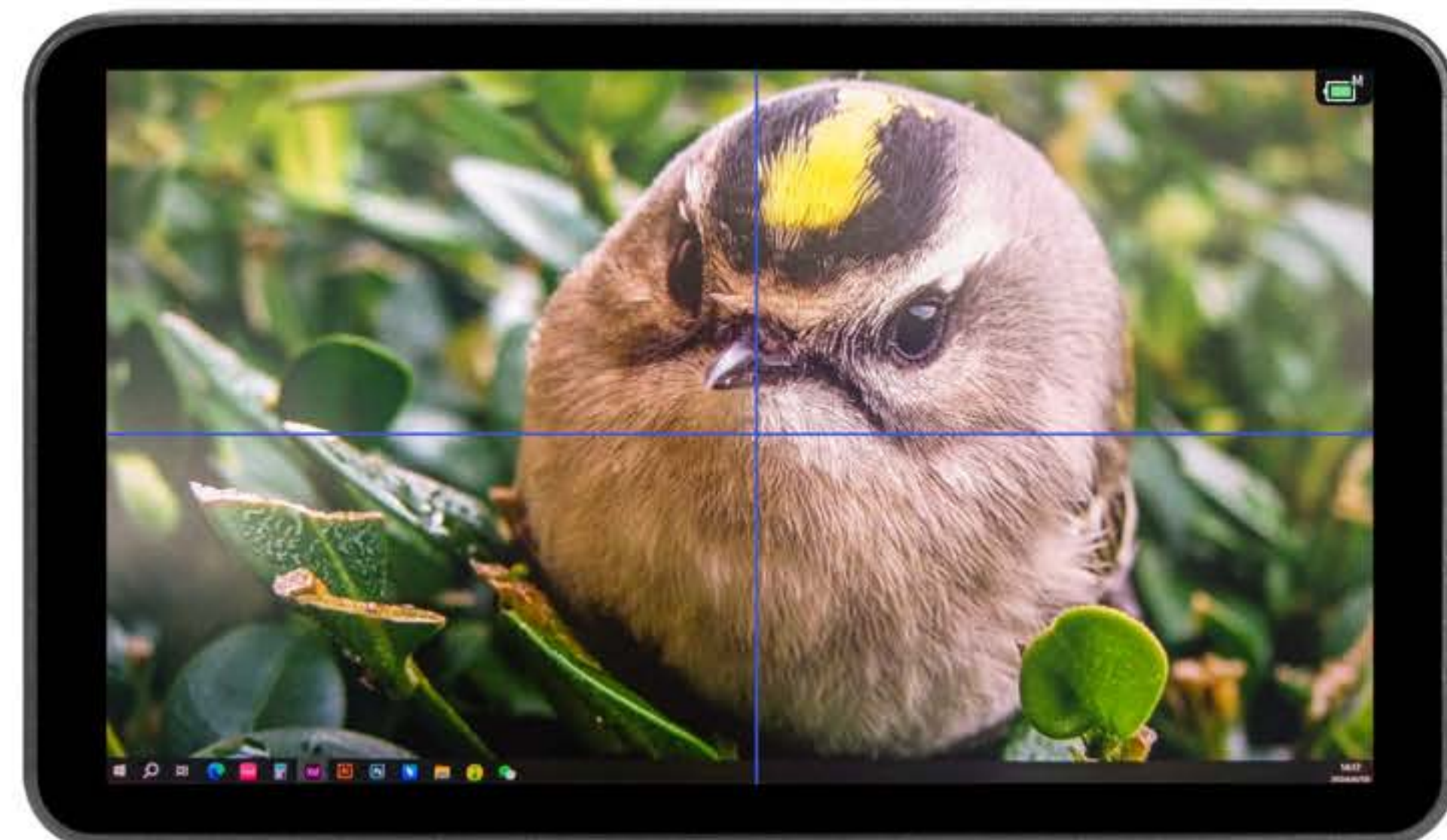
白



赤



緑



青

4.17 アナモルフィック



歪みアイコンをクリックして歪みパラメータを調整し、デフォルト設定
(1.00X、1.33X、1.42X、1.50X、1.60X、1.66X、1.80X、1.85X、2.00X、
2.35X、ユーザー4.00X) で画像サイズを変更します。



(1.00X)



(1.33X)



(1.42X)



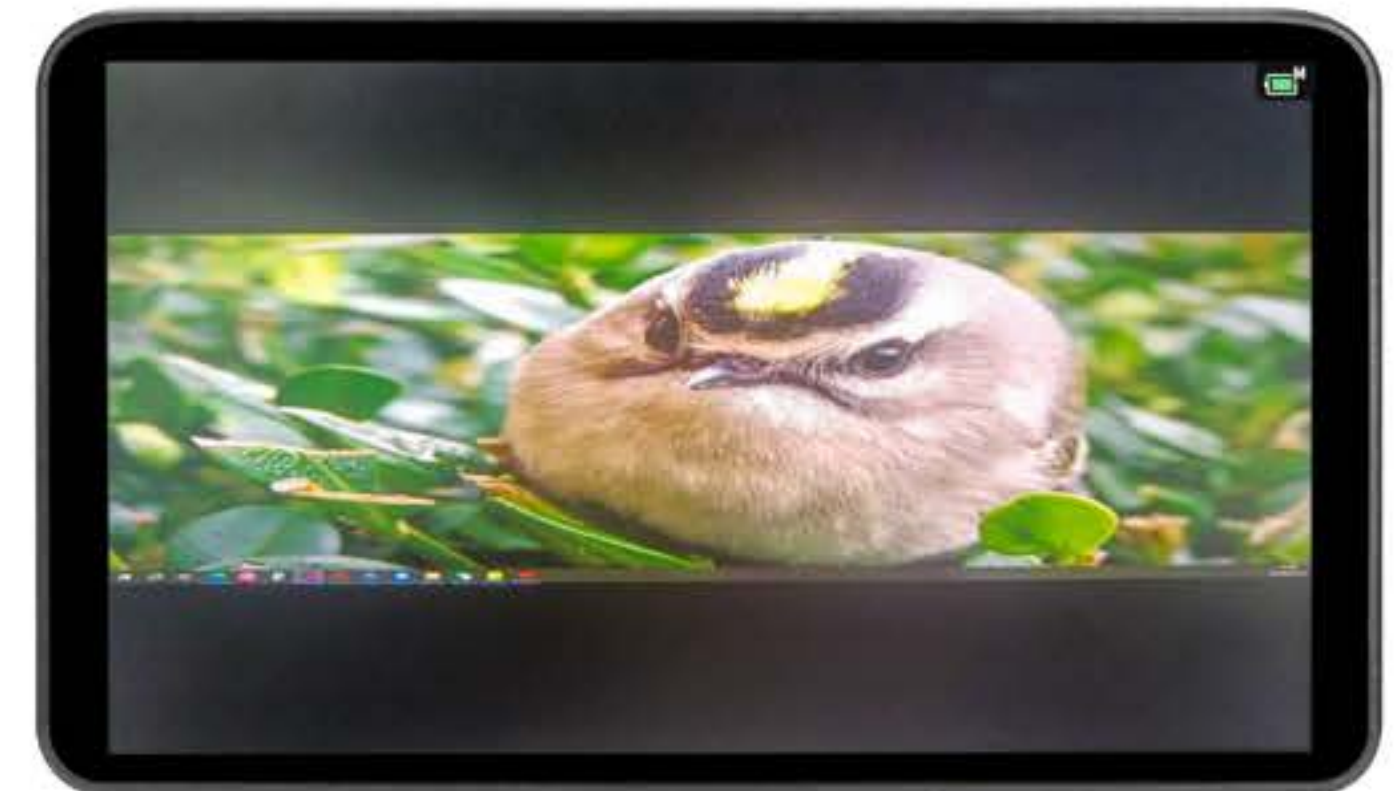
(1.50X)



(1.60X)



(1.66X)



(1.80X)



(1.85X)



(2.00X)



(2.35X)



(User 4.00X)

4.18 ジェスチャーズーム



ジェスチャーズームインを有効にします。2本の指を画面に置き、広げたり挟んだりして画像サイズを調整します。



画面上で2本の指を外側に挟んで広げるとズームインします。



2本の指を内側に挟んで狭めるとズームアウトします。

1台から多数へのコントロールシステム

5.1



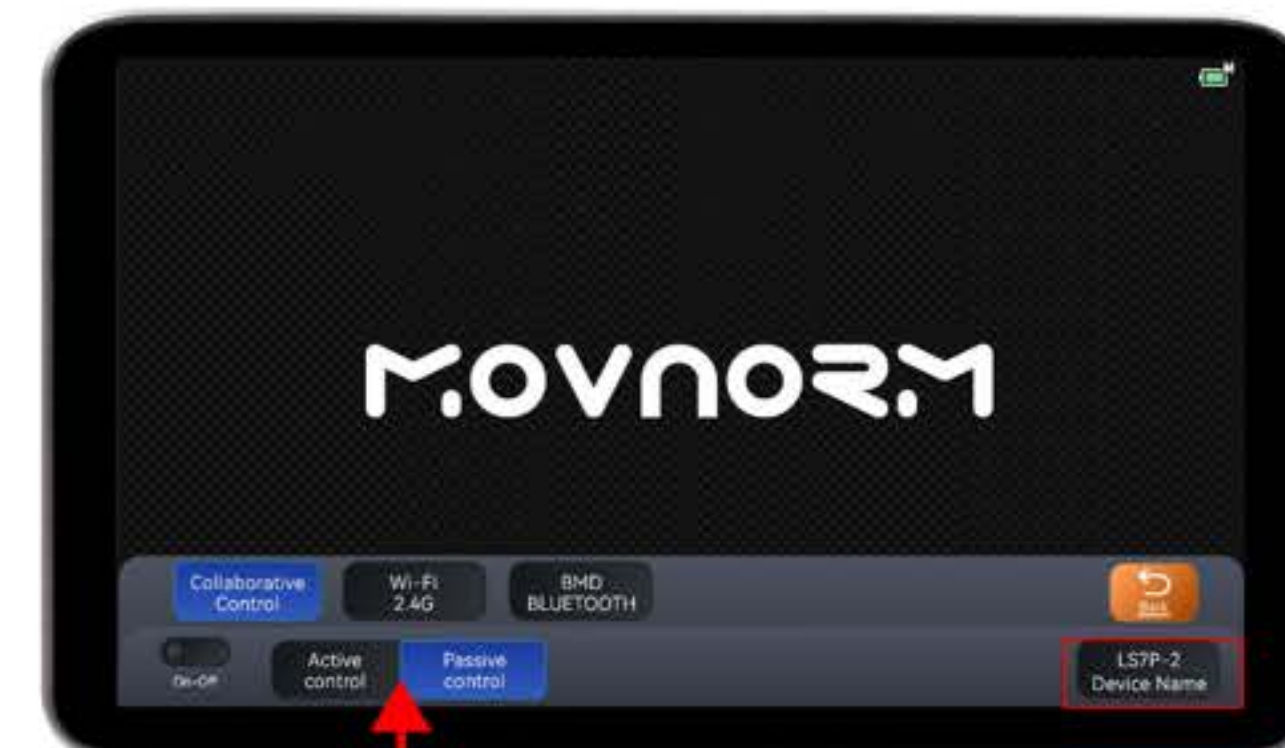
複数ブランドに対応する50m多機能カメラワイヤレスコントロール

ワイヤレスコントロールをサポートする単一のPortkeysモニターで、50メートル以内にある最大4台のPortkeysモニター（ワイヤレスモジュール搭載）をリモートコントロールできます。これにより、さまざまなカメラブランドやモデルのパラメータ調整とタッチフォーカスコントロールが可能になります。接続は安定しており、応答も速いです。



カメラメニューをクリックします

ワンタッチメニューコントロールシステムパネルでは、デバイス名を変更したり、マスターモードと被制御モードを切り替えたりできます。



マスター/被制御モードを切り替えます

デバイス名を変更します



コラボレーションコントロールが有効になると、マスターモードと被制御モードの切り替えは無効になります。

「品」では、最大4台のデバイスを制御できます。このモードでは、有線またはワイヤレス接続によるカメラ制御はできません。



「品」では、Wi-Fi経由でカメラに接続することでのみコラボレーションコントロールが可能です。



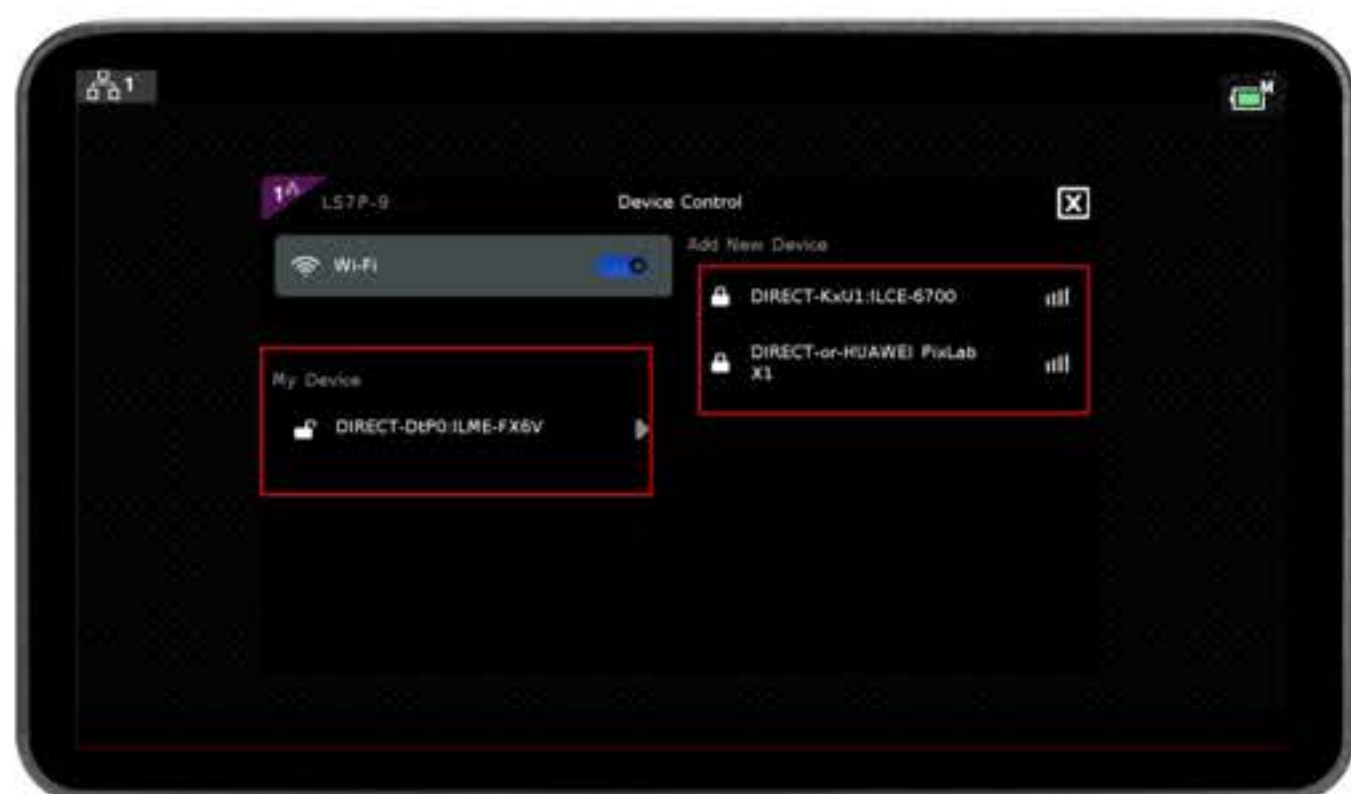
マスターコントロールモードでは、ここをクリックして被制御デバイスを追加します



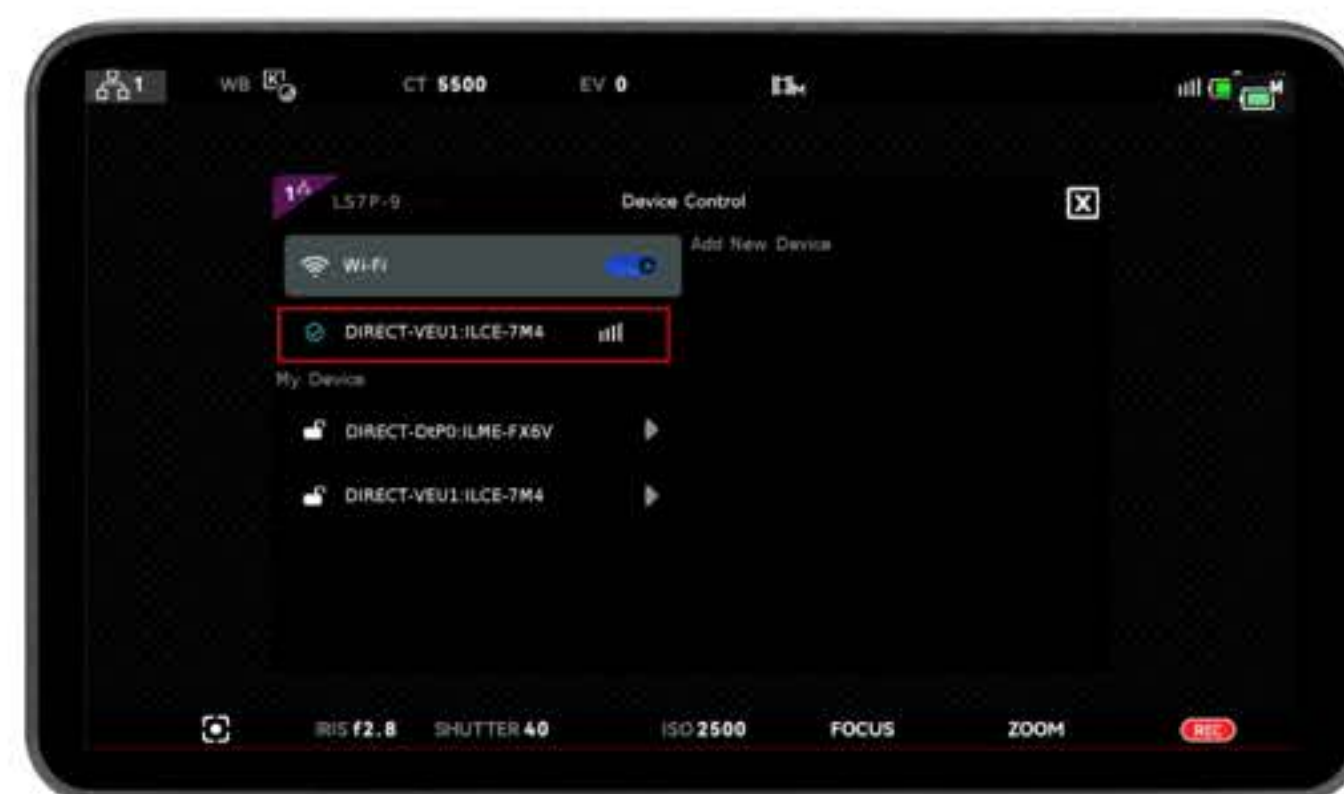
「品」をクリックすると、各カメラのコントロールインターフェースに切り替えて、被制御デバイスのWi-Fi接続を制御できます。



接続はWi-Fiと有線に分類されます。



接続のために追加されているすべてのデバイスと追加可能なデバイスが表示されます。



新しいデバイスが正常に追加されると、確認が表示されます。



ここに接続されているすべてのデバイスが一覧表示されます。被制御デバイスの編集アイコンをクリックして、その設定を変更します。



それぞれ被制御デバイスの削除とバインドの記録に使用されます。



「**REC**」が表示された場合、デバイスは正常にリンクされています。
 マスターデバイスが録画を開始すると、リンクされているすべての被制御デバイスが同時に録画を開始します。

設定の紹介

6.1 画像



画像の紹介

調整可能な画像パラメータには、明るさ、コントラスト、彩度、シャープネス、色相、バックライトの明るさ、歪み、色温度が含まれます。

画像一明るさ



画像の明るさ効果比較



画像の明るさ効果比較

明るさアイコンをクリックして左右にスワイプし、明るさを調整します。範囲は0-100です。

画像一コントラスト



画像のコントラスト効果比較



画像のコントラスト効果比較



画像のコントラスト効果比較

コントラストアイコンをクリックして左右にスワイプし、彩度を調整します。範囲は0-100です。

画像ークロマ



画像の彩度効果比較

コントラストアイコンをクリックして左右にスワイプし、彩度を調整します。範囲は0-100です。



画像の彩度効果比較

画像ーシャープネス



画像のシャープネス効果比較

シャープネスアイコンをクリックすると、スライダバーを左右に移動してパラメータを調整し、画面の明るさを制御できます。調整範囲は0-10です。



画像のシャープネス効果比較

画像ーティント



画像のトーン効果比較



画像のトーン効果比較

ティントアイコンをクリックすると、スライダバーを左右に移動してパラメータを調整し、画面の明るさを制御できます。調整範囲は0-100です。

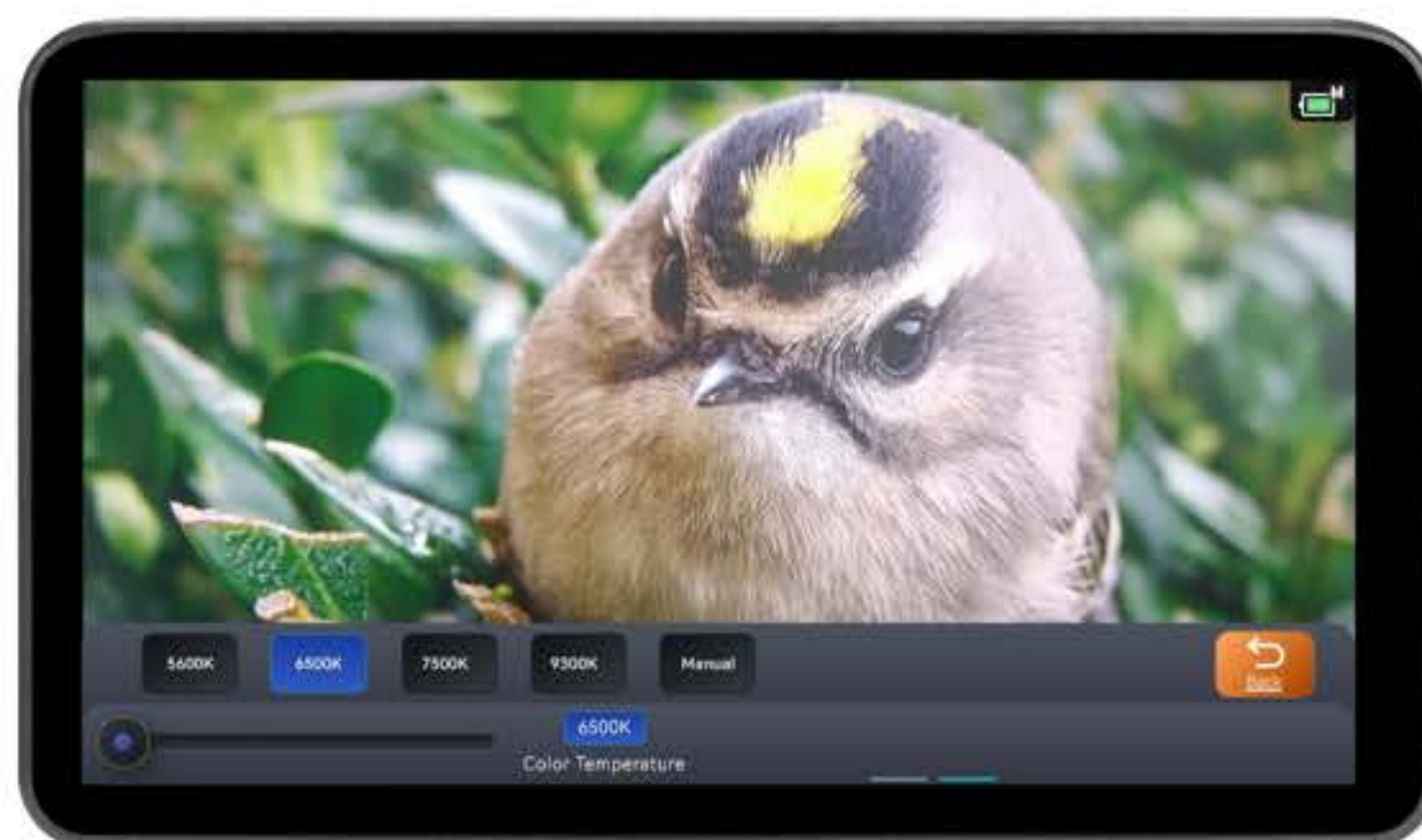
画像一色温度



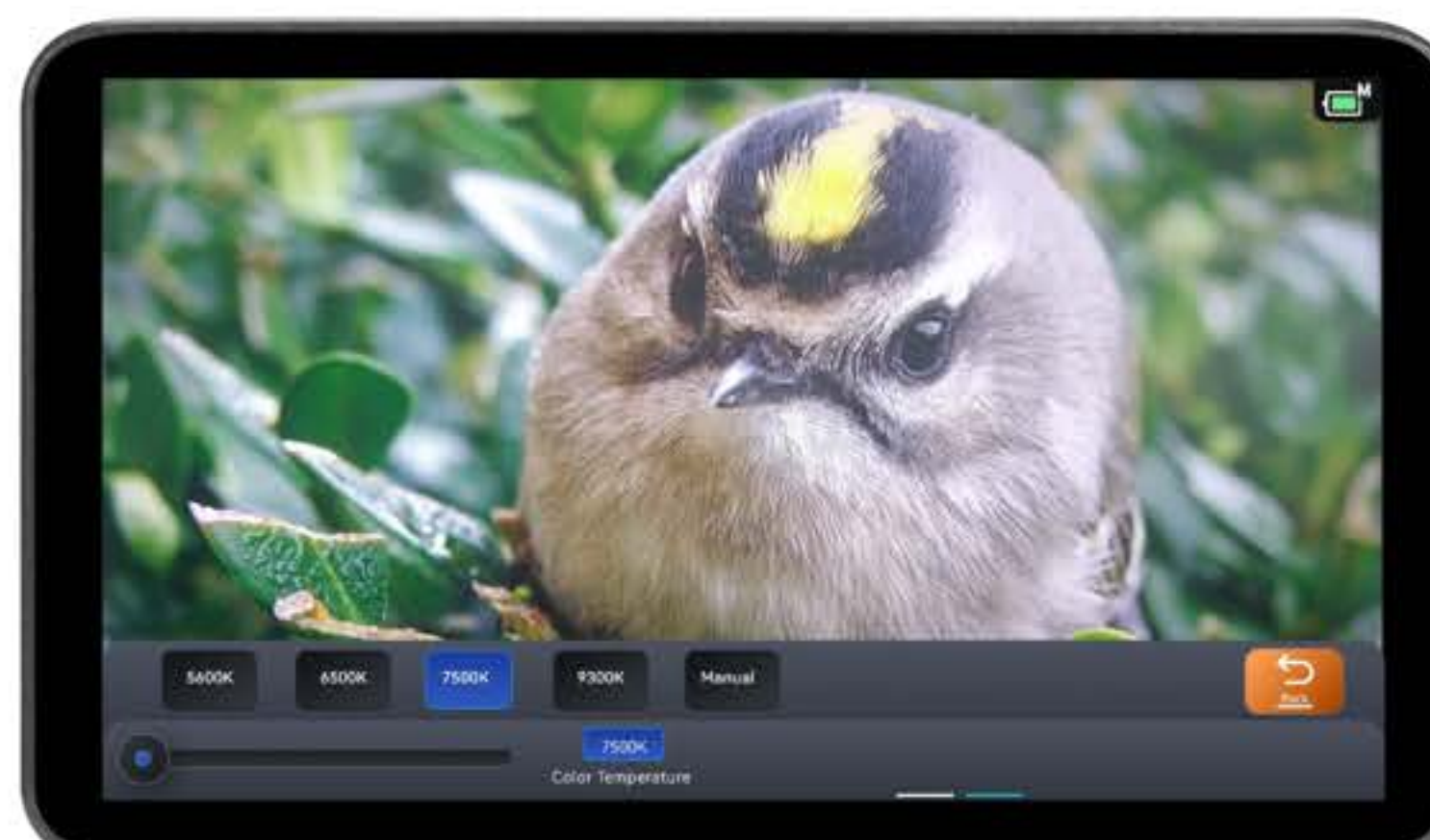
手動で設定して画像の色温度パラメータをカスタマイズできます。画像のデフォルトの色温度パラメータには（5600K、6500K、7500K、9300Kなど）が含まれます。



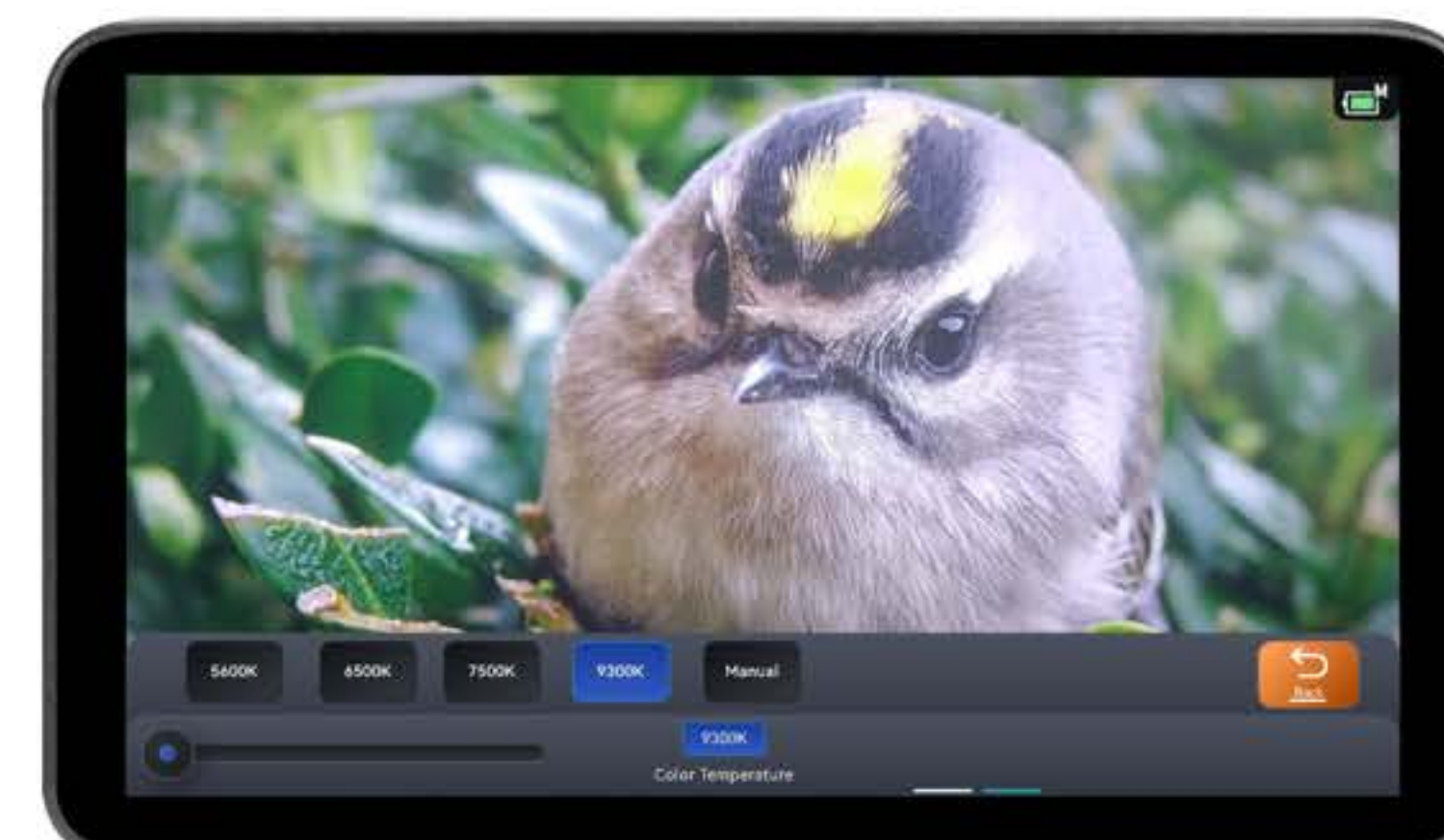
(5600K)



(6500K)



(7500K)



(9300K)

6.2 入力



HDMI入力



SDI入力

6.3 ディスプレイ反転



ディスプレイ反転の紹介

メニューバーまたは画像を垂直および水平に反転させます。

ディスプレイ反転—ディスプレイ反転モード

ディスプレイ反転アイコンをクリックすると、ディスプレイ反転モードには水平反転と垂直反転が含まれます。ユーザーは実際の状況に応じてメニューの反転方向を選択できます。



水平反転



水平反転



垂直反転



垂直反転

6.4 システム設定



システム設定の紹介

システム設定には、メニュー言語、メニュー透明度、システムリセット、ジェスチャーズーム、ライブモードのメニュー効果、録画ボタンの位置が含まれます。

システム設定—メニュー言語

メニュー言語をクリックしてメニュー言語オプションに入ります。ユーザーは実際の状況に応じて適切な言語を選択できます。メニュー言語には（英語、中国語、イタリア語、日本語、ロシア語、フランス語、スペイン語）が含まれます。



English



中文



Italiano



日本語



Русский



Français



Español

システム設定—OSD透明度

メニュー透明度アイコンをクリックすると、画面内のメニューの透明度を調整して変更できます。メニュー透明度には、メニュー透明度オフ、低メニュー透明度、中メニュー透明度、高メニュー透明度が含まれます。ユーザーは実際のニーズに応じて状況を選択できます。



オフ



低



中



高

システム設定—システムリセット

システムリセット：システムの初期パラメータをリセットします。

システムリセットアイコンをクリックして、システムをリセットするかどうかを選択します。



システム設定—ブラックレベル



有効化前



有効化後

システム設定—ライブモード

オープン時は、輝度波形を開いた後に画像設定を調整できます。クローズ時は、フォールスカラー、輝度波形（各種）、ベクトル波形、タイムコードの機能をオフにできます。



輝度波形



スライダーバーを左右にスライドして
画像パラメータを調整します

システム設定—録画キー位置

録画キーの位置は左下、中央、右下のいずれかにできます。必要に応じて録画キーの位置を調整できます。



左下



中央



右下



システム設定—自動スリープモード



(1分)



(3分)



(5分)



(15分)

6.5 サウンド設定



サウンド設定の紹介

レバーを左右にスライドしてボリュームを調整します。調整範囲は0-10です

6.6 ファームウェア



ファームウェアの紹介

モニターのファームウェアバージョンをアップグレードします

モニターのファームウェアバージョンをアップグレードします

準備手順:

1、ファームウェアアップグレードファイルをUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに入れます

2、アップグレード中は電源を切ることができません

3、FAT、FAT32、EXFAT、NTFS形式のUSBディスクをサポートします

ステップ1: ファームウェアアップグレードファイルを解凍し、アップグレードファイル (LH7P bin) をUSBフラッシュドライブのルートディレクトリに送信します。

USB fash disk (G:)				
Name	REVISION DATE	Type	Size	
LH7P.bin	2024/1/22 16:00	BIN DOCUMENT	5,088 KB	
MOV_OS_PORTKEYS_LH7P_V1_17_1D_...	2024/4/12 8:48	360 ZIP FILE	4,339 KB	

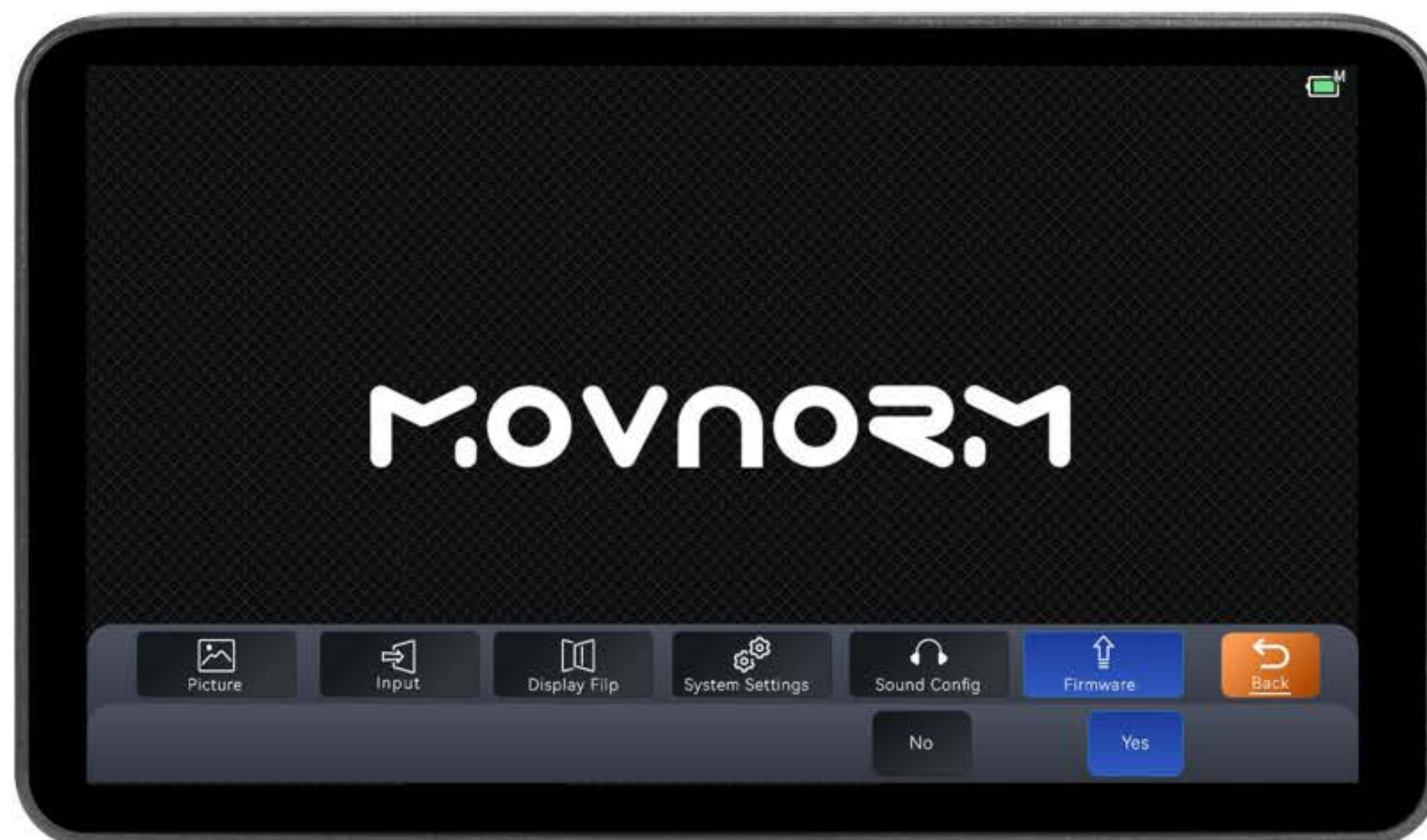
ステップ2: モニターを電源に接続し、アップグレードファイルの入ったUSBフラッシュドライブをモニターのUSB-Aポートに挿入します。



ステップ3: コンピューターを起動し、「設定」→「ファームウェア」→「アップグレード (USB)」をクリックします。



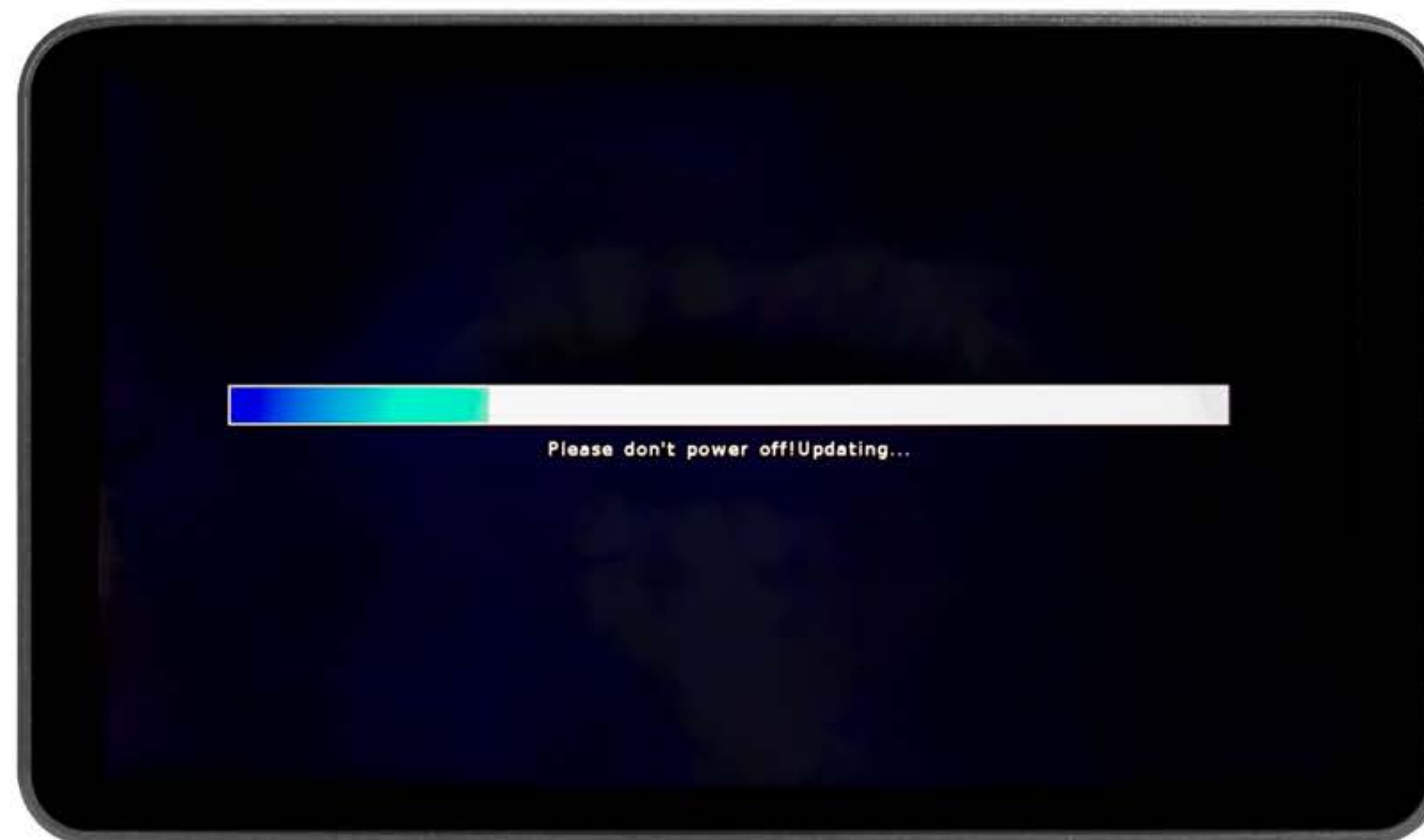
ステップ4: 「はい」を選択します。



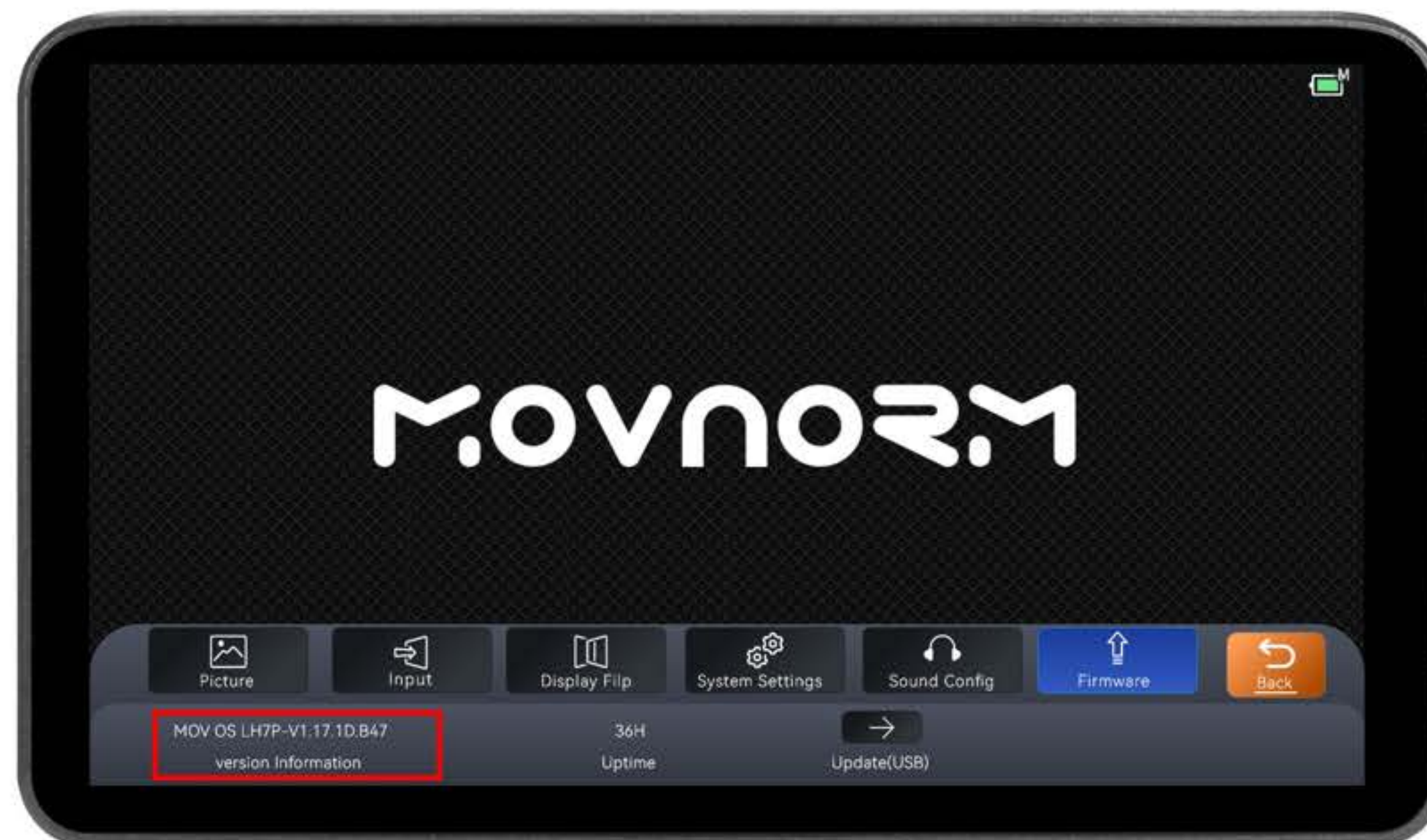
ステップ6: アップグレードが完了すると、画面が黒くなり、システム設定のアップグレードが行われます。黒い画面は正常な現象ですので、途中で電源を入れたり切ったりしないでください。



ステップ5: アップグレードが完了するまで待ちます



ステップ7: アップグレード完了後、「ファームウェア」インターフェースに入り、ファームウェアが正常にアップグレードされたかどうかを確認します。



3D LUTの紹介

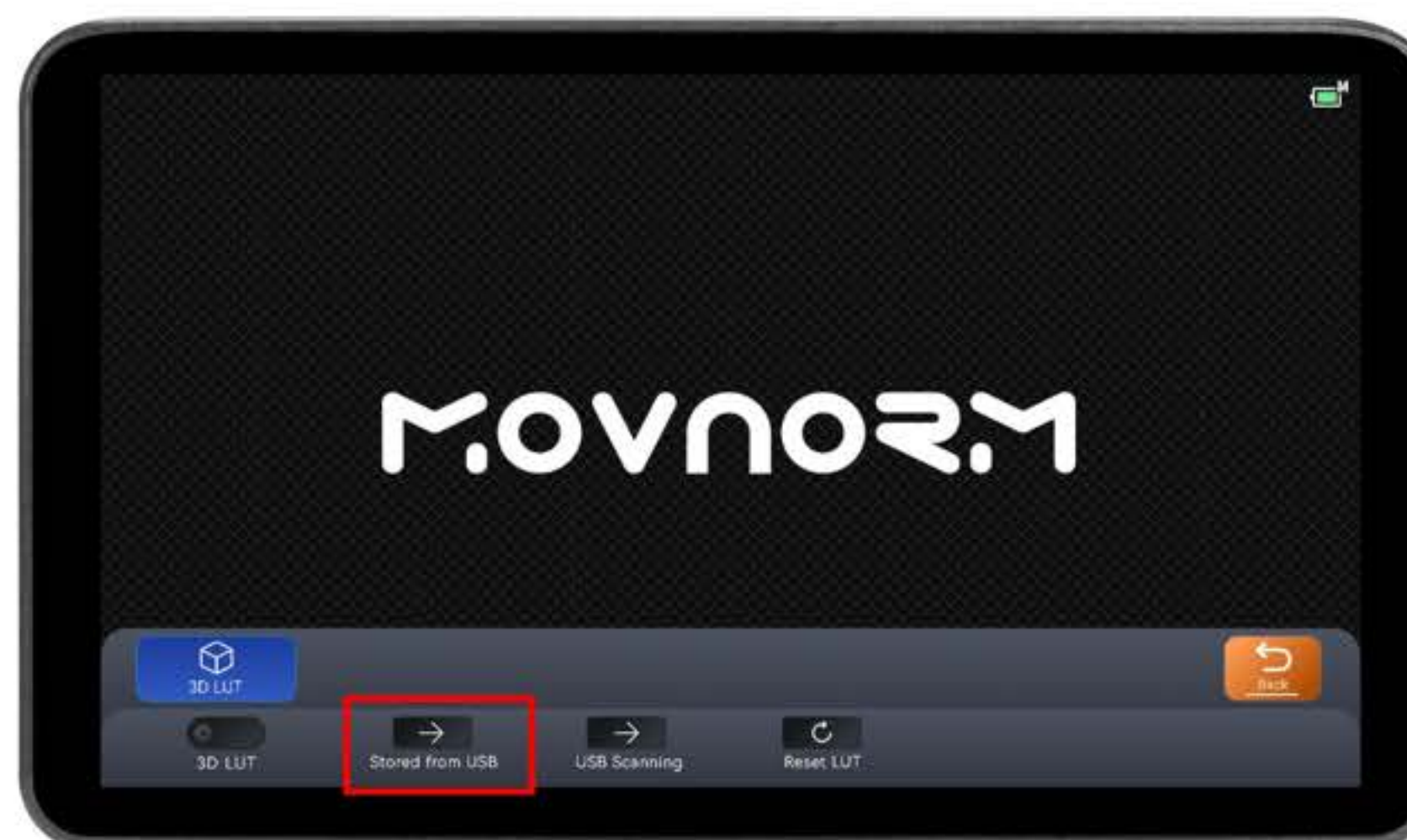
7.1 3D LUT



3D LUTの紹介

3D LUTを開いた後、ユーザーストレージをクリックし、次にLUTファイルをクリックして画面に適用します。USB検索では、LUTファイルを外部USBフラッシュドライブに送信する必要があり、USBフラッシュドライブをモニターのUSBポートに接続します。リムーバブルディスクを選択し、保存する必要があるLUTファイルをクリックします。（LUTファイルはユーザーのストレージに再保存できます）

3D LUT—USBから保存



1. ユーザーストレージをクリックして3D LUTページに入り、ユーザーは実際のニーズに合ったLUTを選択して画像に適用できます。

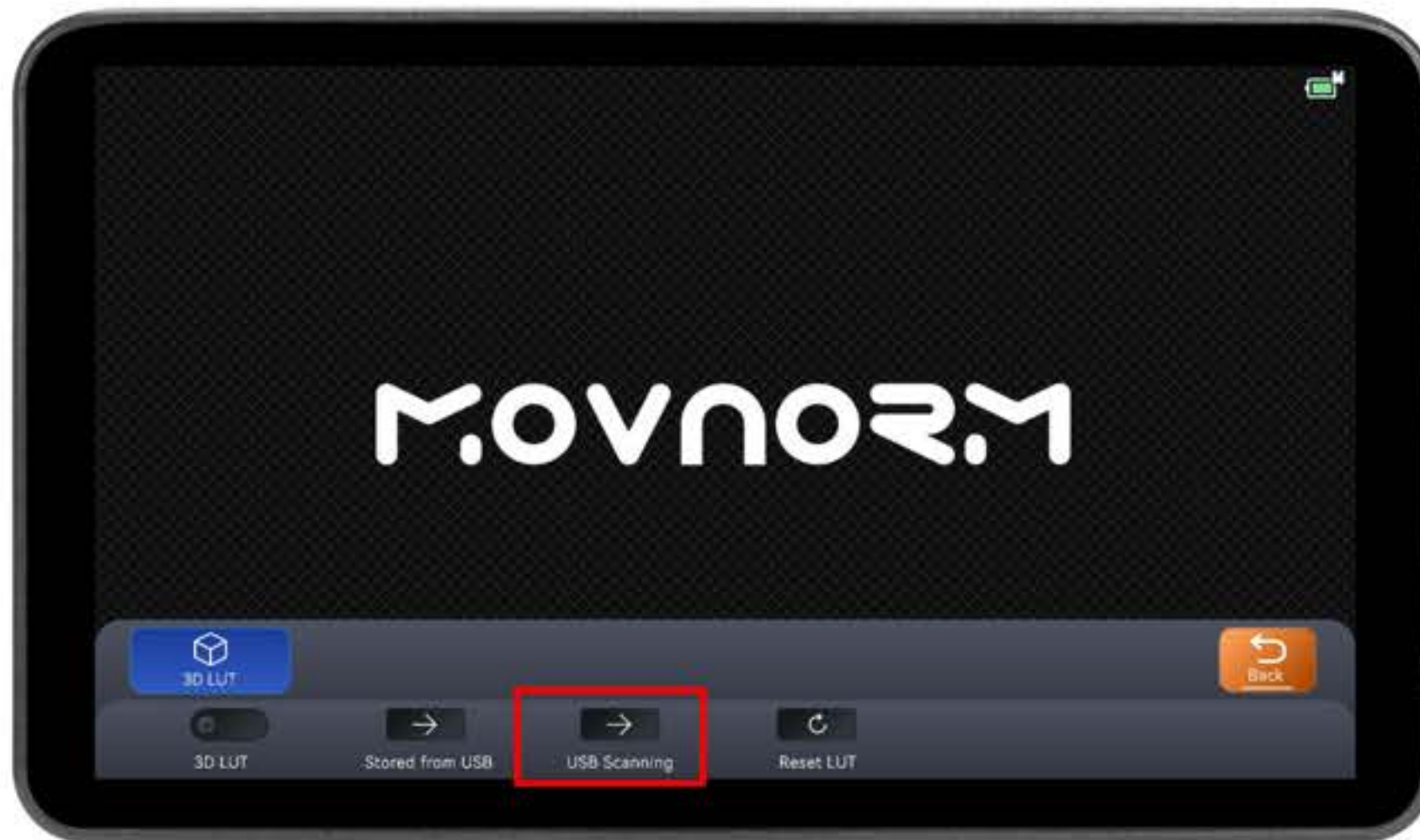


長押し

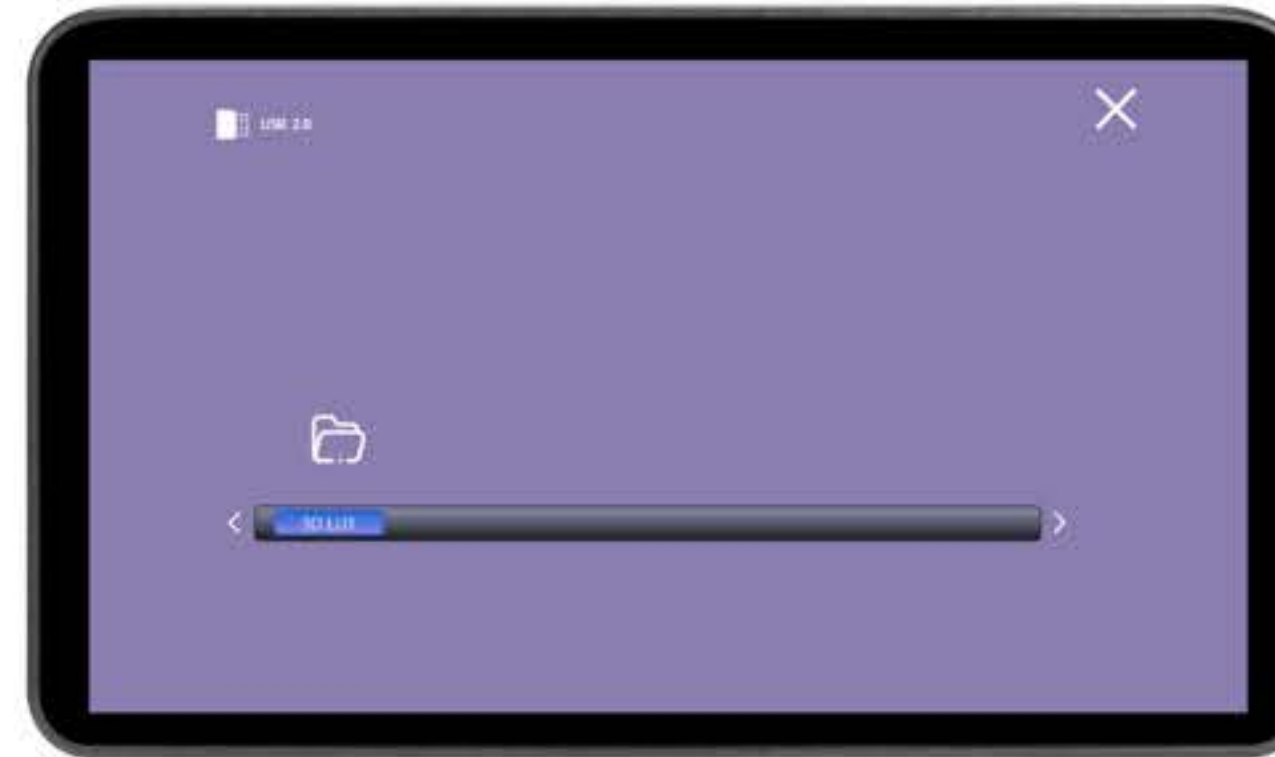


2. LUTを長押しして削除を選択します

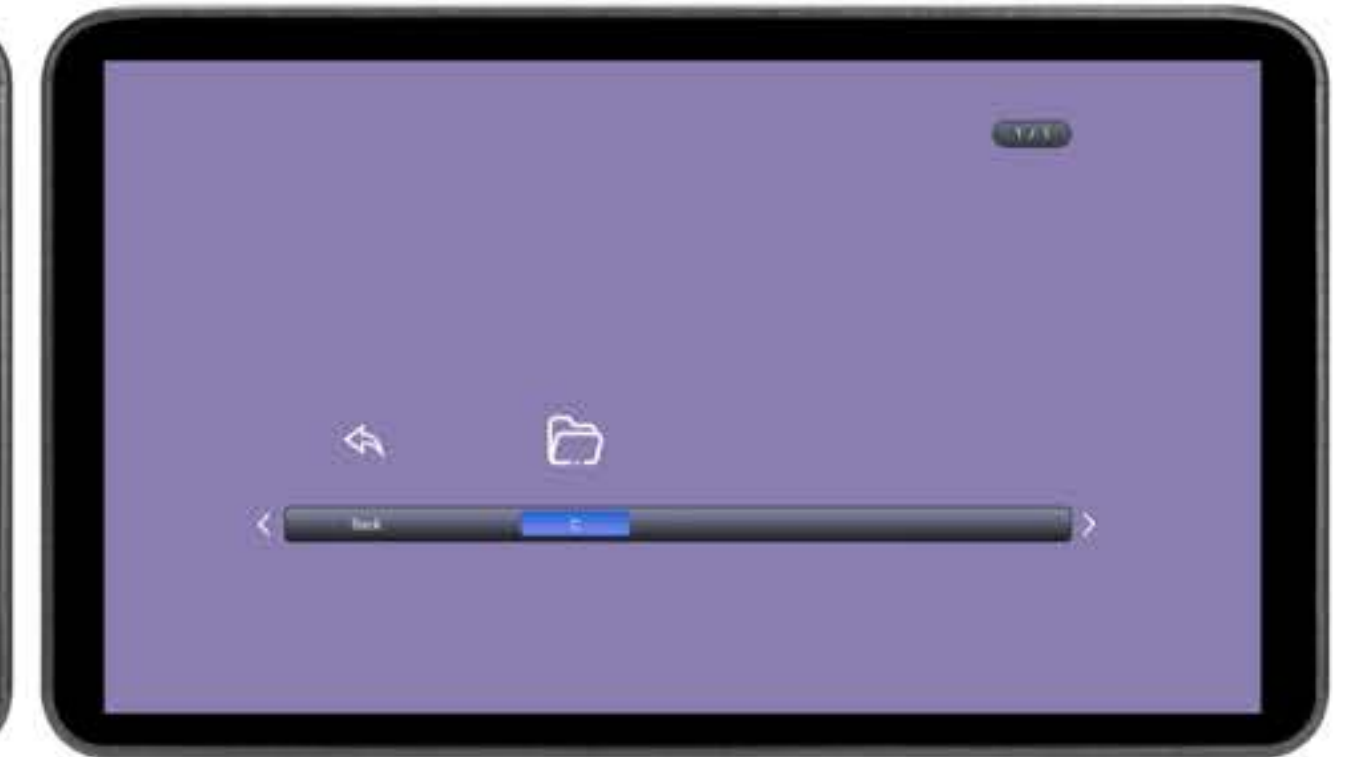
3D LUT—USB検索



USB検索では、作成したLUTファイルを外部USBフラッシュドライブに送信する必要があり、USBフラッシュドライブをモニターのUSBポートに接続します。リムーバブルディスクを選択し、保存する必要があるLUTファイルをクリックすると、プロセスを完了できます。（LUTファイルはユーザーのメモリに繰り返し保存できます）



1



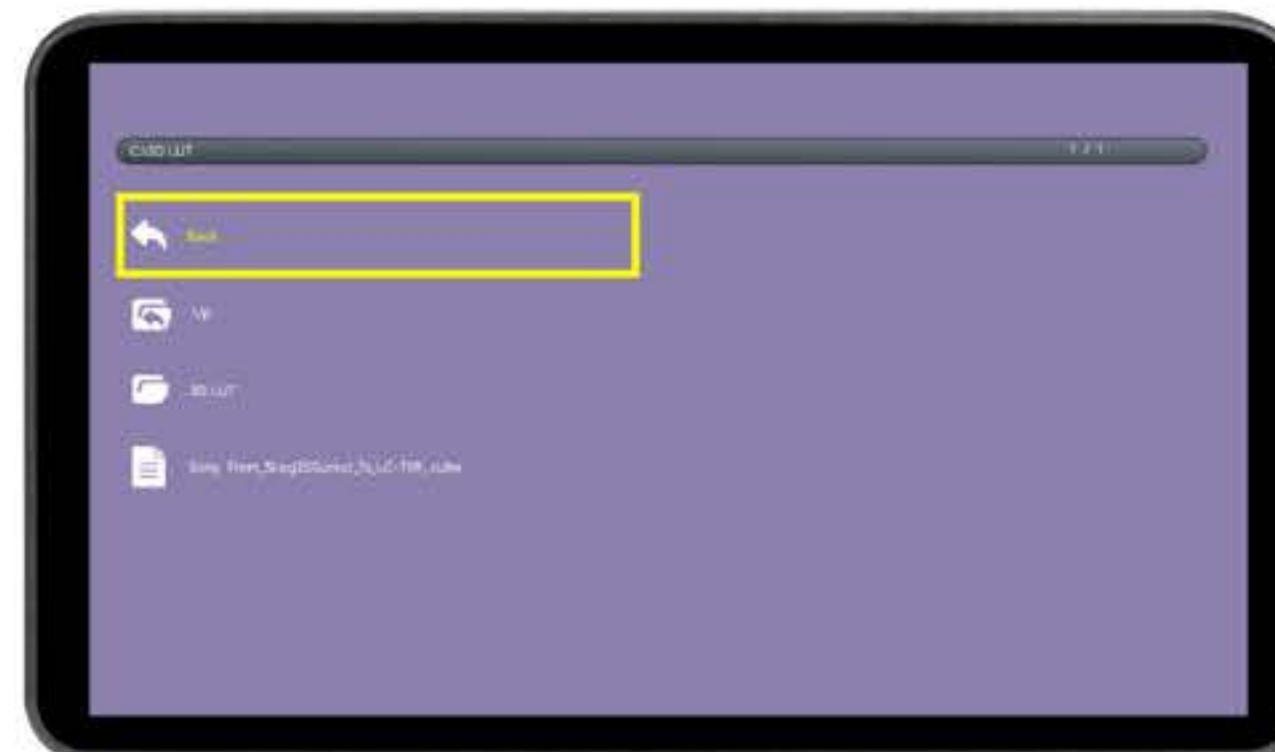
2



3



4



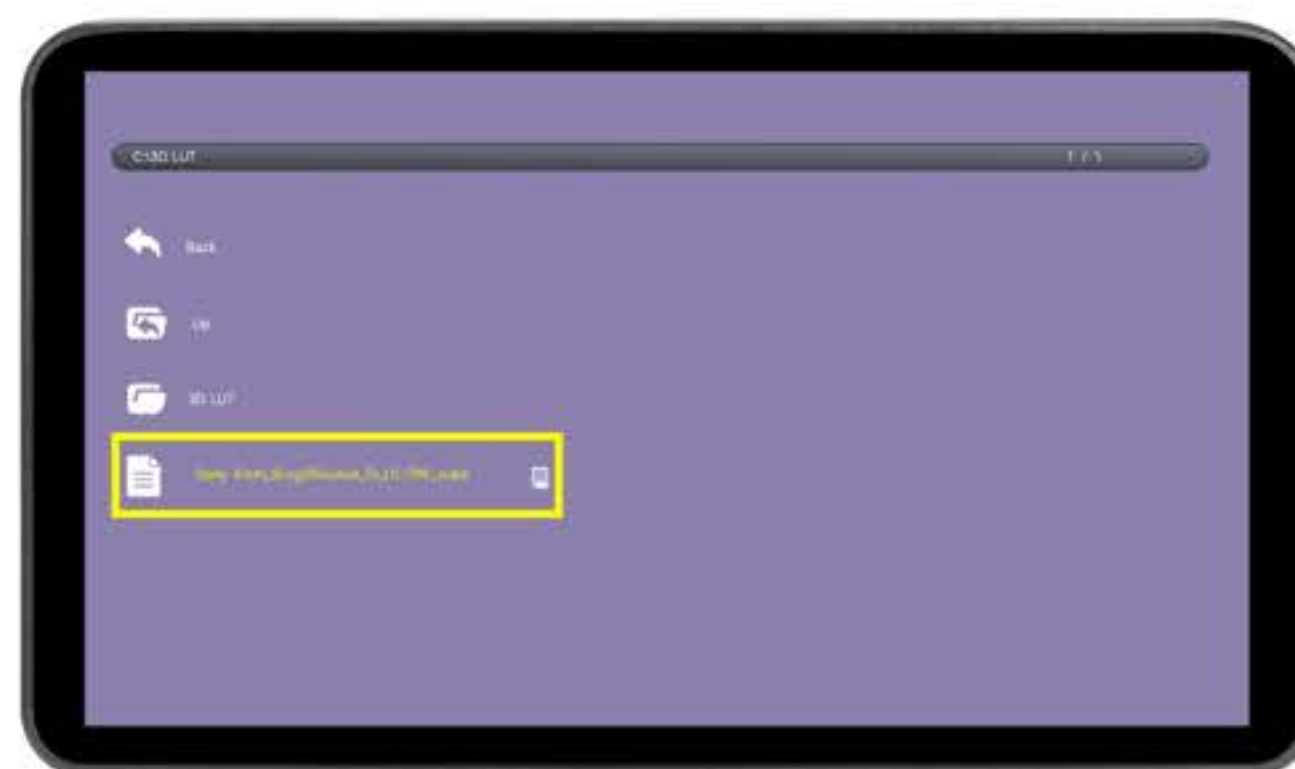
5



6



7

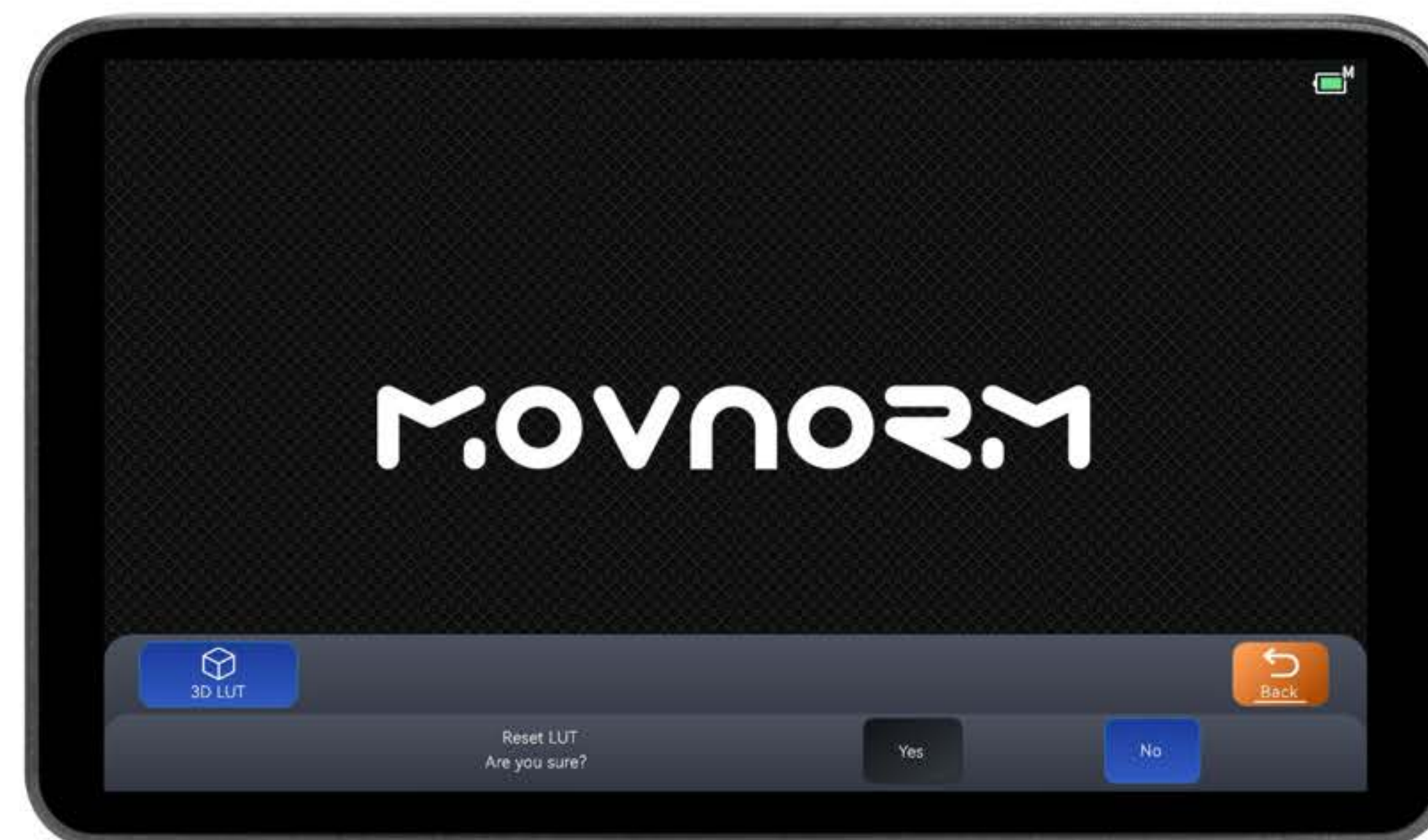
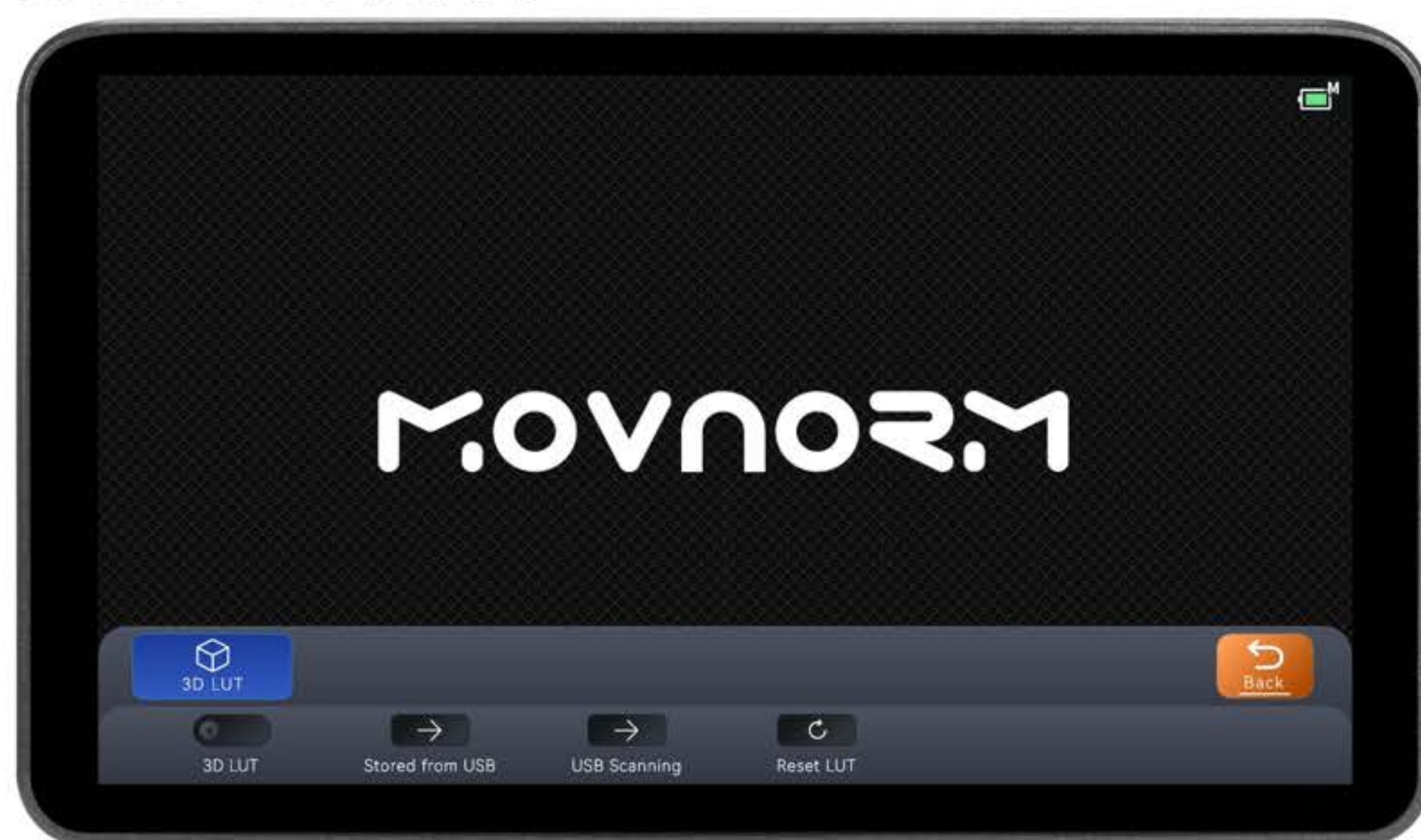


8



9

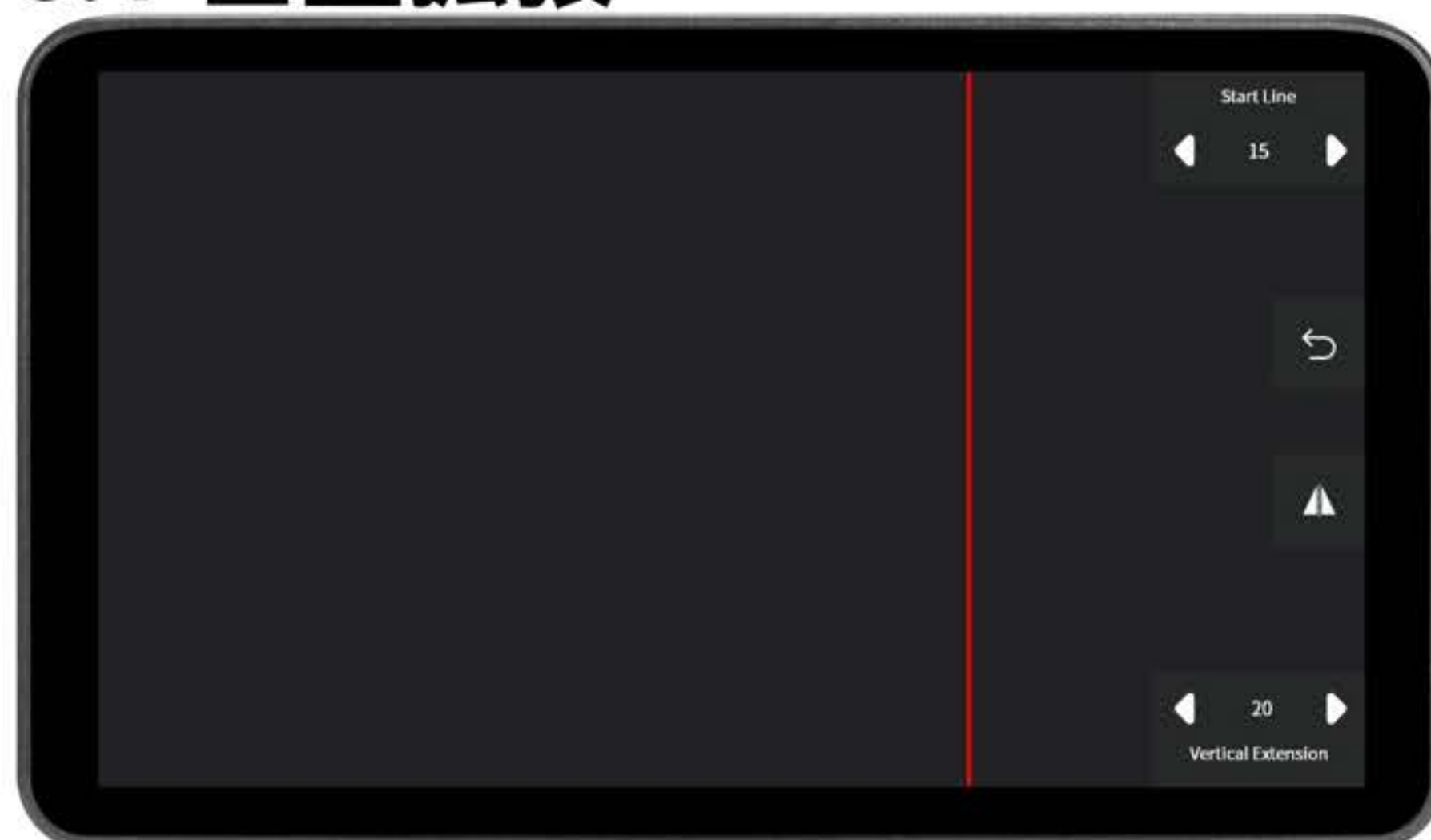
3D LUT—LUTリセット



LUTを元の設定にリセットします

垂直拡張の紹介

8.1 垂直拡張

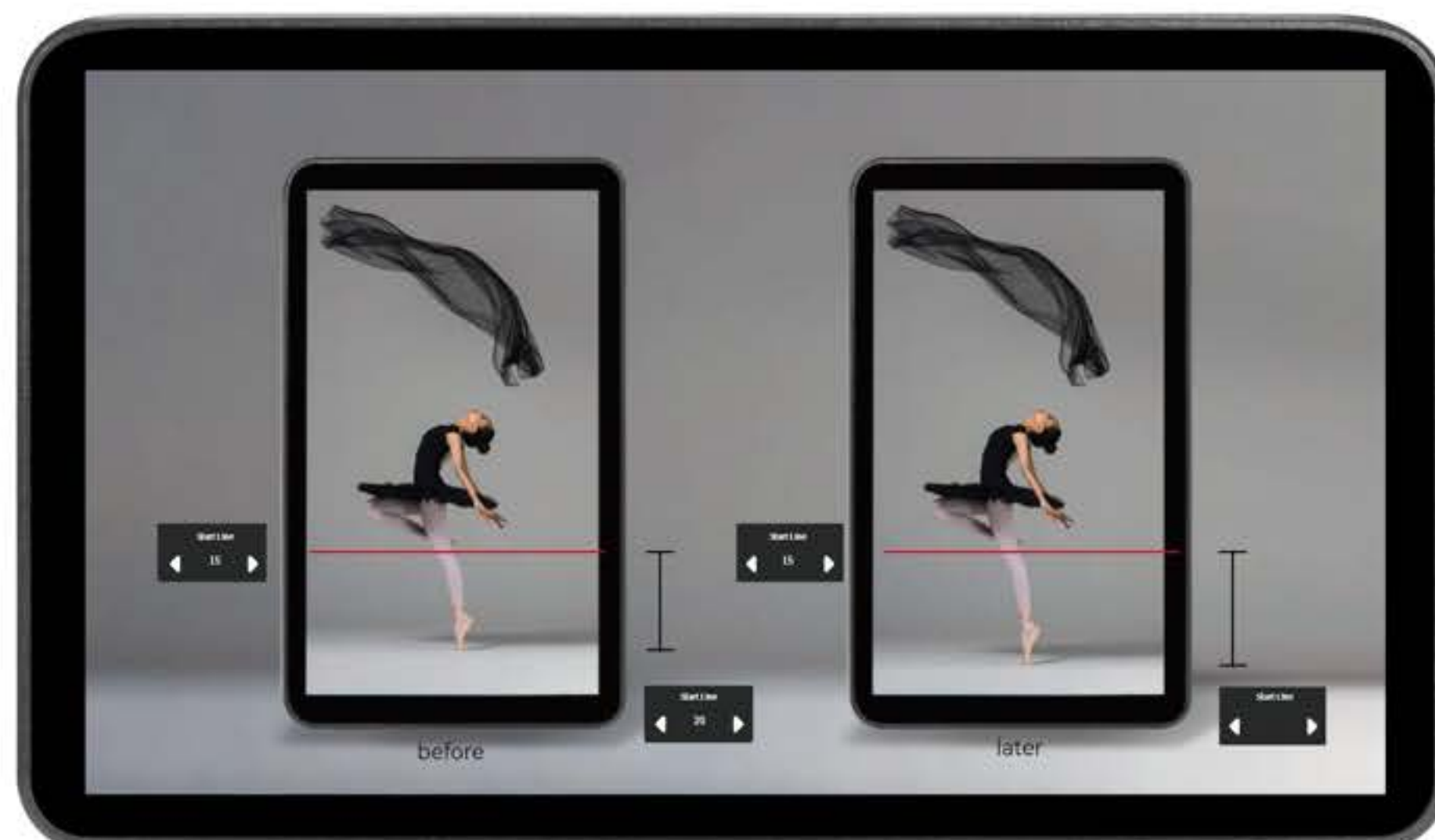


垂直拡張の紹介

垂直ストレッチをオンにし、開始ラインのパラメータを画面上でストレッチ調整が必要な位置に調整し、垂直ストレッチのパラメータを調整して調整を完了します。

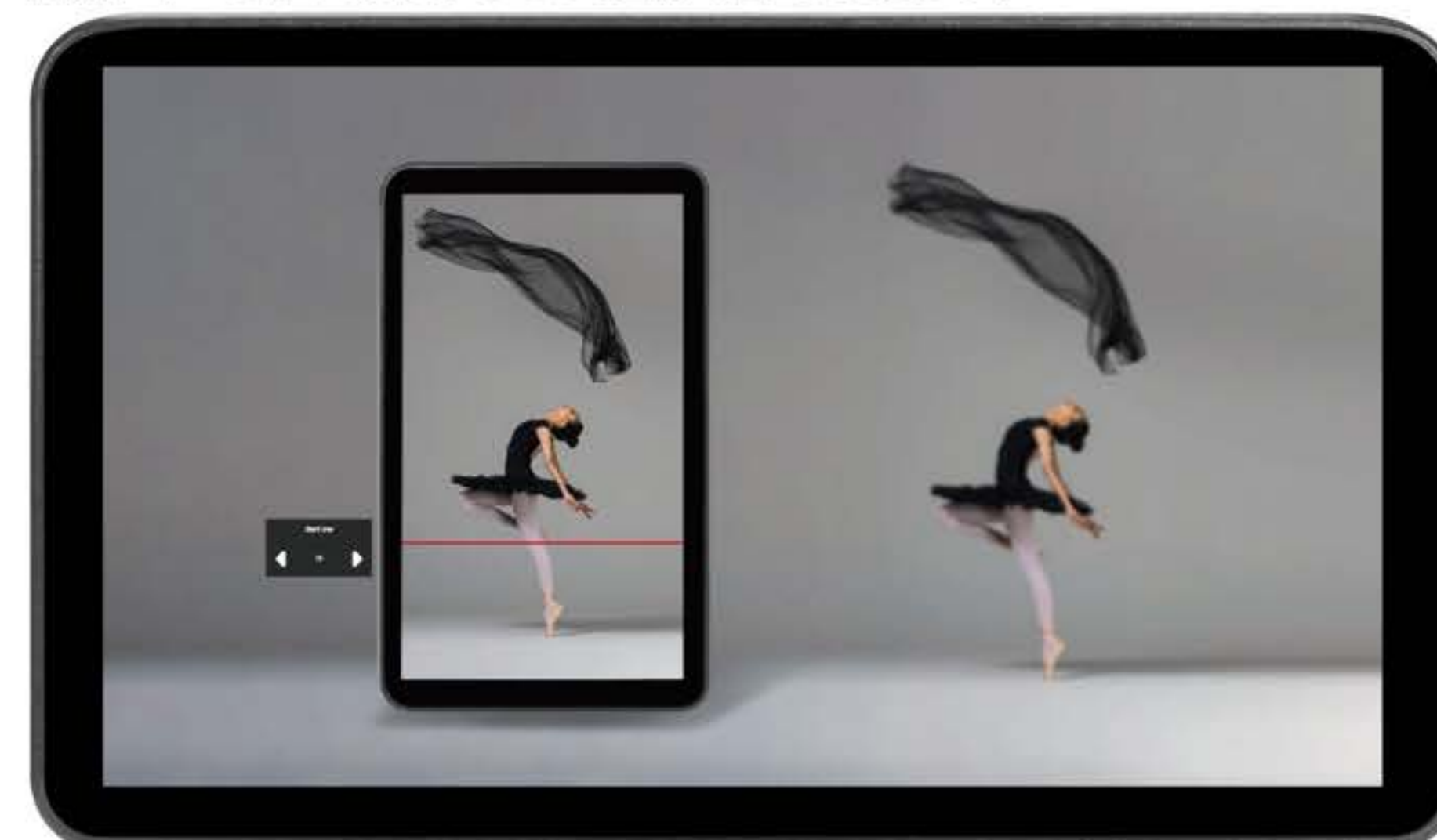
垂直拡張—垂直拡張

垂直ストレッチのパラメータ設定を調整して画面画像をストレッチします。



垂直拡張—開始ライン

開始ラインの位置を変更することで画像の位置を変更します



垂直拡張—ミラー画像

“モニターのパージパラメータ設定がすべて左に移行され、パラメータを調整すると画面画像がミラーストレッチされます”



カメラの紹介

9.1 カメラ制御



カメラ制御の紹介

Wi-FiまたはBluetoothを介してカメラに接続し、制御します。

カメラーWi-Fi 2.4G

Wi-Fiを介してカメラに接続でき、モニターを操作することでカメラを操作できます。



Wi-Fi 2.4G—マイデバイス

Wi-Fiを介して既に追加されているカメラに接続できます。

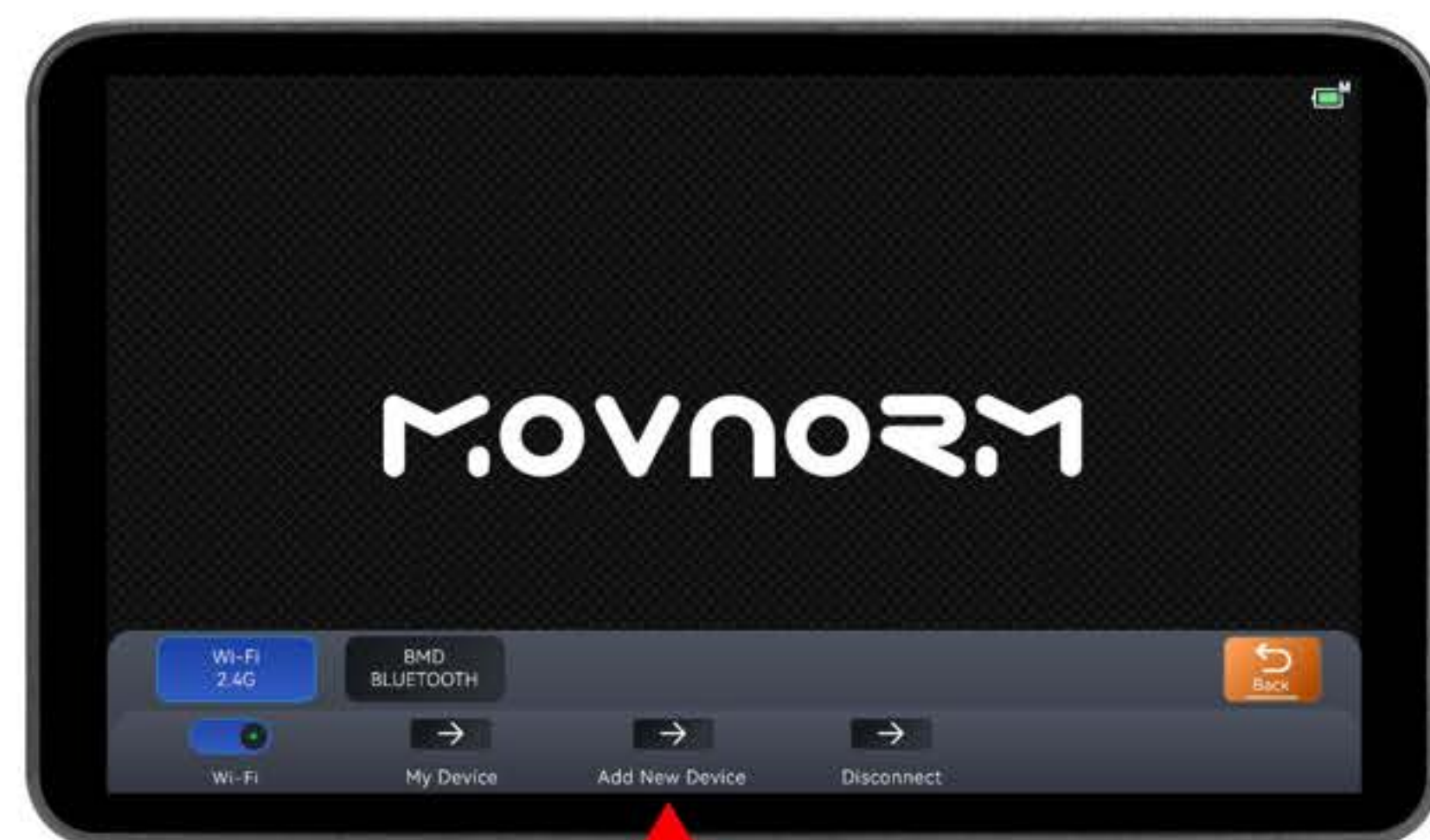




接続成功

Wi-Fi 2.4G—新しいデバイスを追加

Wi-Fiを介して新しいデバイスを追加できます



新しいデバイスを追加するにはクリックします



接続するカメラをクリックします



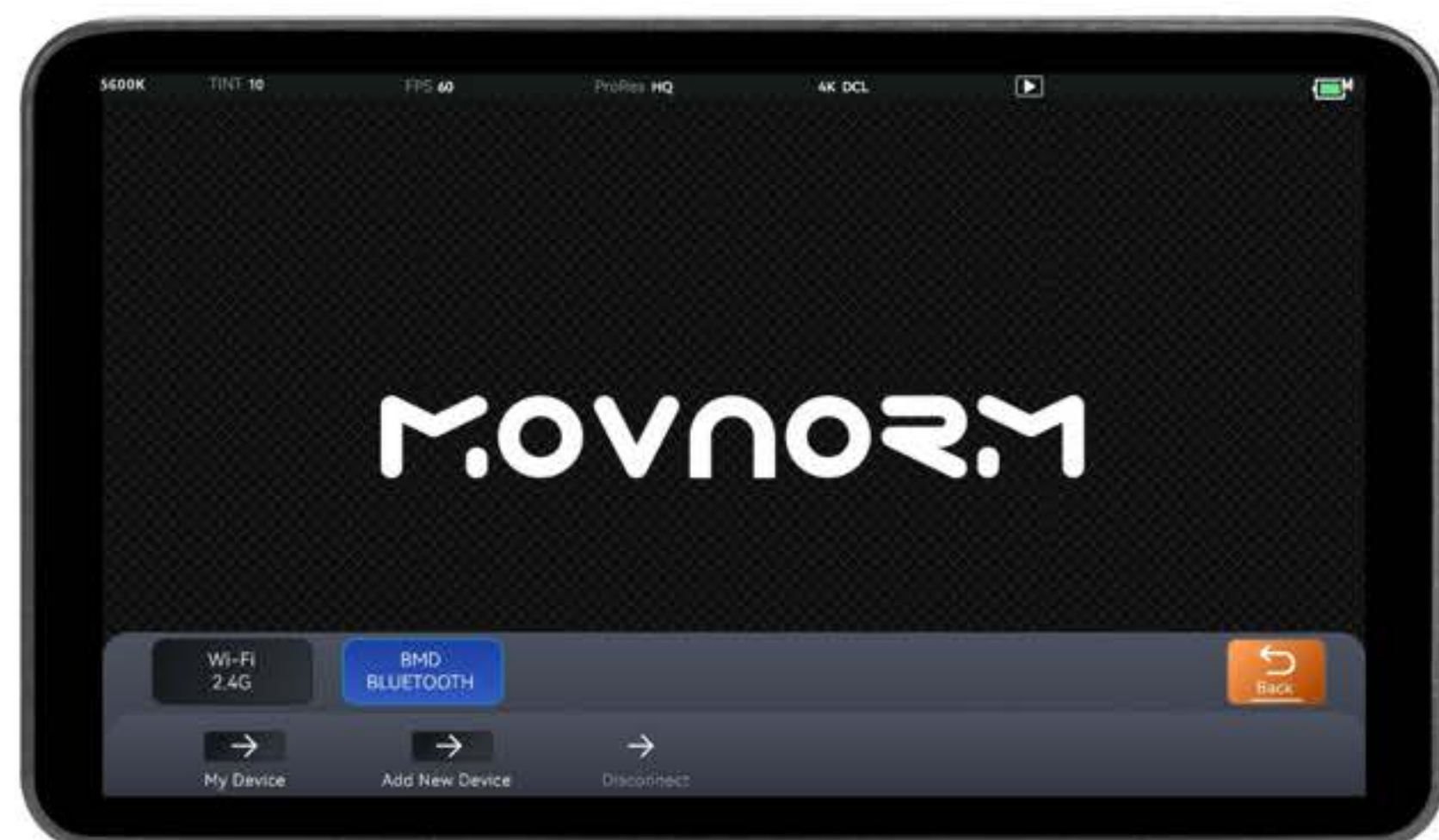
カメラの接続パスワードを入力します



接続成功

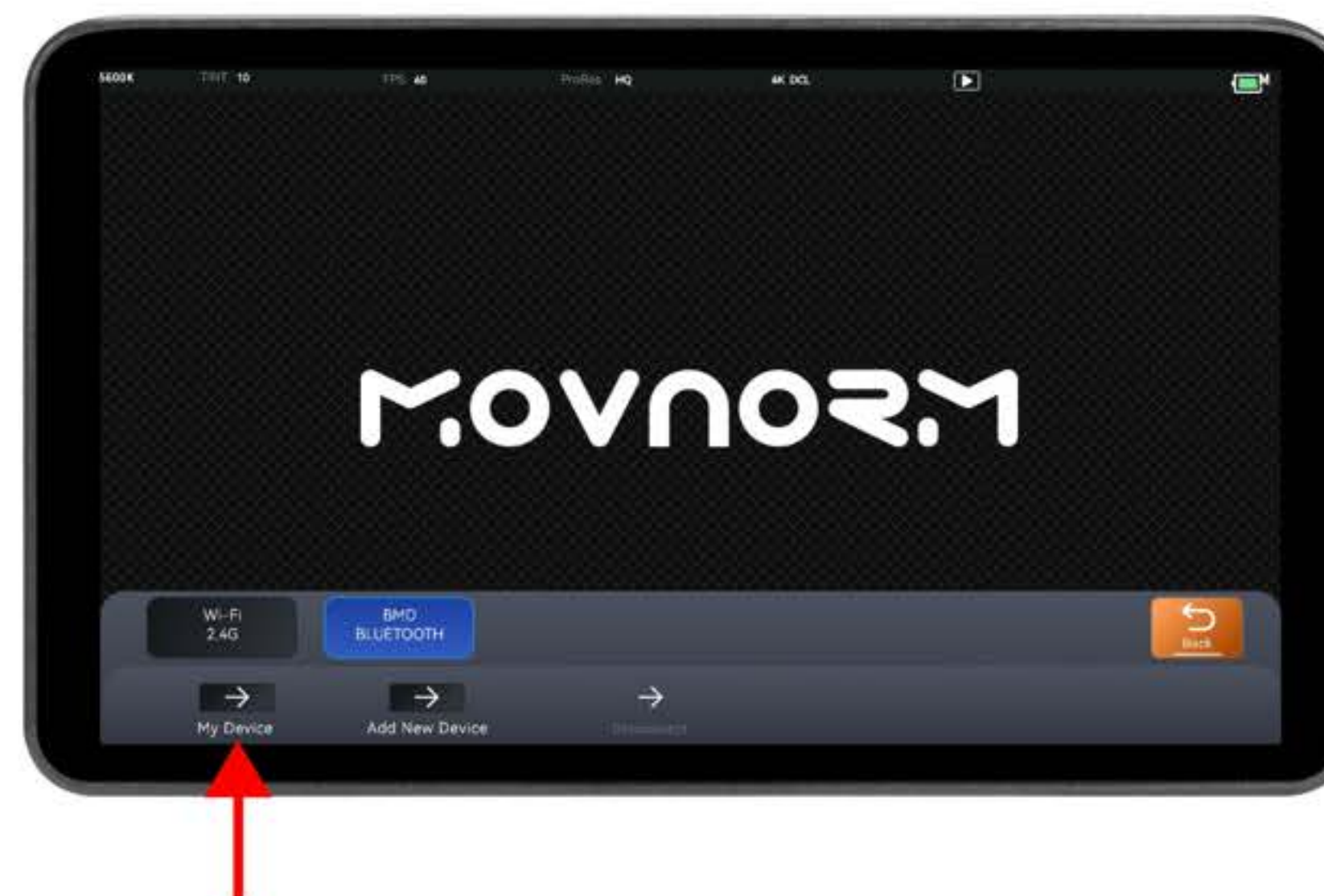
カメラーBMD BLUETOOTH

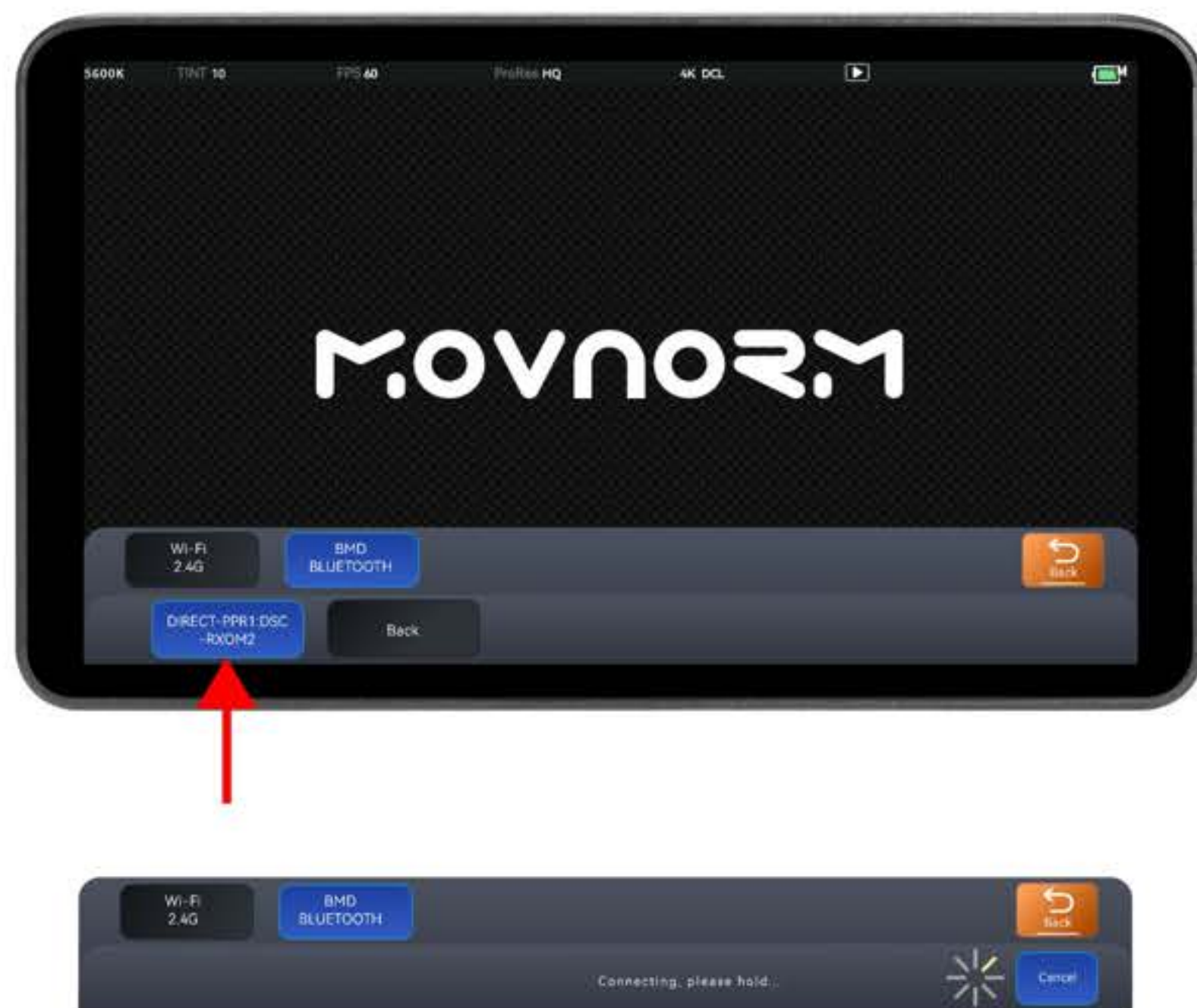
Bluetoothを介してカメラに接続でき、モニターを操作することでカメラを制御できます。



BMD BLUETOOTHーマイデバイス

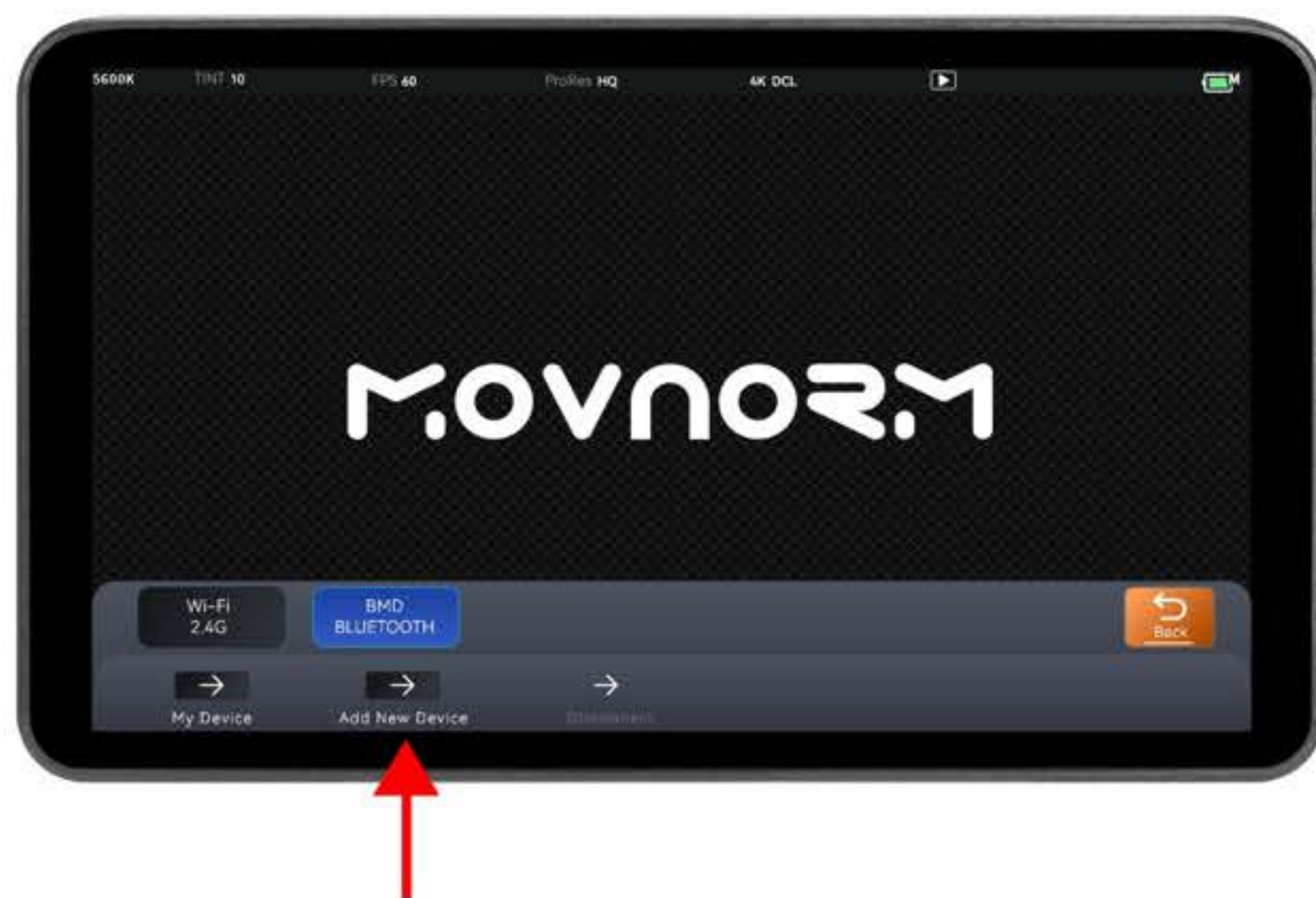
Bluetoothを介して既に追加されているカメラに接続します。





BMD BLUETOOTH—新しいデバイスを追加

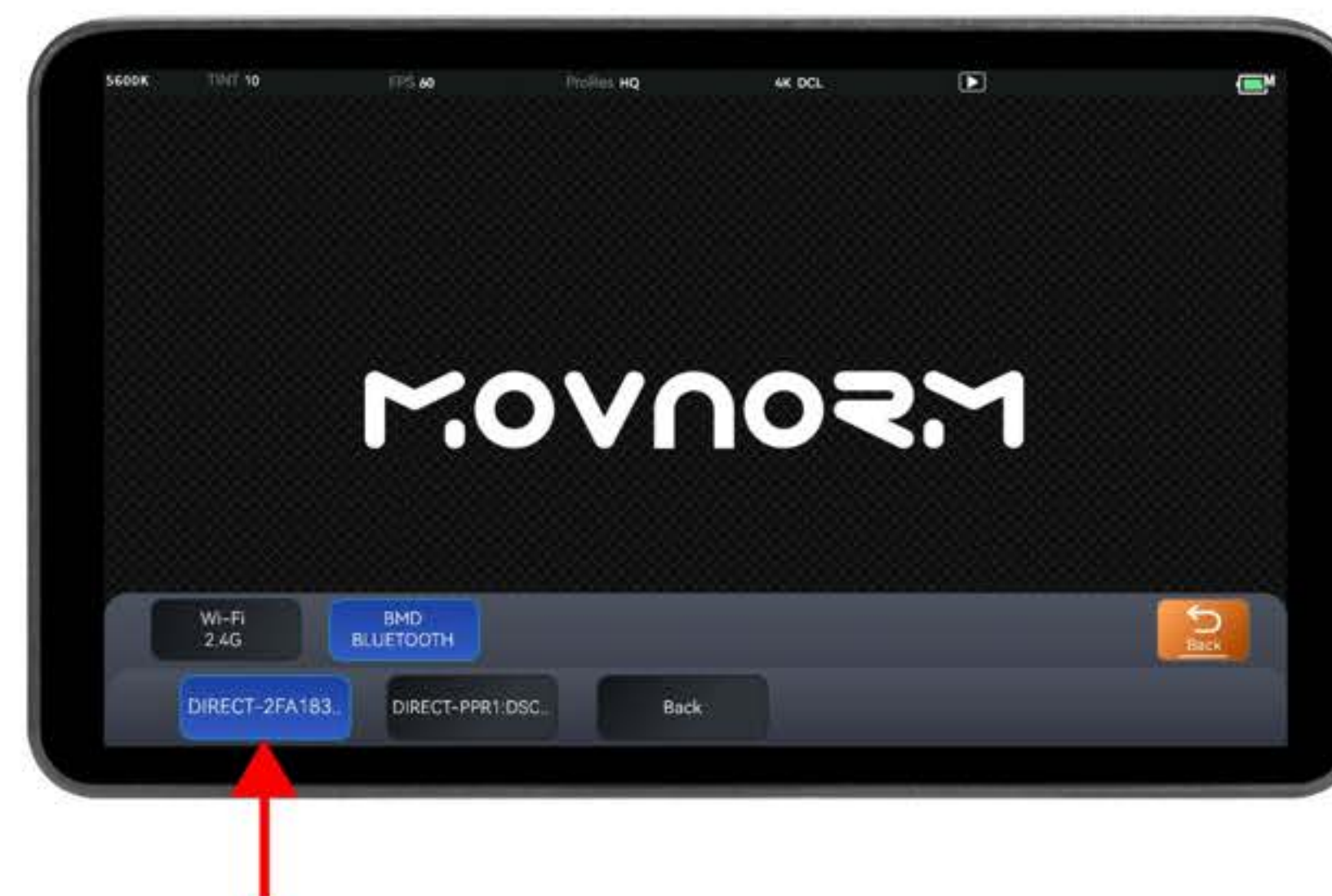
Bluetoothを介して新しいデバイスを追加できます



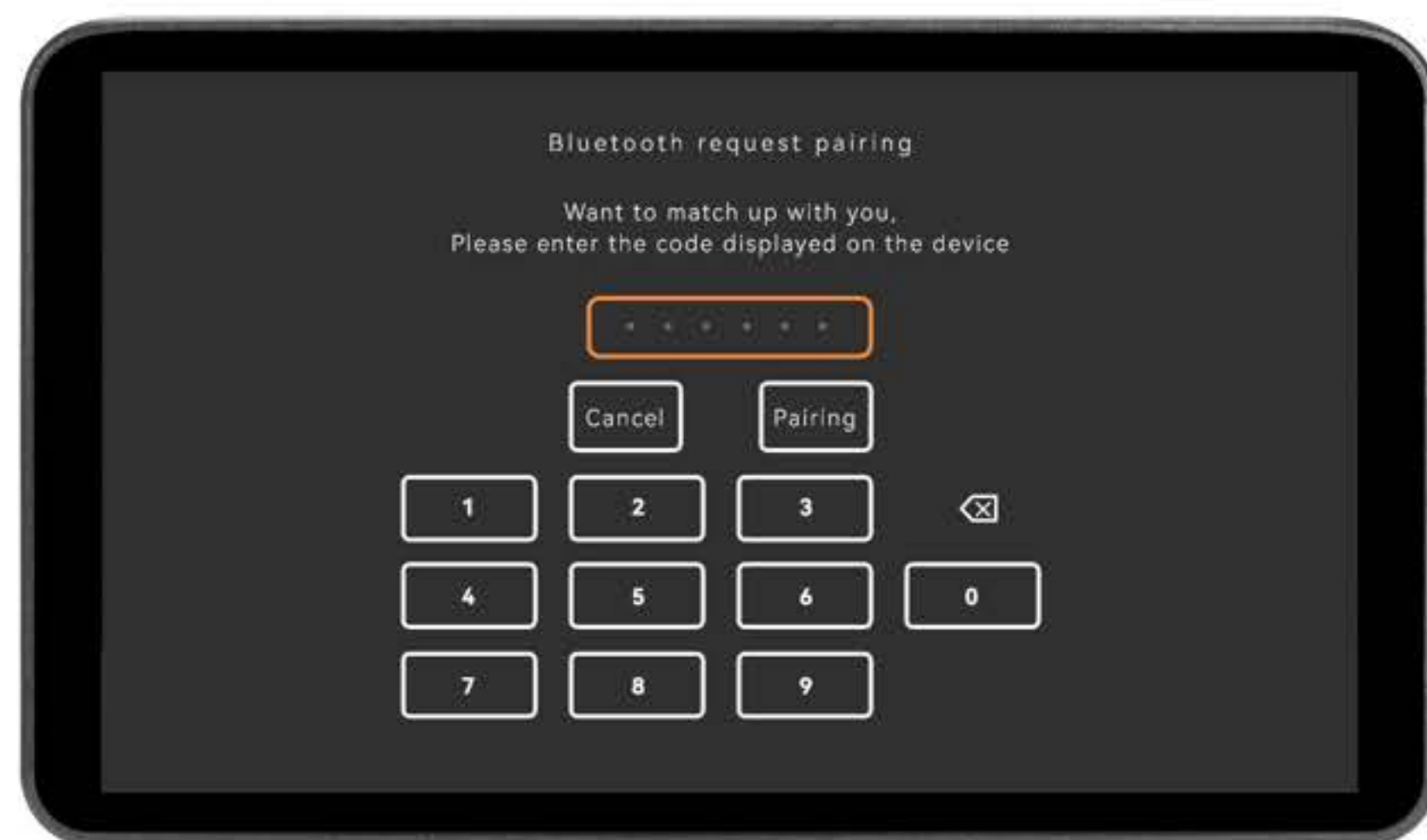
新しいデバイスを追加するにはクリックします



接続成功



接続するカメラをクリックします



カメラの接続パスワードを入力します



接続成功

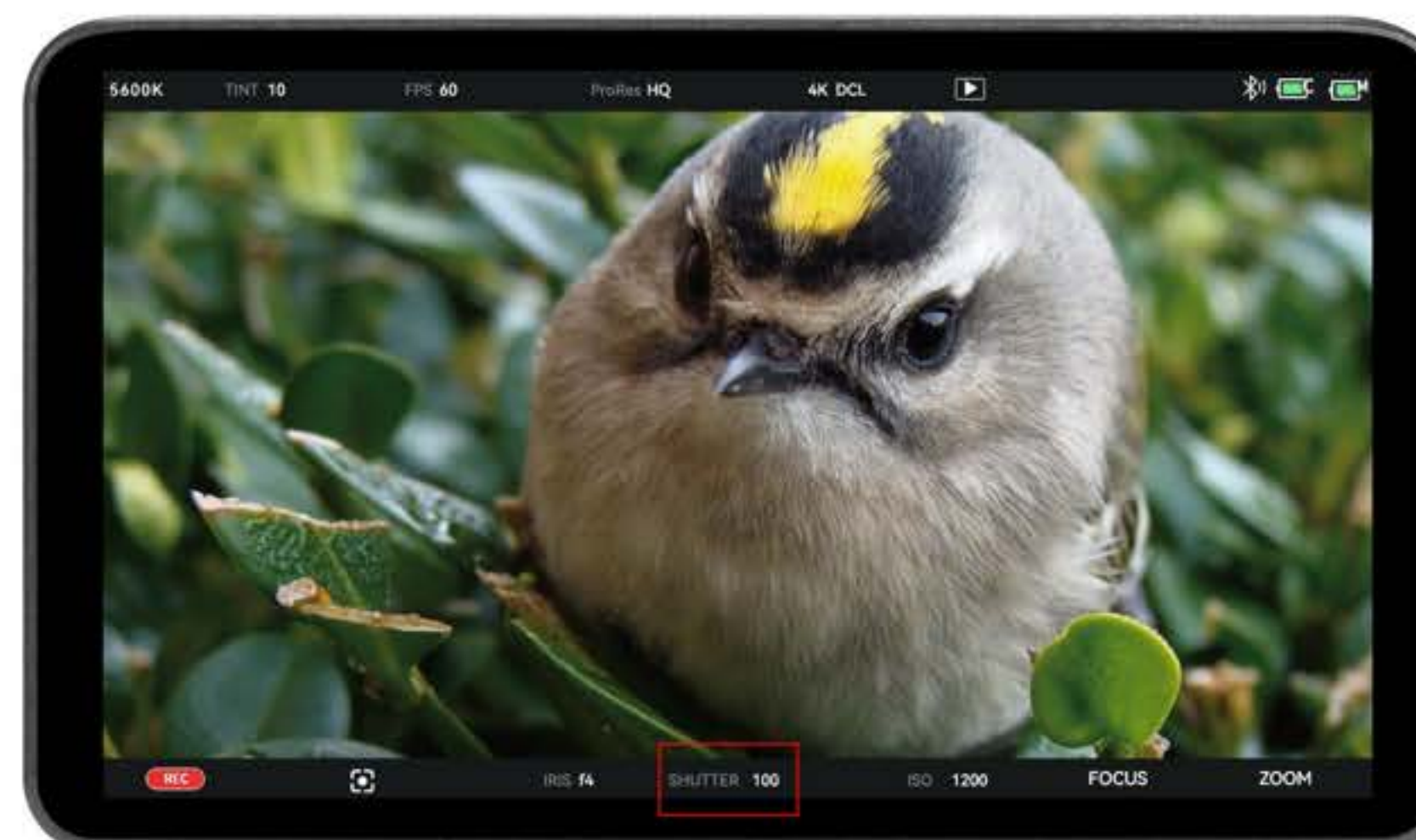
9.2 カメラ操作



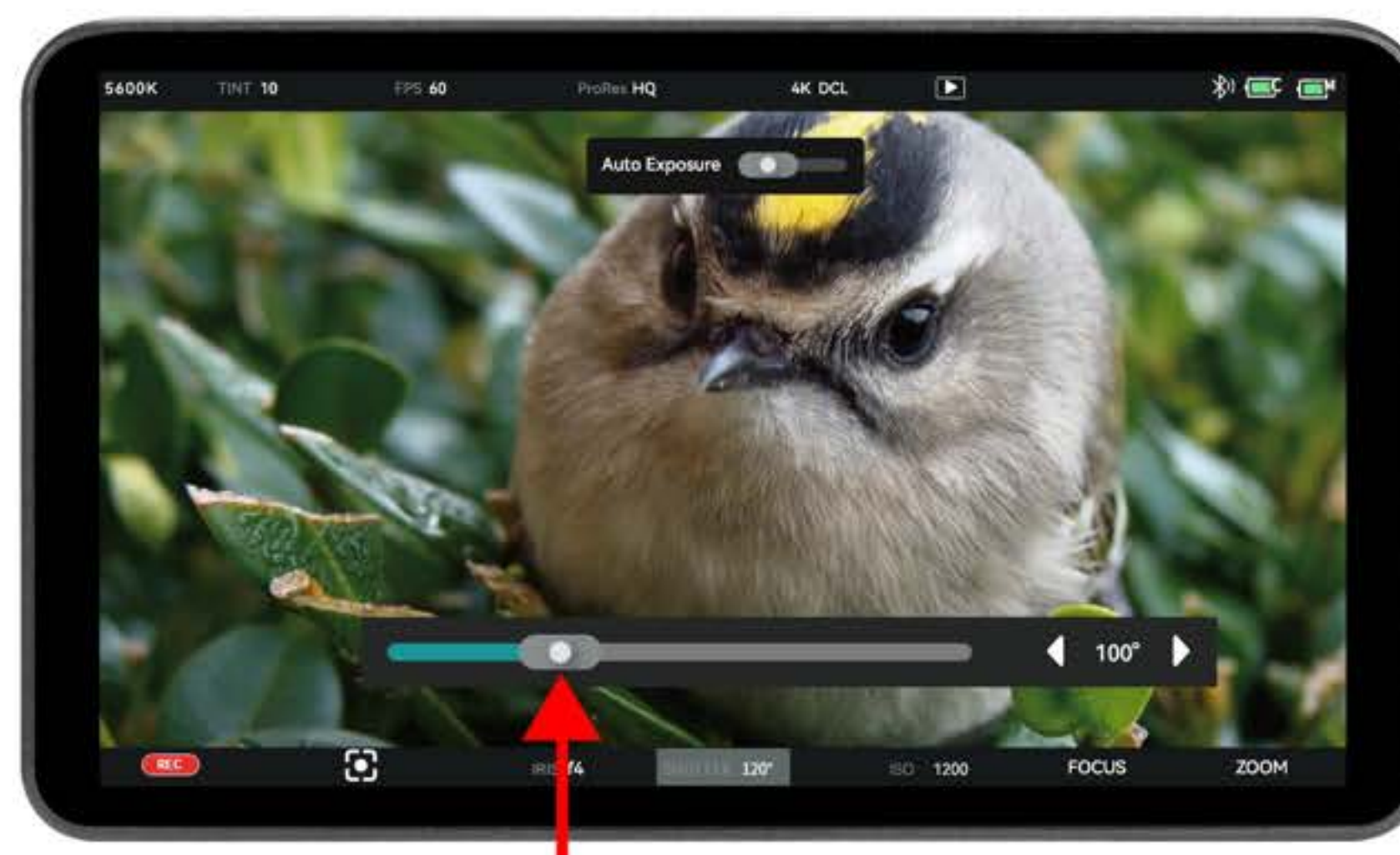
カメラ制御の紹介

Wi-FiまたはBluetoothを介してカメラを接続した後、録画開始、ホワイトバランス、絞りなどの多くのカメラ設定をモニターから操作でき、ユーザーはカメラに直接触れることなく撮影、設定調整、画面確認などを行えます。操作性の利便性を向上させるだけでなく、特定の撮影環境においてもより大きな柔軟性を提供します。”

カメラ制御—シャッター



モニターを介してカメラのシャッター角度を操作できます



スライダーをドラッグしてカメラのレンズ角度を操作できます



自動露出モードをオンにし、カメラのレンズ角度、シャッターを操作できます。

カメラ制御—タッチフォーカス



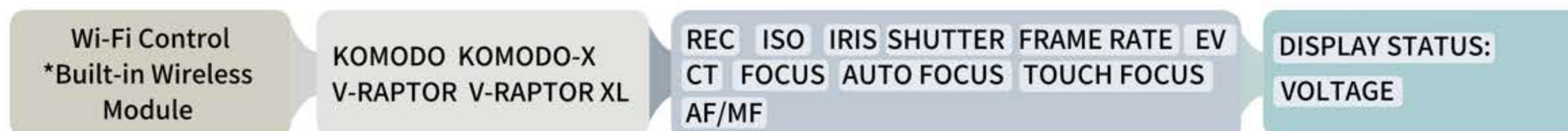
モニターのタッチフォーカスによるカメラ制御



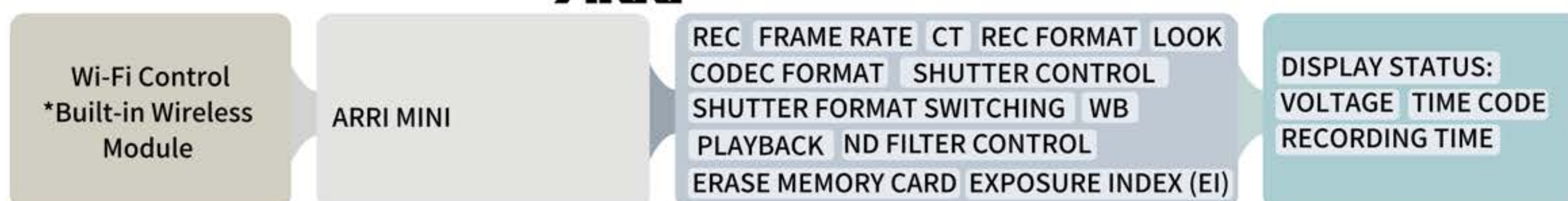
タッチフォーカスをオンにする

カメラ制御—制御可能なカメラ

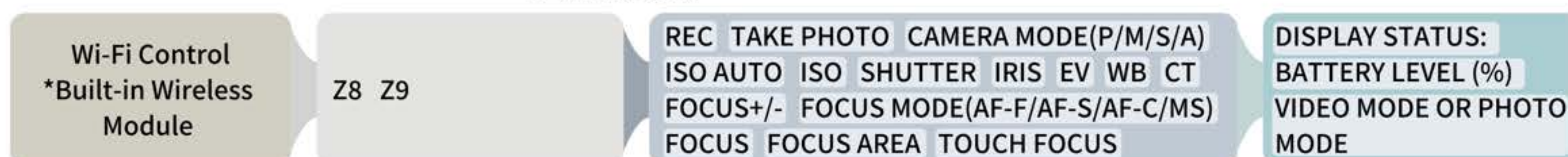
RED



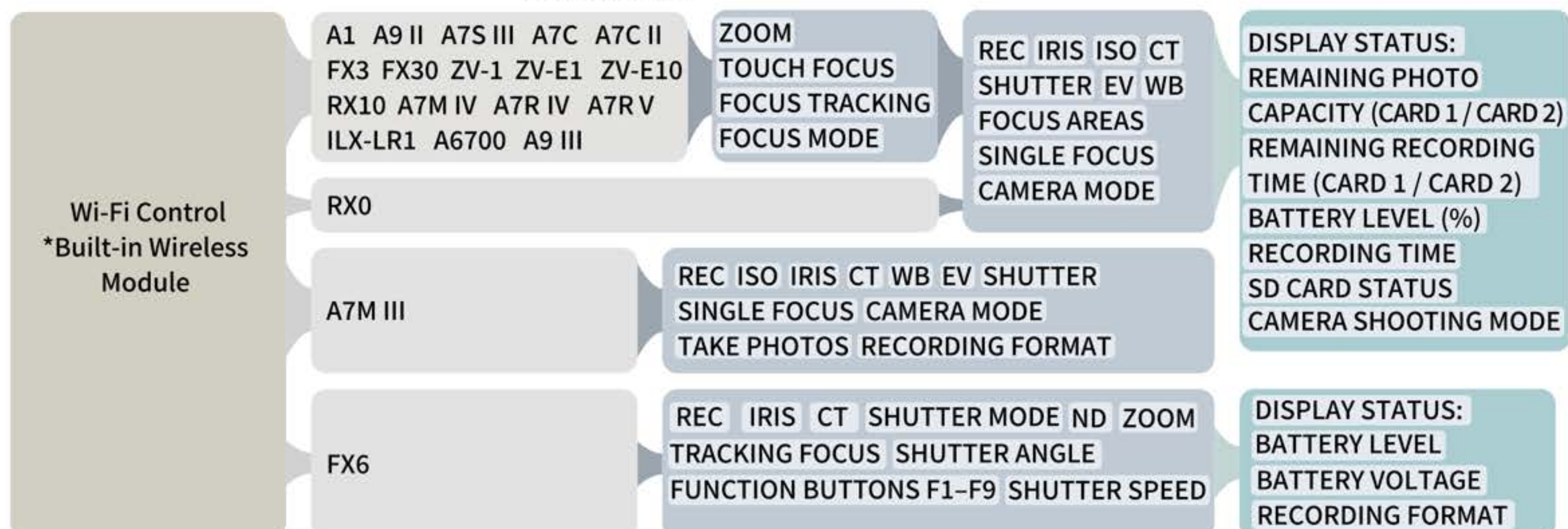
ARRI



Nikon



SONY



カメラ制御—制御可能なカメラ

Canon



Panasonic

